

広報誌「中部の森林」連載

ご当地自慢



「わさびいなり寿司」愛知県豊川市(1号)



「布袋台カラクリ奉納」岐阜県高山市(2号)



「菅沼集落」富山県南砺市(89号)



「すんきそば」長野県木曾地方(94号)

林野庁 中部森林管理局

総務課 広報

発刊にあたって

中部森林管理局は、富山県、長野県、岐阜県、愛知県の4県にまたがる国有林を管理しています。その管轄面積は65万6千ha、愛知県の太平洋側の海岸線から「日本の屋根」と言われる日本アルプスの山岳地帯、そして、富山県の漁場豊かな日本海と続く広大な地域となっています。

この地域には、原生的な森林はもとより、雷鳥等の豊かな野生動植物の生息地として学術的にも重要な森林も多く含まれています。

また、管内には、自然探勝や森林教育等に適した森林や、スキー等のスポーツ施設の設置に適した地域などを国民の保健・文化・教育的利用のために広く提供しています。

このご当地自慢は、管内各市町村の温泉地、民芸品、郷土食や、地域の観光資源など様々な名物のPRを兼ねて、広報誌「中部の森林」において、平成25年5月から令和3年3月まで約8年間で95回紹介しました。

ご当地自慢で紹介した多くの景勝地等は、現在も色あせることのない地域資源となっていますので、各署等で地域振興等の取組を推進するための参考資料として、ご活用いただきたい。

最後に、執筆された皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

広報委員会 委員長 相澤 肇
(総務企画部長)

ご当地自慢 目次

NO	名 称	署 等	掲載年月	ページ番号
第1号	愛知県豊川市編	愛知森林管理事務所	平成25年5月(2013)	1
第2号	長野県南木曾ろくろ細工編	南木曾支署	平成25年6月(2013)	2
第3号	長野県伊那市編	南信森林管理署	平成25年7月(2013)	3
第4号	岐阜県付知峡東股谷編	東濃森林管理署	平成25年8月(2013)	4
第5号	長野県白馬・小谷編	中信森林管理署	平成25年9月(2013)	5
第6号	岐阜県高山市編	飛騨森林管理署	平成25年10月(2013)	6
第7号	飯山市北竜湖・小菅神社編	北信森林管理署	平成25年11月(2013)	7
第8号	岐阜市編	岐阜森林管理署	平成25年12月(2013)	8
第9号	宇宙観測施設編	東信森林管理署	平成26年1月(2014)	9
第10号	井波彫刻	富山森林管理署	平成26年2月(2014)	10
第11号	木曾馬とへぎ板	木曾森林管理署	平成26年3月(2014)	11
第12号	名古屋城本丸御殿の復元	愛知森林管理事務所	平成26年4月(2014)	12
第13号	中山道須原宿	南木曾支署	平成26年5月(2014)	13
第14号	諏訪大社	南信森林管理署	平成26年6月(2014)	14
第15号	付知峡西股谷編	東濃森林管理署	平成26年7月(2014)	15
第16号	重要伝統的建造物保存地区奈良井宿・木曾平沢 漆工町	中信森林管理署	平成26年8月(2014)	16
第17号	大白川・平瀬温泉	飛騨森林管理署	平成26年9月(2014)	17
第18号	秘境・秋山郷	北信森林管理署	平成26年10月(2014)	18
第19号	山県市	岐阜森林管理署	平成26年11月(2014)	19
第20号	～水明の里～長和町	東信森林管理署	平成26年12月(2014)	20
第21号	富山県高岡市編	富山森林管理署	平成27年1月(2015)	21
第22号	王滝村	木曾森林管理署	平成27年2月(2015)	22
第23号	世界ジオパークのまち いといがわ	中信森林管理署	平成27年3月(2015)	23
第24号	愛知県 新城市	愛知森林管理事務所	平成27年4月(2015)	24
第25号	産業遺産「桃介橋」	南木曾支署	平成27年5月(2015)	25
第26号	駒ヶ根市	南信森林管理署	平成27年6月(2015)	26

NO	名 称	署 等	掲載年月	ページ番号
第27号	やさか地域	東濃森林管理署	平成27年7月(2015)	27
第28号	豊かな自然に囲まれ、緑と水の溢れる地域	中信森林管理署	平成27年8月(2015)	28
第29号	奥飛騨温泉郷	飛騨森林管理署	平成27年9月(2015)	29
第30号	戸隠そば	北信森林管理署	平成27年10月(2015)	30
第31号	揖斐川町	岐阜森林管理署	平成27年11月(2015)	31
第32号	～信州上田・真田の里～上田市	東信森林管理署	平成27年12月(2015)	32
第33号	富山県射水市編	富山森林管理署	平成28年1月(2016)	33
第34号	「木曽川源流の里」木祖村	木曽森林管理署	平成28年2月(2016)	34
第35号	日本百名山「恵那山」のご紹介	東濃森林管理署	平成28年3月(2016)	35
第36号	愛知県 新城市 長篠設楽原	愛知森林管理事務所	平成28年4月(2016)	36
第37号	中山道野尻宿	南木曽支署	平成28年5月(2016)	37
第38号	岐阜県 関市	岐阜森林管理署	平成28年6月(2016)	38
第39号	秘境・白川郷	飛騨森林管理署	平成28年7月(2016)	39
第40号	富山県魚津市編	富山森林管理署	平成28年8月(2016)	40
第41号	北信五岳	北信森林管理署	平成28年9月(2016)	41
第42号	北アルプスの麓、信濃大町	中信森林管理署	平成28年10月(2016)	42
第43号	長野県南佐久郡北相木村	東信森林管理署	平成28年11月(2016)	43
第44号	星ふるさと 阿智村	南信森林管理署	平成28年12月(2016)	44
第45号	御嶽の里 三岳	木曽森林管理署	平成29年1月(2017)	45
第46号	岩村城跡と小里城跡	東濃森林管理署	平成29年2月(2017)	46
第47号	七宗町	岐阜森林管理署	平成29年3月(2017)	47
第48号	田峯城	愛知森林管理事務所	平成29年4月(2017)	48
第49号	南木曽町の滝編	南木曽支署	平成29年5月(2017)	49
第50号	名古屋熱田の史跡をご案内	名古屋事務所	平成29年6月(2017)	50
第51号	天生県立自然公園	飛騨森林管理署	平成29年7月(2017)	51
第52号	富山県南砺市・上市町編	富山森林管理署	平成29年8月(2017)	52
第53号	関田山脈と信越トレイル	北信森林管理署	平成29年9月(2017)	53

NO	名 称	署 等	掲載年月	ページ番号
第54号	ご当地自慢第54号 について	編 集 部 欠 番	54
第55号	松本城と美ヶ原高原を	中信森林管理署	平成29年10月(2017) 55
第56号	長野県小県郡青木村	東信森林管理署	平成29年11月(2017) 56
第57号	星ヶ塔遺跡	南信森林管理署	平成29年12月(2017) 57
第58号	ひのきの里・あげまつ	木曾森林管理署	平成30年1月(2018) 58
第59号	アライダシ 自然観察教育林	東濃森林管理署	平成30年2月(2018) 59
第60号	飛騨小坂の滝と「巖立」	岐阜森林管理署	平成30年3月(2018) 60
第61号	道の駅「もっくる新城」	愛知森林管理事務所	平成30年4月(2018) 61
第62号	のぞきど森林公園キャンプ場と阿寺溪谷	南 木 曾 支 署	平成30年5月(2018) 62
第63号	熱田の杜のご案内	名古屋事務所	平成30年6月(2018) 63
第64号	乗鞍山麓五色ヶ原の森	飛騨森林管理署	平成30年7月(2018) 64
第65号	下新川郡朝日町	富山森林管理署	平成30年8月(2018) 65
第66号	日本百名山「苗場山」	北信森林管理署	平成30年9月(2018) 66
第67号	松本市奈川地区	中信森林管理署	平成30年10月(2018) 67
第68号	ハヶ岳	東信森林管理署	平成30年11月(2018) 68
第69号	大城山	南信森林管理署	平成30年12月(2018) 69
第70号	田の原高原	木曾森林管理署	平成31年1月(2019) 70
第71号	苗木城跡	東濃森林管理署	平成31年2月(2019) 71
第72号	道の駅「平成」	岐阜森林管理署	平成31年3月(2019) 72
第73号	くらがり溪谷	愛知森林管理事務所	平成31年4月(2019) 73
第74号	妻籠宿	南 木 曾 支 署	令和1年5月(2019) 74
第75号	志段味古墳群	名古屋事務所	令和1年6月(2019) 75
第76号	荘川桜	飛騨森林管理署	令和1年7月(2019) 76
第77号	称名滝	富山森林管理署	令和1年8月(2019) 77
第78号	黒姫山	北信森林管理署	令和1年9月(2019) 78
第79号	乗鞍岳	中信森林管理署	令和1年10月(2019) 79
第80号	海野宿	東信森林管理署	令和1年11月(2019) 80

NO	名 称	署 等	掲載年月	ページ番号
第81号	陣馬形山	南信森林管理署	令和1年12月(2019)	81
第82号	赤沢自然休養林	木曾森林管理署	令和2年1月(2020)	82
第83号	山城址めぐり	東濃森林管理署	令和2年2月(2020)	83
第84号	岐阜のマチュピチュ「天空の茶畑」と「池田山」	岐阜森林管理署	令和2年3月(2020)	84
第85号	「鳳来寺山」	愛知森林管理事務所	令和2年4月(2020)	85
第86号	「中央アルプスと越百山」	南木曾支署	令和2年5月(2020)	86
第87号	「熱田区の史跡」	名古屋事務所	令和2年6月(2020)	87
第88号	「飛騨の広葉樹」	飛騨森林管理署	令和2年7月(2020)	88
第89号	世界遺産「五箇山の合掌造り集落」	富山森林管理署	令和2年8月(2020)	89
第90号	「カヤの平・高標山」	北信森林管理署	令和2年9月(2020)	90
第91号	「日本の名峰白馬三山」	中信森林管理署	令和2年10月(2020)	91
第92号	絶景「白駒の池と苔の森」	東信森林管理署	令和2年11月(2020)	92
第93号	「大平宿」	南信森林管理署	令和2年12月(2020)	93
第94号	「木曾の漬物『すんき』」	木曾森林管理署	令和3年1月(2021)	94
第95号	「東濃の巨人(木)たち」	東濃森林管理署	令和3年2月(2021)	95
第96号	「達目洞」	岐阜森林管理署	令和3年3月(2021)	96

ご当地自慢(署等別) 目次

NO	名 称	署 等	掲載年月	ページ番号
第10号	井波彫刻	富山森林管理署	平成26年2月(2014)	10
第21号	富山県高岡市編	富山森林管理署	平成27年1月(2015)	21
第33号	富山県射水市編	富山森林管理署	平成28年1月(2016)	33
第40号	富山県魚津市編	富山森林管理署	平成28年8月(2016)	40
第52号	富山県南砺市・上市町編	富山森林管理署	平成29年8月(2017)	52
第65号	下新川郡朝日町	富山森林管理署	平成30年8月(2018)	65
第77号	称名滝	富山森林管理署	令和1年8月(2019)	77
第89号	世界遺産「五箇山の合掌造り集落」	富山森林管理署	令和2年8月(2020)	89
計		8		
第7号	飯山市北竜湖・小菅神社編	北信森林管理署	平成25年11月(2013)	7
第18号	秘境・秋山郷	北信森林管理署	平成26年10月(2014)	18
第30号	戸隠そば	北信森林管理署	平成27年10月(2015)	30
第41号	北信五岳	北信森林管理署	平成28年9月(2016)	41
第53号	関田山脈と信越トレイル	北信森林管理署	平成29年9月(2017)	53
第66号	日本百名山「苗場山」	北信森林管理署	平成30年9月(2018)	66
第78号	黒姫山	北信森林管理署	令和1年9月(2019)	78
第90号	「カヤの平・高標山」	北信森林管理署	令和2年9月(2020)	90
計		8		
第5号	長野県白馬・小谷編	中信森林管理署	平成25年9月(2013)	5
第16号	重要伝統的建造物保存地区奈良井宿・木曾平沢 漆工町	中信森林管理署	平成26年8月(2014)	16
第23号	世界ジオパークのまち といがわ	中信森林管理署	平成27年3月(2015)	23
第28号	豊かな自然に囲まれ、緑と水の溢れる地域	中信森林管理署	平成27年8月(2015)	28
第42号	北アルプスの麓、信濃大町	中信森林管理署	平成28年10月(2016)	42
第55号	松本城と美ヶ原高原を(松本森林事務所)	中信森林管理署	平成29年10月(2017)	55
第67号	松本市奈川地区	中信森林管理署	平成30年10月(2018)	67
第79号	乗鞍岳	中信森林管理署	令和1年10月(2019)	79
第91号	「日本の名峰白馬三山」	中信森林管理署	令和2年10月(2020)	91
計		9		
第9号	宇宙観測施設編	東信森林管理署	平成26年1月(2014)	9
第20号	～水明の里～長和町	東信森林管理署	平成26年12月(2014)	20
第32号	～信州上田・真田の里～上田市	東信森林管理署	平成27年12月(2015)	32
第43号	長野県南佐久郡北相木村	東信森林管理署	平成28年11月(2016)	43
第56号	長野県小県郡青木村	東信森林管理署	平成29年11月(2017)	56
第68号	ハヶ岳	東信森林管理署	平成30年11月(2018)	68
第80号	海野宿	東信森林管理署	令和1年11月(2019)	80
第92号	絶景「白駒の池と苔の森」	東信森林管理署	令和2年11月(2020)	92
計		8		

ご当地自慢(署等別) 目次

NO	名 称	署 等	掲載年月	ページ番号
第3号	長野県伊那市編	南信森林管理署	平成25年7月(2013)	3
第14号	諏訪大社	南信森林管理署	平成26年6月(2014)	14
第26号	駒ヶ根市	南信森林管理署	平成27年6月(2015)	26
第44号	星ふるさと 阿智村	南信森林管理署	平成28年12月(2016)	44
第57号	星ヶ塔遺跡	南信森林管理署	平成29年12月(2017)	57
第69号	大城山	南信森林管理署	平成30年12月(2018)	69
第81号	陣馬形山	南信森林管理署	令和1年12月(2019)	81
第93号	「大平宿」	南信森林管理署	令和2年12月(2020)	93
計		8		
第11号	木曾馬とへぎ板	木曾森林管理署	平成26年3月(2014)	11
第22号	王滝村	木曾森林管理署	平成27年2月(2015)	22
第34号	「木曾川源流の里」木祖村	木曾森林管理署	平成28年2月(2016)	34
第45号	御嶽の里 三岳	木曾森林管理署	平成29年1月(2017)	45
第58号	ひのきの里・あげまつ	木曾森林管理署	平成30年1月(2018)	58
第70号	田の原高原	木曾森林管理署	平成31年1月(2019)	70
第82号	赤沢自然休養林	木曾森林管理署	令和2年1月(2020)	82
第94号	「木曾の漬物『すんき』」	木曾森林管理署	令和3年1月(2021)	94
計		8		
第2号	長野県南木曾ろくろ細工編	南木曾支署	平成25年6月(2013)	2
第13号	中山道須原宿	南木曾支署	平成26年5月(2014)	13
第25号	産業遺産「桃介橋」	南木曾支署	平成27年5月(2015)	25
第37号	中山道野尻宿	南木曾支署	平成28年5月(2016)	37
第49号	南木曾町の滝編	南木曾支署	平成29年5月(2017)	49
第62号	のぞきど森林公園キャンプ場と阿寺溪谷	南木曾支署	平成30年5月(2018)	62
第74号	妻籠宿	南木曾支署	令和1年5月(2019)	74
第86号	「中央アルプスと越百山」	南木曾支署	令和2年5月(2020)	86
計		8		
第6号	岐阜県高山市編	飛騨森林管理署	平成25年10月(2013)	6
第17号	大白川・平瀬温泉	飛騨森林管理署	平成26年9月(2014)	17
第29号	奥飛騨温泉郷	飛騨森林管理署	平成27年9月(2015)	29
第39号	秘境・白川郷	飛騨森林管理署	平成28年7月(2016)	39
第51号	天生県立自然公園	飛騨森林管理署	平成29年7月(2017)	51
第64号	乗鞍山麓五色ヶ原の森	飛騨森林管理署	平成30年7月(2018)	64
第76号	荘川桜	飛騨森林管理署	令和1年7月(2019)	76
第88号	「飛騨の広葉樹」	飛騨森林管理署	令和2年7月(2020)	88
計		8		

ご当地自慢(署等別) 目次

NO	名 称	署 等	掲載年月	ページ番号
第8号	岐阜市編	岐阜森林管理署	平成25年12月(2013)	8
第19号	山県市	岐阜森林管理署	平成26年11月(2014)	19
第31号	揖斐川町	岐阜森林管理署	平成27年11月(2015)	31
第38号	岐阜県 関市	岐阜森林管理署	平成28年6月(2016)	38
第47号	七宗町	岐阜森林管理署	平成29年3月(2017)	47
第60号	飛騨小坂の滝と「巖立」	岐阜森林管理署	平成30年3月(2018)	60
第72号	道の駅「平成」	岐阜森林管理署	平成31年3月(2019)	72
第84号	岐阜のマチュピチュ「天空の茶畑」と「池田山」	岐阜森林管理署	令和2年3月(2020)	84
第96号	「達目洞」	岐阜森林管理署	令和3年3月(2021)	96
計		9		
第4号	岐阜県付知峡東股谷編	東濃森林管理署	平成25年8月(2013)	4
第15号	付知峡西股谷編	東濃森林管理署	平成26年7月(2014)	15
第27号	やさか地域	東濃森林管理署	平成27年7月(2015)	27
第35号	日本百名山「恵那山」のご紹介	東濃森林管理署	平成28年3月(2016)	35
第46号	岩村城跡と小里城跡	東濃森林管理署	平成29年2月(2017)	46
第59号	アライダシ 自然観察教育林	東濃森林管理署	平成30年2月(2018)	59
第71号	苗木城跡	東濃森林管理署	平成31年2月(2019)	71
第83号	山城址めぐり	東濃森林管理署	令和2年2月(2020)	83
第95号	「東濃の巨人(木)たち」	東濃森林管理署	令和3年2月(2021)	95
計		9		
第1号	愛知県豊川市編	愛知森林管理事務所	平成25年5月(2013)	1
第12号	名古屋城本丸御殿の復元	愛知森林管理事務所	平成26年4月(2014)	12
第24号	愛知県 新城市	愛知森林管理事務所	平成27年4月(2015)	24
第36号	愛知県 新城市 長篠設楽原	愛知森林管理事務所	平成28年4月(2016)	36
第48号	田峯城	愛知森林管理事務所	平成29年4月(2017)	48
第61号	道の駅「もっくる新城」	愛知森林管理事務所	平成30年4月(2018)	61
第73号	くらがり溪谷	愛知森林管理事務所	平成31年4月(2019)	73
第85号	「鳳来寺山」	愛知森林管理事務所	令和2年4月(2020)	85
計		8		
第50号	名古屋熱田の史跡をご案内	名古屋事務所	平成29年6月(2017)	50
第63号	熱田の杜のご案内	名古屋事務所	平成30年6月(2018)	63
第75号	志段味古墳群	名古屋事務所	令和1年6月(2019)	75
第87号	「熱田区の史跡」	名古屋事務所	令和2年6月(2020)	87
計		4		
合計		95		



総檜造の豊川稲荷大本殿

◆パワースポット「豊川稲荷」
 東海屈指の霊場と呼ばれる、愛知県豊川市にある曹洞宗の寺院豊川稲荷（とよかわいなり）は、正式の寺号は「円福山豊川閣妙嚴寺」（えんぷくざん）とよかわかくみょうこんじ）と称する寺院です。
 境内は千二百七十二ヘクタールを有し、その中に整然と点在する堂塔伽藍は大小合わせ九十余棟にも及びます。総檜造の大本殿に祀られる鎮守の、吒尼臣眞天（だきにしんてん）が白い狐にまたがっておられることから、通称「豊川稲荷」と呼ばれています。



愛知県豊川市編

1

愛知森林管理事務所



パワースポット霊狐塚

◆霊狐塚
 参道の奥に位置し、千体以上の狐様が並ぶ圧巻のパワースポットです。大きな岩の隙間には、ここを訪れた人が入れた硬貨があり、それを木の枝などでうまく取り出せるとお金持ちになるといわれています。取り出したお金はお守りにして、一年後にお金が儲かったら、お礼としてその何倍かの硬貨をこの岩の隙間に隠しにくるといわれています。

◆いなり寿司
 十九世紀の初めごろ、お稲荷さんにお供えしてあった油揚げの中にご飯を詰め

てお寿司にしたものが起源とされています。
 発祥の地の一つとも伝えられる豊川市では、二〇〇九年市内観光協会が主体となり「いなり寿司で豊川市を盛りあげ隊」を結成。毎月十七日を「いいな、いなり寿司の日」とし、毎年「豊川いなり寿司フェスタ」を開催するなど、多種多



わさびいなり寿司



豊川名物 稲荷寿司



おきつねバーガー

様な隊員達もりあげています。豊川市には美味しく楽しいいなり寿司がたくさんあり、市内に約百店舗、約三百種類が提供されています。

また、パンの代わりに油揚げでヒレカツを挟む「おきつねバーガー」もあります。

◆B-1グランプリin豊川

豊川が、熱いな

B級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ」は、年に一回ご当地グルメでまちおこしに取り組む団体が全国から集結するイベントで、地元の自慢の味を楽しんでもらうことはもちろん、各町のPRやパフォーマンス、おもてなしなどに熱い思いが込められ開催されています。

二〇一三年「B-1グランプリ」の開催地に、このたび豊川市が正式決定！豊川市で開催される第八回目は、東海エリアで初のグランプリ開催ということもあり、地元は今から大盛り上がり！二〇一三年十一月九日から十日まで豊川稲荷周辺及び豊川市野球場周辺での開催となります。今から楽しみにしています。

アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR飯田線豊川駅下車、徒歩三分

名鉄豊川線豊川稲荷駅下車、徒歩三分

〔自家用車〕

東名高速道路豊川ICより五分



南木曾ろくろ細工

長野県木曾郡南木曾町は、木曾谷の南端に位置する町です。険しい山々に囲まれた地形にも拘わらず古来から交通の要衝であり、中山道木曾十一宿の一つ妻籠宿があることでも知られています。南木曾ろくろ細工は、こうした歴史背景のもとに、いくつもの時代を経て町の伝統工芸品としてその技術が受け継がれ、経済産業大臣が指定する「伝統的工芸品」となっています。

ろくろ細工は、厚い板や丸太をろくろで回転させながらカンナで挽いて形を削



り出す伝統技術で、その作業の様子から「挽物（ひきもの）」とも呼ばれています。

南木曾地域では、中山道が多くの旅人で賑わう江戸時代から、木曾谷に育つケヤキ、トチ、センノキ、カツラ、ミズメなど木目の美しい広葉樹をろくろで挽き、木の国ならではの特産として盛んに造られてきました。



南木曾ろくろ祭り（手挽ろくろ実演）

手技を尽くし、材の良さを活かした品々は全国に知られ、白木の盆や椀を造って名古屋や大阪方面に取り引きされていきました。やがて「トクサ磨き」や「漆拭き」といった仕上げ加工を施し、その見事な完成品はさらに知れわたるところとなり、現在のろくろ細工として連綿と受け継がれています。

南木曾のろくろ細工は、木目の美しさ

が際立っていて、自然の風合いと手触りの優しさが特徴です。おもな製品は茶びつ、茶盆、椀、広ぶたなどの生活道具から、さらには大きな円卓まで、流麗な曲線と艶やかな光沢が独特の優美さをかもし出しています。

ろくろを廻して木をくり抜き、丸い形の器を作る職人を「木地師」と呼びます。とりわけ類まれなる経験を積み、技と感性に秀でた木地師は（財）伝統的工芸品産業振興協会から「伝統工芸師」に認定され、芸術を究めながら後進の指導にあたっています。



木地師の作業風景

また、ろくろ細工に使用する樹木の育成や伝統文化の継承を目的に当南木曾支署管内の南蘭国有林において「南木曾伝統工芸の森」の協定を締結し、下刈や除

伐作業の実施など将来の伝統工芸品の資材となるよう整備活動を進めています。



南木曾伝統工芸の森 整備の様子

◆所在地

長野県木曾郡南木曾町吾妻漆畑

「木地師の里」

◆アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR 中央本線南木曾駅下車

町地域バス「保神線」約三十分

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC 国道十九

号・国道二百五十六号経由で約一時間

◆お問い合わせ

南木曾町観光協会

電話番号 〇二六四―五七―二〇〇一



◆天下第一の桜 【高遠城址公園】

明治四年（一八七一年）、廃藩置県となり翌五年、高遠城は取り壊されました。その後城址は公園となりましたが、管理する者もなく荒れるままになっていました。見かねた旧藩士たちが、明治八年に、馬場の桜を城跡に移植したのが、現在の桜の名所「高遠城址公園」の始まりです。

かつて馬の姿が沢山の桜の花に隠れたという高遠藩の桜の馬場。その在りし日の姿を再現するかのように、約千五百本以上の桜が見られ、古くから「天下第一の桜」と称されて全国的に有名で、「さくら名所百選」にも選ばれています。



高遠桜

高遠の桜は、タカトオコヒガンザクラ

で、ソメイヨシノより小ぶりで赤みのあつ花を咲かせ、開花時には公園一帯が淡いピンクに染まり「天下第一の桜」にふさわしい光景です。また、夜のライトアップされた桜の幻想的な美しさも忘れ難いものになります。

伊那市内には「高遠城址公園」のほか「三峰川桜堤防」、「春日公園」、「花の丘公園」、「勝間のしだれ桜」など桜の名所があります。



高遠夜桜

◆信州そば発祥の地 【伊那市】

奈良時代の初め、修験道の開祖「役小角」は荒行の聖地である駒ヶ岳を目指しました。途中、伊那の内の萱で村人たちに温かくもてなされた役小角は、お礼として厳しい気候条件でも栽培でき、栄養価の高い「そばの実」を村人たちに贈りました。村人たちは、このそばを大切に育て、やがて信州全体に広がり、以来、内の萱は信州そば発祥の地といわれ、今でも毎年十月には「行者そば祭り」が大に開催されます。行者そばは、地粉で打った手打ちそばを、大根おろしの汁に焼き味噌を溶き入れた「辛つゆ」で食べるものをいいます。

役小角の時代から九百年の時を経た江戸時代の初め、高遠藩主の保科正之は辛味大根と焼き味噌で食べる蕎麦切りを高遠藩のおもてなし料理とし、將軍にも献上していました。殿様も庶民も愛でた「高遠そば」は、後に会津藩の「藩祖」となった保科正之によって、福島県各地に「高遠蕎麦」として伝えられ、日本の名蕎麦に数えられています。

高遠城址で十一月に開催される秋祭りでは、復活した辛味大根とともに新そばが味わえます。また、市内に点在するそば処では、いつでも地粉で打ったそばを味わうことができます。



高遠そば

◆癒しのパワースポット【ゼロ磁場 分杭峠（ぶんぐいとうげ）】

日本最大の断層「中央構造線」が縦貫する分杭峠は、ゼロ磁場としても近年有名となり多くの観光客が訪れています。ゼロ磁場とは、中国の気功師、張志祥氏により発見された場所です。「人が幸せになれる場所」ともいわれ、心身の癒しを求め訪れる方が多く、ガン、腰痛、膝痛、肩こり、頭痛や生活習慣病などの治

癒効果（個人の意見として）があると評判となっています。



分杭峠

所在地

（高遠城址公園）長野県伊那市高遠町

（分杭峠）長野県伊那市長谷

アクセス

（高遠城址公園）

〔公共交通機関〕

JR飯田線伊那市駅下車、バス高遠

駅 約二五分、徒歩約一五分

〔自家用車〕

中央自動車道伊那ICより約三十分

（分杭峠）

〔公共交通機関〕

JR飯田線伊那市駅下車、バス高遠

駅 約二五分、シャトルバス約十五

分

〔自家用車〕

中央自動車道伊那ICより

約四十分、シャトルバス約十五分

写真提供：伊那市観光協会



岐阜県中津川市付知町の中央を流れる付知川の上流部は「付知（つけち）峡」と呼ばれ左に西股谷、右に東股谷と分かれます。この付知峡は、「森林浴の森日本一〇〇選」「岐阜県の名水五〇選」「飛騨・美濃紅葉三十三選」に選ばれたところ。今回は東股谷を紹介します。



青色の清流をたたえる付知川とキャンプ場

■「キャンプ場」がいっぱい
国道二五六号線付知峡口から北へ入って約五キロメートル、付知川河畔には、

大小八つのキャンプ場・オートキャンプ場が隣接しており、春は桜、夏は川遊びや釣り、秋は紅葉と季節ごとの楽しみがあり、休日には多くの家族連れなどで賑わいます。

■滝と岩の渓谷美「不動滝」
付知峡の中でも多くの人々が訪れる名所「不動滝」は、断崖上の展望台から見下ろすことができ、エメラルドグリーン綺麗な水が目を引きます。



伝説が残る不動滝

四季折々に美しいこの場所には伝説があります。それは今から八百年以上前のこと、この地に住んでいた高僧智証和尚が村人が殺してしまいました。彼らが投げ捨てた和尚の屍は、不思議なことにまるで生き物のように川を遡りやがてこの滝に流れ着いた袈裟は滝壺でいつまでも渦を巻いていたそうです。その霊を慰めるため祀られたのが不動明王。今では目の神様として参拝する人も多いようです。

周辺は、「不動公園」として遊歩道が整備され、「観音滝」「仙樽の滝」も巡ることが出来ます。

■人を寄せ付けない「百間滝」
不動滝の上流は、更に断崖絶壁の急峻な地形を呈しており、国有林入口から東股本谷を六キロメートル遡った所に「百間滝」があり、林道際の展望台から望むことが出来ます。



展望台から見た百間滝

この百間滝は、断崖絶壁に囲まれているため、滝壺には近づけず神秘的です。

■周辺の山々を一望できる「夕森山」
下浦林道登山口から山頂までは約四キロメートル約三時間です。登山道は苔石とオシダが茂るうっそうとした森林に囲まれています。

「夕森山」の標高は一、五九七mで山頂からは、霊峰「御嶽山」をはじめ「恵那山」、「小秀山」など周辺の山々を望むことが出来ます。



付知裏木曾国有林から夕森山を望む

◆所在地

岐阜県中津川市付知町

◆アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR中央本線中津川駅下車、北恵那交通バス「付知峡・倉屋温泉行」約五十分「付知峡倉屋温泉」から徒歩約九十分

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC（国道二五七号・国道二五六号を下呂方面へ約四十五分

◆お問い合わせ

付知町観光協会
電話番号 〇五七三―八二―四七三七



北アルプス北部（手前は白馬岳頂上宿舎）

ご当地
自慢

長野県白馬・小谷編

5

中信森林管理署

◆北アルプスの山々
日本の屋根といわれる北アルプスの山々は古くから夏は登山、冬はスキーで日本でも有名な山岳観光地であり、観光施設（宿泊温泉施設・交通機関）も整備され、どなたでも気軽に訪れることができます。



北アルプス屈指の花の山

◆白馬周辺のお花畑
今年夏のイベントとして七月一日から八月末日まで村全体がお花畑になる「白馬アルプス花三昧」が白馬山麓及び白馬・小谷地区の各植物園・自然園で開催され、大いに賑いました。

近年においては、中高年登山や山ガールなどの若い世代に加え、海外からの観光登山者も含めた多くのみなさまに登山を楽しんでいただいております。

一方、無謀なスケジュールでの登山や写真撮影でのお花畑への踏み込み、ペットの連れ込み、ストックで登山道を傷めるなど、問題も発生しております。

また、ニホンジカやサル等の野生鳥獣による高山帯への目撃・被害も報告されており、

このような問題を解決するため、地域の自治体や山小屋、高山植物等保護対策協議会と連携した保護啓発活動を行っております。



貴重な白色の「コマクサ」

それぞれ特色があり、ゴンドラやテレキャビンを利用して、空中散歩を楽しみながらファミリーや初心者でも無理なく山岳ハイキングが楽しめるコースや、また、本格的な装備で挑めば、険しい山麓からは想像もつかない、美しい景色が続き、そこには限られた期間だけ見ることのできる絶景が、雪が解けて一斉に咲き出した花の色彩にあまりに現実とかけ離れた天国のような光景にしばしばうぜんとなります。

一シーズンでは、回りきれないほどのスケールで北アルプス一帯に咲き誇る高山植物と山野草、この可憐な花との出会いを求めて多くの登山者がこの地を訪れます。

天候も八月に入ると晴天が続く、夏空を駆け抜ける真っ白な雲と、その空に近づくかのように一面に広がるお花畑が出現しました。

◆北アルプスの懐

個性あふれる源泉があり、標高二、

白馬小谷は天然温泉の宝庫。



登山以外でも楽しめます。(バギー)

一〇〇mの天空の露天風呂や車で気軽に立ち寄れる温泉、ホテル内の絶景風呂なども多く、贅沢なひとときを過ごせます。

また、森・水・空で遊ぶ、カヌーやラフティング、ヘルメットとハーネスを装着して行う地上八mの空中アスレチック、エンジンバギー、パラグライダー、MTBなど、自然と触れ合える体験が出来る施設も沢山あり、登山以外も楽しめます。

◆アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR大糸線白馬駅下車

JR大糸線小谷駅下車

〔自家用車〕

中央自動車道安曇野IC～国道

一四八号大町市経由で約一時間

長野市～オリンピック道路経由で約

一時間



◆高山祭り

高山祭りは、岐阜県高山市で毎年開催される祭りのうち屋台が複数出る祭りの総称で、春の山王祭と秋の八幡祭があります。



中橋を渡る屋台 (春の山王祭)

日本の三大美祭の一つにも数えられるこの祭りは、飛騨高山の風物詩であり、その起源は十六世紀後半から十七世紀といわれています。

◆春の山王祭

春の山王祭は、旧高山城下町の南半分の日枝神社として崇められる日枝神社(山



北三番叟「童子」から「翁」へ (春の山王祭)

王様)の例祭で、毎年四月十四日・十五日、うらかな春の訪れとともに安川通り(国道一五八号線 南側の上町を舞台に繰り広げられます。

祭りの華は、なんとと言っても絢爛豪華な屋台で、山王祭の屋台組が誇る十二台の屋台が曳き揃えられた様は、「動く陽明門」ともいわれています。また、三台の屋台で行われるからくり奉納、伝統衣装をまとって古い町並を歩く御巡幸、提灯を灯した屋台が祭囃子を奏でながら町を一巡する夜祭など、悠久の歴史を感じさせる祭絵巻が人々の心を魅了します。



布袋台カラクリ奉納 (秋の八幡祭)

◆秋の八幡祭

秋の八幡祭は、旧高山城下町の北半分の日枝神社として崇められる桜山八幡宮の例祭で、毎年十月九日・十日、安川通り

北側の下町を舞台に繰り広げられます。祭りの目玉は十一台の屋台による威風堂々たる曳き廻し・曳き揃えの様子です。まるで江戸時代の高山へ迷い込んだような華やかさです。また、古式ゆかしい御神幸、からくり奉納、幻想的な宵祭りなどの伝統行事も披露され、時を忘れる感動につつまれます。



屋台曳き揃え (秋の八幡祭)

◆アクセス

〔名古屋方面から〕

名古屋から高山までは、JR高山本線で約二時間二十分、高速バスで約二時間四十分です。

〔東京方面から〕

新宿から高山までは高速バスで約五時間三十分、JR松本駅からは約二時間二十分です。



◆北竜湖

北竜湖は、飯山市瑞穂に位置し野沢温泉村と接しています。この湖は、火山の爆発でできた窪地に水がたまった自然湖で面積二・四ヘクタールの湖です。江戸時代は水があふれ住民の命を奪った記録もありますが、明治の初めに堤防が築かれ、当時、「北竜池」と呼ばれていました。昭和三十六年に北竜湖観光協会の設立に合わせ、「北竜湖」と改名されました。湖の水は二十四鈔の農地を潤す農業用水として現在も利用しています。



ハート型の北竜湖

この北竜湖の周辺は、小菅部落と呼ばれ、後項に記載します小菅神社の宿坊として修験者で賑わいを見せていた室町時代、春になると村総出の田植えを行い、若い乙女たちも駆り出されました。田植えが終わると流水より温かい北竜湖で足を洗ったことから早乙女池とも呼ばれていました。池には大きな鯉がいて一人の早乙女に恋をしました。春が過ぎると早乙女はいなくなり、池を探して疲れはてた次の春、早乙女と再会することができました。そんな頃から恋愛成就の湖と語り継がれるようになりました。北竜湖を上空から見るとハート型になっており、湖の東の弁天島に架かる橋「早乙女橋」は恋愛成就の橋として多くの恋人が訪れています。

◆小菅神社

小菅神社は、白鳳年間（六四五～七一〇）に役行者により開山され、大同元年（八〇六）に坂上田村麻呂が八所権現本宮等を整備したと伝わる古社です。

当初は、馬頭観音の化身とされる小菅権現を主祭神と称して熊野・金峯山・白山・立山・山王・走湯・戸隠の七神を祀ったことから八所権現といわれる修験寺院元隆寺です。



弁天島から望む北竜湖と妙高山

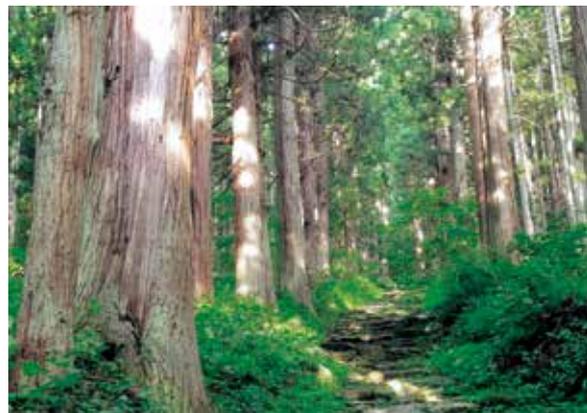
室町時代の最盛期には上の院十六坊、中の院十院、下の院十一院の総数三十七院があり、戸隠、飯綱と並んで北信州三大修験場として広く信仰され大きな影響力を持っていました。戦国時代は上杉領となり上杉氏から庇護されていました。永禄十年の川中島の戦いで武田勢により焼失しました。その後、江戸時代に歴代飯山藩主松平氏により焼失した建物は再建されました。明治時代に入り神仏分離令により元隆寺が廃寺され小菅神社となり現在に至っています。

小菅神社の奥社本殿と宮殿は室町時代に建立され国指定の重要文化財、奥社の脇立・板絵は県宝、杉並木は県天然記念物、その他の多くの像・絵馬等が市の文化財となっています。



重要文化財（国指定）小菅神社奥社

北竜湖の上部と小菅神社の周囲は国有林です。近年、飯山市において国有林を含め小菅一帯を「重要文化的景観」として申請する動きがあります。当署としては国有林内のカシノナガキクイムシ・マツクイムシ被害木の処理等により景観の維持を行い、「重要文化的景観」指定の一助となるよう施策をしています。



スギ並木がすばらしい小菅神社参道

北信州にお越しの節は神秘の北竜湖、歴史ある小菅神社に足を運んでみませんか。近くには映画「阿弥陀堂だより」の撮影場所となった阿弥陀堂、祈願するとお乳が出ると伝わる神戸のイチヨウ、菜の花公園など見所の多い北信州です。





金華山と長良川

◆**金華山**
 岐阜の「ええところランキングーベストテン」で堂々の一位となった金華山（国有林）は、岐阜市の中心部に位置し、標高は三百二十九メートルと低いものの御嶽山や濃尾平野の眺望がすばらしく、年間百万人も登山者が訪れる市民の憩いの場となっています。
 平成二十三年二月「史跡岐阜城跡」に指定され、江戸時代から四百年間手つかずの自然が残り景観と歴史に恵まれた岐阜市のシンボルとなっています。



この鵜飼を、陰で支えるのが鵜飼観覧船造船所です。市営の造船所は全国唯一で、伝統的な和船の建造段階を見学することができます。



長良川鵜飼い

◆**長良川**
 岐阜市の中心を流れる長良川は、大日ケ岳から伊勢湾に注ぎ、昭和六十年には「名水百選」に選ばれた美しい川であり、また、河川では唯一、平成十三年の「日本の水浴場八八選」にも選定された水量豊かな清流です。
 ◆**長良川鵜飼と鵜飼観覧船造船所**
 古典漁法を今に伝える長良川鵜飼は、千三百年以上の伝統を誇り、見る者を幽玄の世界へと誘う夏の風物詩となっています。



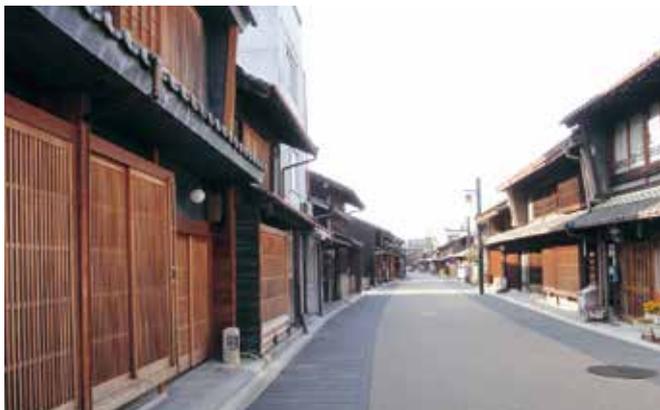
造船風景

観覧船の材料は、岐阜・長野県産の良質なコウヤマキ（長さ五メートル、末口四十センチメートル以上）を使用しますが、一本の丸太から使用できる板は八枚くらいしかとれません。また、設計図面はなく、経験豊かな船大工の匠の技で建造され、観覧船一隻の完成には約半年間かかり、一年間に二隻の船が造られます。



鵜飼観覧船造船所

◆**古い町並みの川原町**
 長良橋南詰の鵜飼観覧船のりばから西へ続く「湊町・玉井町・元浜町」の町並みは通称「川原町」といい、格子戸のある古い町並みが今も残る人気スポット。
 この地域は江戸時代より長良川の重要な湊町として奥美濃からの木材や美濃和紙の陸揚げがされ、それを扱う問屋町として栄え、特に美濃和紙は岐阜提灯、岐阜和傘、岐阜うちわなど岐阜の伝統工芸には欠くことのできない物で川原町が岐阜の工芸品を生んだといえます。



古い町並みの川原町

◆**アクセス**

JR岐阜駅から岐阜公園まで

岐阜バスで約二十分



当署管内には多数の日本一があります。国有林に直接関係するところでは、①日本一長い信濃川(千曲川)の源流が川上村東毛木場山国有林内に、②日本一海から遠い地点が佐久市榊山国有林内に、③日本一標高の高い場所にあるダムが南相木村南相木山国有林内にあります。

さらに、④日本一標高の高いところにあるJR小海線の野辺山駅、⑤日本一長い上信越道の連続アーチ橋等が管内にあります。今回ご当地自慢として紹介するのは佐久市大曲国有林にある⑥日本一のパラポアンテナと南牧村にある⑦日本一の電波望遠鏡です。これらの施設が作られたのは、この地域が天体観測に適した地域で、このことを裏付ける日本一として⑧晴天率日本一が当署の所在する佐久市となっています。

今回は、宇宙観測の重要な拠点となっている二つの施設を紹介します。

◆宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

白田宇宙空間観測所

この観測所は、彗星や惑星、小惑星の



白田パラボラアンテナ

ような天体に接近して観測を行う深宇宙探査機に向けて動作指令を送信したり、探査機からの観測データを受信するため、一九八四年(昭和五十九年)十月に設立された六十四メートルのパラポアンテナが運用されています。

なぜこの場所が選ばれたかと言うと、高い山から少し離れており、視野は開けているけれど高い山々がいろいろ遮って、調べるため大都市は直接見え、日本中で、専門家としては、電波の聖地と呼ばれる状態であったからということ。ここは国有林を所管した箇所、周囲の国有林によってこうした状態が守られていると考えられます。

この世界有数の大型パラポアンテナによる成果として、有名になった小惑星探査機「はやぶさ」の帰還に携わったことが挙げられる他、「はやぶさ2」、金星探査機「あかつき」などの観測を受け持ち、最前線の深宇宙探査を実現している施設として注目されています。



はやぶさ探査想像図 (©: 池上章裕、MEF、JAXA・ISAS)

◆国立天文台野辺山

太陽電波観測所、宇宙電波観測所が置かれています。四十五メートル電波望遠鏡等を活用し、太陽、星、銀河などからの電波を観測して、天体の姿や宇宙そのものを研究する電波天文学における国際的な拠点として運用されています。この場所が選ばれたのも、標高千三百五十メートルで水蒸気が少なく、周りを山に囲まれた平坦な地形であること、寒冷地

でありながら雪が少ないことなど、宇宙電波、太陽電波の観測に最適な場所と言えます。



電波望遠鏡

このように東信署管内は、地形、気候、環境等の条件が整い宇宙観測の重要な地域ですが、こうした環境の中で生育する信州カラマツの品質も日本一と評価されており、日本一のカラマツ生産基地となることを目指して職員一同森林づくりに取り組んでいます。



カラマツ間伐箇所



欄間・衝立・パネル・天神様・獅子頭に代表される置物などの井波彫刻。楠・ケヤキ・桐を材料とし、荒彫りから仕上げりまで二百本以上のノミ、彫刻刀を駆使します。

井波彫刻の起こりは、過去に幾度も焼失した井波別院瑞泉寺がその都度再建されてきたことに深くかかわっています。



住宅欄間



瑞泉寺本堂

宝暦・安永年間（一七六三年～一七七四年）の瑞泉寺再建の折、京都本願寺の御用彫刻師前川三四郎が派遣され、井波拝領地大工がこれについて習ったのが井波彫刻の始まりとされています。

明治に入ると、寺院欄間に工夫をこらした新しい住宅用の井波欄間の形態が整えられました。昭和に入ってから、寺彫刻は活発で、東本願寺・東京築地本願寺・日光東照宮など、全国各地の寺社・仏閣の彫刻を数多く手がけ、それと並行して一般住宅欄間・獅子頭・置物などにも力が注がれました。時代の流れとともに豪華さを誇った寺



衝立



菅原道真の木像

社彫刻から、現在は民家の室内彫刻へと移り変わり、なかでも住宅欄間はその主力となっています。

名工の子孫によって受け継がれ、培われた「井波彫刻」は全国一の高度な技術を誇るようになり、昭和五十年五月、国の伝統的工芸品に指定されました。

平成五年七月には、井波彫刻会館が完成。館内には、二百二十年の伝統を誇る木彫刻技術の粹を集めた作品二百点を展示販売しています。



井波彫刻会館

彫刻師によって再建されてきた井波別院瑞泉寺。その表参道である八日町通り、門前町として発展した南砺市井波地域のシンボルで、別名瑞泉寺通りとも呼ばれています。石畳が敷かれ、周囲の古い家並みとともに落ちついた雰囲気をも出し出しています。道の両側には刻店、郷土玩具店、造酒屋などが軒を連ね、格子戸のある町家とともに趣のある風景を形づくっています。通りには木製あんどん、木製の欄干彫りのバス標識があります。また、それぞれ軒先には、世帯主の木彫の干支が掲げられています。



八日町通り

アクセス

○「公共交通機関」

JR西日本城端線福野駅から
車で約二十分

○「自家用車」

北陸自動車道砺波ICから
約十五分



◇木曾馬(きそうま)

平成二十六年の干支である馬にちなみ「木曾馬」を紹介します。

木曾馬は長野県木曾地域(木曾郡)を中心に飼育されている日本在来種の馬で、本州では唯一の在来種です。

昭和三十年代頃まで農耕用や木材の運搬に活用されてきましたが、昭和四十年代以降、耕運機の普及等で木曾馬を飼う農家が減少し、木材の搬出も林業機械に代わり馬搬(ばはん)をする人もいなくなりました。



木曾馬

木曾郡木曾町開田高原では、昭和四十四年に木曾馬保存会が設立され、一時絶滅寸前であった「木曾馬」の飼育・保存に取り組み、現在では百六十頭程度まで増えてきています。

木曾郡木曾町開田高原にある「木曾馬の里・乗馬センター」には、約三十頭が飼育され、乗馬体験など観光客の人気を集めています。



木曾馬の放牧

最近では馬搬(ばはん)を復活させようとする試みが始まり、木曾馬が運んだ木材を使った木製品を作るなど、木材産地ならではの文化と木曾馬保存に対する関心を高め、地域活性化につなげたいと取り組んでいます。

アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR中央西線木曾福島駅より、おんたけ交通バスで約三〇分

〔家用車〕

中央自動車道中津川IC↪国道十九号線經由約一時間三〇分、長野自動車道塩尻IC↪国道十九号線經由約五〇分

◇へぎ板

へぎ板は木の繊維を壊さず、削らずに手で割って、厚さ一ミリ以下まで薄くして作られる板です。年が経つにつれ艶がでてきます。

数百年生の天然木で目がつまつたものでないと、へぎ板を作ることはできません。木曾はヒノキが知られています。黒部(くろべ)別名ネズコ、サワラと粘り



へぎ板の製作の様子



網代細工

のある良い木があり、これがへぎ板には一番の適材です。

この技術は、古くから茶室などの室内装飾に用いられてきた伝統的な技術ですが、機械の普及などもあり、今では木曾谷でへぎ板を作れるのは二人の職人となつてしまいました。

木や竹を編んでゆく「網代細工(あじろざいく)」は各地に伝承されていますが、一本の丸太から「へぎ板」を製し、細工によって天井や衝立等の完成品に至るまでの技術を持つ職人さんは、今や国内で長野県木曾郡上松町「小林へぎ板店」の小林鶴三さんのみとなりました。小林さんは林野庁の「日本 森の名手・名人」に認定されています。

アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR中央西線上松駅下車

〔家用車〕

中央自動車道中津川IC↪国道十九号線經由約一時間、長野自動車道塩尻IC↪国道十九号線經由約五〇分



名古屋城

◆名古屋城の本丸御殿
愛知県名古屋市に、日本百名城に選定されている名古屋城があります。築城は一六一〇年から行われ、天守閣の屋根の上にある金鯱(金のしゃちほこ)でも有名な、国の特別史跡に指定されています。
この名古屋城本丸の天守閣南側には、かつて本丸御殿(一六一五年完成)があり、近世城郭御殿の最高傑作と言われ、京都二条城の二の丸御殿と並ぶ武家風書院造の双壁となっていました。
勇壮な天守閣と優美な御殿が並び建つ

ご当地自慢

名古屋城本丸御殿の復元

12

愛知森林管理事務所



天守閣

ことで、昭和五年に国宝に指定されましたが、第二次世界大戦末期の昭和二十年五月の空襲で双方とも焼失しました。その後、天守閣は昭和三十四年に再建され、本丸御殿も復元が望まれてきました。

◆本丸御殿の復元

平成二十一年一月、名古屋開府四〇〇年プロジェクトの一環として復元が始まりました。本丸御殿の歴史的・文化的価値を有するとともに、広く市民が活用できる財産となるように、工期を三期十年で総事業費一五〇億円をかけて工事が行われています。

復元の手法としては、焼失前と同等の歴史的・文化的価値を有する建物を再現するよう、原則として旧来の材料・工法により行われており、木曽地方などで育った天然ヒノキが多く使われています。

- 構造階数 木造平屋建(書院造)
- 延べ面積 約三、一〇〇平方メートル
- 建築面積 約三、六〇〇平方メートル
- 主な部屋 玄関(謁見者の控えの間)
- 表書院(外客応接の間)
- 対面所(内臣対面の場)
- 上洛殿(将軍上洛時の宿舎)



本丸御殿

◆見どころ

工事現場は風雨から全体を守るため「素屋根」で覆われていますが、「素屋根」の内部には全体が見渡せる見学通路があります。また、工事現場すぐそばには見学コーナーがあり、窓越しに現場の様子を見たり、木についての学習や大工道具の見学もできます。

また、平成二十五年五月から、玄関と表書院が公開されています。御殿の室内は虎や豹、花鳥風月などを画材とした障壁画や飾金具などで豪華絢爛に飾られており、御殿の建物全てが美術館のようです。

現在、本丸御殿公開記念として「名古屋城春まつり」が五月六日まで開催されており、特別観覧として玄関二之間へ入室できますので、この機会に是非ご覧になっては如何でしょうか。



本丸御殿の様子

アクセス方法

- 公共交通機関
 - 地下鉄名城線
 - 「市役所」下車七番出口より徒歩五分
- 【自家用車】
 - 名古屋高速都心環状線
 - 「丸の内」出口から北へ5分

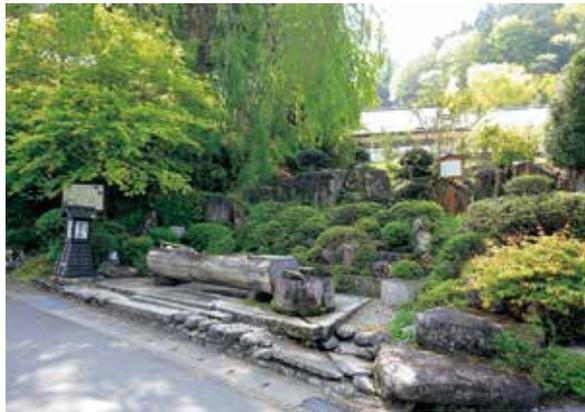


須原宿町並み

◆水舟の里「須原宿」
 中山道三十九番目の宿場「須原宿」は、木曾谷の中では一番古くに栄えた歴史ある宿場町です。宿場の創設は古く戦国時代の頃ともいわれています。宿駅として指定されたのは慶長六年（一六〇二）で、当初は木曾川沿いに町割りされましたが、正徳五年（一七一五）の大洪水により大きな被害を受け、享保二年（一七一七）現在の位置に移築されました。



須原宿は古くから湧水が豊富で、宿場の中央沿いにはサワラの丸太をくり抜いた「水舟」が所々に置かれ、住民の日々の生活を支え旅人の喉を潤していました。この水舟は上水道の普及により無くなりましたが、昭和六十年に地域住民により再現・保存され、独特の町並み景観を作り出しています。



宿場に置かれている「水舟」

◆須原宿の町並み

須原駅を出てすぐに正面に、幸田露伴の小説「風流伝」に描かれている「桜の花漬け」を江戸時代末より製作・販売している「大和屋」があります。ここから南に進み宿場の中ほどには島崎藤村の「ある女の生涯」の舞台となった「清水医院跡地」（建物は犬山市「明治村」に移築）や正岡子規の歌碑、江戸時代には

脇本陣を務める傍ら酒造業を営み中山道の歴史と共に歩んだ、現存する木曾谷最古の酒蔵「西尾酒造」があります。旧須原小学校門を過ぎると、今も飲用することのできる屋根付きの「水舟」があります。ここから宿場はずれまでは、江戸時代の旅籠の様式が色濃く残っています。この地区では、毎年七月十七〜十八日に「鹿島神社例祭」が開催され、御神輿や長持ち行列、須原宿に古くから伝わる盆踊りの「須原ばねそ」が地元の方たちにより演じられます。



須原長持行列



桜の花漬

◆木曾三大寺、最古刹「定勝寺」

宿場町の最も南に位置する「定勝寺」は、木曾三大寺の最古刹であり、本堂、庫裏、山門の三建築が桃山風の豪壮な建築様式として昭和二十七年に国の重要文化財に指定されています。定勝寺には寺宝が多く、木曾義元肖像



定勝寺山門

画や香林和尚頂相などが長野県宝に指定されており、書院の千羽鶴の壁画や東洋一の木曾ヒノキダルマ座像も見応えがあります。また、平成四年にこの寺で発見された「番匠作事日記」には天正二年（一五七四）には仏殿を修理した際にそば切りを振る舞ったことが記載されており、これが日本最古のそば切りに関する記録といわれています。

アクセス方法

・公共交通機関 JR中央本線須原駅 下車

・自家用車 中央自動車道中津川IC 〆国道十九号線経由で約一時間

お問い合わせ

大桑村観光協会 TEL〇二六四一五五一 四五六六



諏訪大社は、長野県中央の諏訪湖をはさんで南に上社（本宮・前宮）、北に下社（春宮・秋宮）に分かれ二社四宮が鎮座しています。

全国各地にある諏訪神社の総本社であり、日本最古の神社のひとつとされています。歴史は大変古く、「古事記」にその起源が、「日本書紀」には持統天皇が勅使を派遣した、と記されています。祀られている「お諏訪さま」「諏訪明神」は、古くは風の神、水の神、狩猟・農耕の神、武士の時代には軍神、現在では産業や交通安全、縁結びの神として信仰されています。

七年に一度、寅と申の年に行われる御柱祭で知られています。

◆上社（かみしゃ）
本宮（ほんみや）（諏訪市）

片拝殿が幣拝殿の左右に並ぶ独特の「諏訪造り」で、建造物も四社中で最も多くを残しています。現在の建物は江戸時代に再建されたもので徳川家康の寄進による四脚門など、国の重要文化財に指



上社本宮

定されている貴重な建造物も多くあります。

◆前宮（まえみや）（茅野市）

諏訪信仰発祥の地と伝えられており、その昔は諏訪大社の祭祀を司る大祝の居館をはじめ、多くの建物によって構成されていました。本殿を取り囲むように建つ四本の御柱がよく見えます。



上社前宮御柱

◆下社（しもしゃ）

秋宮（あきみや）（下諏訪町）

樹齢八百年の杉の巨木や、御柱の年に新調される神楽殿の大注連縄などが荘厳な雰囲気醸し出しています。春宮と共



に国の重要文化財に指定される幣拝殿は二重楼門造りと呼ばれています。



（上）下社秋宮神楽殿
（左）下社春宮幣拝殿

◆春宮（はるみや）（下諏訪町）

下馬橋と呼ばれる木造の大鼓橋を眺めながら直進すると、境内に辿り着きます。社殿の奥にそびえる杉の老木がご神木です。正面に神楽殿、その奥に幣拝殿と片拝殿、更に奥には宝殿があります。

◆御柱祭（おんぼしまつり）

「天下の大祭」として全国に知られている諏訪大社最大の神事です。正式名称は「式年造営御柱大祭」といい、宝殿の立て替え、また社殿の四隅に「御柱」と呼ばれるモミの巨木を曳建てる神事で七年に一度、寅と申の年に行われます。上社、下社それぞれに直径約一丈、長さ約一七丈、重さ一〇ト以上にもなる御柱を山から伐り出し、木遣りに合わせて人力のみで曳き、各お宮の四隅に建てます。



御柱が下る木落とし坂

四月の「山出し」と五月の「里曳き」があり、山出しでは、巨木の御柱が次々と坂を下る「木落とし」や、上社では冷たい水が流れる川を曳き渡る「川越し」があり、その豪壮な情景は他に類を見ません。里曳きでは、曳行の合間に長持ち、騎馬行列など時代絵巻が繰り広げられます。

また、諏訪大社の御柱祭が終わると、諏訪地方の各地区にある小宮の御柱祭が行われ、御柱年の諏訪地方は一年を通じて御柱一色となります。

次回は平成二十八年（申年）

アクセス

- 上社本宮 JR中央本線 上諏訪駅下車 茅野駅下車
- 上社前宮 JR中央本線 茅野駅下車 車 諏訪ICから約3km
- 下社春宮 JR中央本線 下諏訪駅下車 車 諏訪ICから約2km
- 下社秋宮 JR中央本線 下諏訪駅下車 車 諏訪ICから約5km
- 車 岡谷ICから約6km
- 車 岡谷ICから約6km



岐阜県中津川市北部の長野県境付近に端を発する付知川の上流部は「付知（つち）峡」と呼ばれ、左に西股谷、右に東股谷と分かれています。この付知峡は、別名「青川」とも呼ばれる溪流と、新緑・紅葉が美しい自然に恵まれ、「森林浴の森日本一〇〇選」「岐阜県の名水五〇選」「飛騨・美濃紅葉三十三選」に選ばれています。今回は、四季折々の楽しみ方ができる西股谷を紹介します。

■**勇壮な滝**【高樽の滝】
標高八八〇メートルにある「高樽の滝」は、裏木曾の深山から西股谷に落下する落差二一メートルの滝です。森の静けさを打ち破るかのようには、ごう音をたてながら勢いよく落下する様はとて勇壮な滝です。滝名は高樽山（標高一、六七二メートル）が水源であることから付けられたようです。滝の上部への立ち入りは危険なため制限されていますが、昔は、豊富な水量をいかして子供たちが滑り台のように水遊びしていたそうです。現在は、森林鉄道で使われていた木橋の上から間近にその姿を



高樽の滝

楽しむことができます。

■**秘湯の一軒宿**【渡合温泉】

付知川の最上流部にひっそりとたたずむ秘湯の一軒宿です。ここには、電気も来ていません。夜はランプの火を灯すことから「ランプの宿」と呼ばれています。

源泉は明治初期に西股谷の谷筋で発見されました。泉質は、アルカリ炭酸泉で胃腸病やリュウマチに効果があるといわれています。冬季は雪が深く営業は四月



渡合温泉

から十二月までとなっています。川魚や山菜を使った郷土料理が自慢です。

■**御嶽山を望む**【高時山】

付知川の源流に位置する山で、「ランプの宿」渡合温泉から、江戸時代に御嶽山に向かう登山道として使われた「木曾越古道」を利用して登ることが出来ます。

この「木曾越古道」は、岐阜県の加子母と長野県の王滝を結び、その歴史は今から九百年ほど前まで遡ります。当時は、御嶽講の行者や信者が頻繁に往来していたそうです。加子母から白巣峠までの間には観音様を刻んだ三十三体の石仏が奉られていました。その途中にある木曾越峠では、ほお杖姿の二体の石仏が、今でも登山者の安全を見守っています。木曾越峠から、国有林の境界尾根を進



木曾越峠の石仏

めば山頂に到着します。渡合温泉から、約四時間ほどです。高時山の標高は、一、五六三メートルで、山頂からは正面に白巣峠越しに雄大な御嶽山が、御嶽山の左には小秀山、右には夕森山、奥三界山などの裏木曾の山々が望めます。



高時山から御嶽山を望む(中央は白巣峠)

◆**アクセス(渡合温泉まで)**

【公共交通機関】

JR中央本線中津川駅下車、北恵那交通バス「付知峡・倉屋温泉行」約五十分「付知峡倉屋温泉」から徒歩約三時間「渡合温泉」

【自家用車】

中央自動車道中津川IC→国道二五七号・二五六号を下呂方面へ「付知峡口」交差点より約四十分「渡合温泉」



◆**中山道奈良井宿**

長野県塩尻市に中山道木曾十一宿中、最も賑わった奈良井宿があります。その繁栄のさまは「奈良井千軒」とも呼ばれるほどで、鳥居峠上り口にある鎮神社を京都側の端に、奈良井川沿いを緩やかに下りつつ約一キロにわたり家並みが続いています。

江戸時代や明治時代の建築物が立ち並び、往時の面影を色濃く残す奈良井宿は、昭和五十三年に国の重要伝統的建造物保存地区（重伝建）に選定されています。



奈良井宿

重伝建に選定され三十六年が経ち、これまで修理修景が行われ江戸の宿場町を肌で感じる町並みとなりました。江戸時代の形式をとどめた家で、現代の生活が営まれておりますので、ゆっくり町を歩いては如何でしょうか。



高札場



水場

【**鎮神社**】

元和四年、奈良井宿に疫病が流行り、これを鎮めるために下総国香取神宮から経津主神を招き祭祀を始めたこととされています。



鎮神社

【**杉並木と二百地蔵**】

塩尻方面よりの旧中山道では、杉並木が旧街道の面影を良く伝えており、胸高直径五〇センチ以上の杉、一七本を数えます。

また、明治初期の国道開削・鉄道敷設の折に奈良井宿周辺から集められた千手観音・如意輪観音などの観音像があります。



中山道と杉並木



観音像

◆**木曾平沢 (漆工町)**

木曾平沢は、慶長三年に奈良井川の左岸にあった道が右岸に付け替えられたことを契機に周辺から移転し集落が形成されていったと考えられています。この道は

中山道の一部として整備されました。

近世には、奈良井宿の在郷として位置づけられ、檜物細工、漆器の生産で生計を立ててきました。

このような近世状況から木曾漆器が大きく発展したのは、明治初期に地区内で「鑄土」という下地材が発見されたことにより産業としての基盤が確立し、漆工町として発展してきました。

これらの歴史的景観と漆工という伝統工芸の職人町として木曾平沢は、平成十八年に国の重伝建に選定されました。裏通りや小路を歩き表通りでは発見できない魅力に気づいてください。



木曾平沢の町並み

アクセス方法

【**公共交通機関**】

奈良井宿…JR中央西線奈良井駅下車
木曾平沢…JR中央西線木曾平沢駅下車
「自家用車」中央自動車道伊那IC〜国道三六一号線経由で約四十分



◆平瀬温泉郷

白川村平瀬は世界遺産白川郷荻町地区から南へ十二キロ、霊峰白山の岐阜県側玄関口として古くからその名を馳せてきました。また、白山から湧き出る豊富な温泉は麓の平瀬地区まで引湯され、宿十軒と日帰り温泉施設を擁する平瀬温泉郷として親しまれています。



平瀬温泉郷

泉質は含イオウナトリウム塩化物泉で美肌効果が高いことから古来より「子宝の湯」と呼ばれ人気を集めています。

◆白水の滝

平瀬温泉から白山平瀬登山道口へ至る道は、渓谷を横切り、ブナやナラの巨木の間を縫うように走るまさに大自然のテーマパーク。白山の噴火で流れ出た溶岩流が複雑で切り立った地形を形成し、

溶岩台地の上に豊富な樹木を育んできました。



幻の名瀑「白水の滝」

豊富な樹木は豊かな水を供給し、溶岩台地の絶壁から落差七六メートル、幅八メートルの「白水の滝」がまるで一筋の絹糸のように流れ落ちていきます。

かつて那智、華厳と並び日本三名瀑に数えられていましたが、一九六三年に完成した大白川ダムにより上流で取水されることになり、春から秋の観光シーズンのみ取水口の放流により姿を現す運命になりました。このため日本の滝百選にも選出されていない「幻の名瀑」と呼ばれています。

◆白山ブナの森キャンプ場

ブナやナラの巨木に囲まれた白山ブナの森キャンプ場は、日本でも指折りの原生林のまっただ中に存在する希有なキャンプ場です。何百年もの森の歴史を黙して語りかけてくる森の巨人たち



白山ブナの森キャンプ場

は、ここを訪れる人々に深い感銘と自然への畏敬の念を植え付けてくれることでしょう。また、キャンプ場では様々な自然体験プログラムを味わうことができ、その貴重な立地とともに人気も上昇中です。

◆白水湖

一九六三年に完成した大白川ダムは、名瀑を儚く幻にしましたが、新たに神秘的な白水湖を生むことになりました。総貯水量一、四〇〇万トンを誇るロックフィル式ダムは湖底にいくつも温泉の源泉が湧き出ていることから、その成分により湖面がエメラルド色に輝き、深い緑の原生林の中で宝石のような美しさを輝かせています。

白水湖は白山登山道平瀬道の出発点、急な登山道から時折見える湖面は、天候や場所によって様々な色や表情で微笑み、つらい急登の疲れをしばし癒やしてくれる女神のような存在です。また、湖



エメラルド色に輝く白水湖

畔には秘湯マニアの間では有名な絶景を誇る温泉露天風呂「大白川温泉」があり、登山客の疲れを癒やすことはもちろん、白水湖を訪れる人々の心のオアシスになっています。

さらに、このダムの上流には、手取層群と呼ばれる中生代ジュラ紀から白亜紀にかけての地層が露出しており、多くの化石や恐竜の足跡が発掘されている学術的にも大変貴重な区域があります。



手取層群の貝の化石

◆アクセス方法

- ・濃飛バス
高山濃飛バスセンターから平瀬温泉 約一時間二〇分
- ・自家用車
東海北陸自動車道から平瀬温泉へ 白川郷ICより南へ約二〇分 庄川ICより北へ約三〇分 平瀬温泉から大白川へ 県道白山公園線で約四〇分

◆お問い合わせ

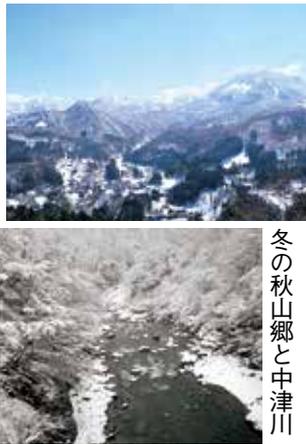
白川郷観光協会
電話〇五七六九一六一〇二三



◆秋山郷

秘境で知られる秋山郷は、長野県下水内郡栄村と新潟県魚沼郡津南町にまたがる中津川沿いの地域の名称です。

日本の秘境一〇〇選に数えられており、交通事情が悪く、豪雪地帯で閉ざされた環境から平家の落人伝説や特有の風俗習慣が残っている地域です。



冬の秋山郷と中津川

平家の落人伝説とは、平家一門の平勝秀が落ち延びたとされているものです。

また、平家一門で越後で勢力のあった城将一族が越後平家と言われ逃げ延びたとの説もあります。

秋山郷の名の由来は、この地域では川



鳥甲山

の下流から見ると上流を「アゲ・アギ」と言い、それが訛って「アキ」となり、谷を「ヤ」、間を「マ」と呼んで上流の谷間の村という意味で「アキヤマ」と呼ばれるようになり、天明三年の飢饉で一村が全滅した「大秋山村」に由来しているようです。

秋山郷は、江戸時代の文人鈴木牧之が秋山を訪れ風俗や習慣を書き留めた著書「秋山紀行」が出版されて有名になりました。

「秋山紀行」は、天保二年（一八三二）には完成していましたが、依頼をした十返舎一九の死により出版が見送られ、昭和三十三年になって出版されました。

秋山郷へのアクセスは、志賀高原方面からのルートと津南町方面からのルートがあります。積雪期は津南町方面からのルートのみとなります。平成一八年には四号もの積雪となり唯一の生命線である国道四〇五号線が通行不能となり住民

五〇〇人が約一カ月間孤立するといった事態に陥ったこともあります。



林道除雪と苗場山

秋山郷に関係する国有林は、赤石沢・岩菅・鳥甲の約五五三六二ヘクタールで、佐武流山周辺森林生態系保護地域（八八三九ヘクタール）、苗場山湿原植物群落保護林（二二五二ヘクタール）、鳥甲山特定地理等保護林（一一一九ヘクタール）、月夜立特定地理等保護林（二七六ヘクタール）を設定して貴重な自然や生態系を保全しているほか、苗場山二二四五ヘクタール、佐武流山二一九一ヘクタール、鳥甲山二〇三七ヘクタールがあり夏場には多くの登山客で賑わっています。

また、スギ・カラマツを中心とした人工林もあり、今年度は三七ヘクタールの間伐と四二ヘクタールの保育作業を予定しています。

秋山郷は、V字溪谷で「蛇淵の滝」「夫婦の滝」「不動の滝」「大瀬の滝」「小水の滝」「大滝」などの多くの滝が見られるほか、切明、朽川、和山、上野原、屋敷、小赤沢など多くの温泉もあります。

小苗場山の登山口の近くにある小赤沢温泉の楽養館は鉄分を含んだ温泉で赤褐色をしています。湧出口では無色透明



(上)楽養館
(左)切明温泉



の源泉が酸化して変色するようです。また、切明温泉では、スコップで河原を掘って自分だけの露天風呂を作ることにも出来ます。

秋の秋山郷は、十月下旬が紅葉の見頃となり、多くの種類の樹木が五色織りなす色彩ですばらしい景色を見せてくれます。中でも、紅葉と白樺と鳥甲山を湖面に浮かべる天池の景色は圧巻です。

この秋は「秘境・秋山郷」へ来られて日本の原風景に触れてみては如何でしょうか。



天池の紅葉



◆山県市

山県市（やまがたし）は、二〇〇三年旧山県郡の三町村（美山町、高富町、伊自良村）が合併し誕生しました。岐阜県内では平成の大合併で誕生した最初の市になります。

ここでは、山県市の北部美山地域を中心に紹介します。

◆製材の町

美山地域はかつて全盛期には一〇〇軒以上の製材所が軒を連ね、三十年前には七十軒弱、現在は十八軒とその数は激減



スギ板の天然乾燥

していますが、今でも国道四一八号線沿いとその周辺には、スギ板の製材品を天然乾燥する光景があちこちに見られ、車から降り立つとスギの良い香りに街中が包まれています。

家内工業的に営んでいる製材所が、七割ほどを占めていることから、乾燥機をもたず従来からの天然乾燥が多いようです。

製材品はスギ板のみで、扱いても容易なことも天然乾燥が続いている要因なのでしょう。



あちこちで見られる天然乾燥の様子

この地域で最も大きな製材所の社長さんに話を聞きました。

薄いスギ板を扱っているので、乾燥には一番気を使うそうです。割れたり、反ったり、また、板を天然乾燥する場合、元を上にして立てて乾燥するが、上と下では乾燥の度合いも違ってくるかと；苦勞も多いけど「やっぱり天然乾燥は

感じが違うんだよ。」とおっしゃっていました。この製材所では天然乾燥したものを人工乾燥機でさらに含水率を下げ品質を均一にしてから出荷しているそうです。

製材所の一角では、レーザーを使った加工所もあり、名刺大サイズ厚さ一・五ミリ程度のスギ板に名刺を印刷したものも製作していました。「名刺入れには入りませんが」と笑っておられました。

◆神崎川

市の最北部には神崎国有林があります。

ここを源流とする神崎川は、透明度が高くすばらしい景観です。



神崎川

神崎川沿いには、コテージやキャンプ場などを備えた施設があり、年間三万人弱の方が訪れています。中京圏の都市部からも比較的近く、しかも本物の自然

が満喫できる場所となっております、利用される七割が名古屋方面からのお客さんです。

◆明智光秀公の墓

明智光秀は本能寺の変の後、山崎の戦で敗れ、その後、逃げるところを落ち武者狩りに遭い命を落としたというのが定説となっておりますが、この地には、山崎の戦で死んだのは影武者で、明智光秀公はその後、別名を名乗りこの地に住んでいたとの言い伝えがあります。

中洞白山神社の傍らには「明智光秀公」の墓があり、地元の方々によって祀られています。



明智光秀公の墓

◆アクセス

東海環状自動車道、関広見ICから国道四一八号線を経て約二十五分で、山県市役所美山支所



黒曜の水(水場)

長和町は長野県の中東部、小県郡の南部に位置し、平成十七年十月に長門町と和田村が合併して誕生し、町名は両町村の頭文字より命名されました。

◆豊富な水の町

町内和田地区の旧中山道沿いには、湧き水を中心とした水呑場が、みどころとして各地に設置され、気軽に美味しい水を飲むことができ、水明の里といわれるほど四季を通じて豊かな水に恵まれています。なかでも中山道の難所であった和田峠周辺は、黒曜石の産地として全国的にも有名ですが、ここから湧出する水は



この遺跡は、地元研究者であった児玉司農武氏（同町大門出身）により発見され、黒曜石原産地における旧石器時代の活動の痕跡が次第に知られることとなりました。



プランシュたかやまスキー場から星糞峠を望む

◆鷹山（たかやま）遺跡群

大門川支流の鷹山川上流の盆地状の地形にいくつかの旧石器時代の遺跡が点在しており、これらを総称して鷹山遺跡群と呼んでいます。

「黒曜の水」と名付けられています。地元では、和田峠の黒曜の水は、超軟水で腐らない水として、昔から水道水源として利用されてきました。水場は新和田トンネル料金所近くに設けられていますが、遠方からも黒曜石により濾過された名水を求め多くの方が汲みに訪れています。



長久保宿本陣

◆長久保宿と本陣（町指定文化財）

長久保宿は慶長七年の中山道制定に伴い真田氏の支配下により宿場が形成されました。寛永八年の大洪水により、宿場を現在の地へ移し、本陣・問屋を中心に東西方向に「豎（たて）町」が、宿が賑わうにつれて「横町」が形成され特異なL字型の町並みとなりました。

一時は四十軒前後の旅籠屋が軒を連ね、中山道信濃二十六宿の中では塩尻宿に次ぐ規模であったとされています。

この長久保宿にある本陣は真田幸村（二〇一六年大河ドラマ「真田丸」の主

また、一九九〇年代になって、近くの星糞（ほしくそ）峠一帯で縄文時代の黒曜石の採掘跡が確認され、星糞峠黒曜石原産地遺跡（国史跡）として現在も研究が進められています。

黒曜石や遺跡に興味のある方、石器作りを体験したい方は鷹山地籍に黒曜石体験ミュージアムがありますので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

構造材の約七割は、町産材であり、高齢級の国有林材は要所に柱材として活用されました。

現在、町では役場庁舎の新築に着手しており、引き続き地域産の木材利用を進めるなど歴史に息づいたふるさと創りに取り組んでいます。



ながと保育園園舎と絵本広場(左)

◆公共建築物への地域材利用

町は積極的に長和町の自然の中で育った地域産の木材利用に取り組んでおり、本年十月に竣工した長和町の統合保育園（ながと保育園）は「自然の懐に抱かれ、太陽の恵み、風の流れ、木々のぬくもりを感じ…」との設計コンセプトにより地元産カラマツをふんだんに使用して建設されました。



◆富山湾と立山連峰

雨晴海岸は、海越しに浮かぶ二〇〇〇級の立山連峰の景観を望むことができ、古くは越中国司として在住した大伴家持に「万葉集」で「馬並（な）めていざ打ち行かな渋谿（しぶたに）の清き磯廻（いそま）に寄する波見に」と詠まれました。また、景観が素晴らしいことから、二〇一四年には「世界で最も美しい湾クラブ」に国内では、松島湾に次



雨晴海岸

◆高岡市の鉄道

いで二カ所目の加盟となりました。「世界で最も美しいクラブ」とは、湾を生かした観光振興と資源保護、そこに暮らす人々の生活様式や伝統の継承、及び景観保全を目的に一九九七年にドイツのベルリンで設立されました。また、富山県の観光パンフレットに雨晴海岸から望む立山連峰の景観が使われています。



ドラえもんトラム



忍者ハットリ君列車

漫画家の藤子不二雄の二人は、高岡市とゆかりが深く、高岡駅から「忍者ハットリ君列車」がJR氷見線やJR城端線を行き交っており、高岡市と射水市を結ぶ万葉線では、「ドラえもんトラム」が運行され県外からの観光客からも好評を得ています。

◆富山県唯一の国宝

瑞龍寺は、加賀藩二代藩主前田利長公の菩提寺として、三代藩主利常公が一六六三年に建立したものです。近世を通じて前田家の手厚い保護を受けていたが明治時代にはいり、加賀藩の庇護を受けられなくなり、困窮して部材を売るため解体されました。

しかし、一九八五年から修理を十年ほ



瑞龍寺 山門

どかけて行い一九九七年には、山門、仏殿、法堂が建造物としては法隆寺以来、奈良正倉院とともに国宝指定を受けました。

◆高岡銅器の職人・技術の結晶

高岡大仏の原型師は地元の中野双山で、古式鑄造法である焼型重ね吹き（やきかた）の技法で鑄造から着色までの全工程を高岡の職人たちの手で行った記念すべき大作です。

大仏の特徴としては、歌人、与謝野晶子が一九三三年高岡を訪れた際に、高岡大仏を「鎌倉大仏より一段と美男」と評したとも伝わり、端正な顔立ちの大仏とされています。



高岡大仏

◆アクセス方法

○雨晴海岸は

JR氷見線雨晴駅から徒歩三分

○ドラえもんトラムとハットリ君列車は

JR高岡駅下車

○瑞龍寺と大仏は

JR高岡駅から徒歩十分



◆自然湖（しぜんい）

昭和五十九年、「長野県西部地震」の際土石流が流れ込み、王滝川の流れがせき止められてできた湖です。

今でも立ち木が残り、毎年季節を問わず、絵を書く人や写真を撮る人が多く訪れます。

この自然湖では、誰でもすぐに乗れるカヌーを漕いで、歩くことでは味わえない風景を見ながら森林浴を楽しむツアーも開催されています。



冬の自然湖

アクセス方法

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC↪国道十九号線
經由約一時間五〇分、長野自動車道塩尻IC
↪国道十九号線經由約一時間五〇分

◆清滝（きよたき）

御嶽山の三合目付近（田の原へ向かう途中）に「清滝（きよたき）」と「新滝（しんたき）」があります。清滝は高さ三十メートル、古くから滝行が行われることで知られています。昔、御嶽山に登るには「百日精進潔斎」（百日間修業をし、身を清める）をおこなわなければ、登拝は許されないとという厳しい伝統がありました。今でも、夏になると滝にうたれる信者さんの姿を見かけることがあります。冬になるとこの滝は、氷の柱となり、ライトアップされると水の青さに目が奪われます。

また、新滝は滝の裏側からも見ることができることから、「裏見滝」とも呼ばれています。



氷の柱となった清滝

アクセス方法

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC↪国道十九号線
經由約一時間五〇分、長野自動車道塩尻IC
↪国道十九号線經由約一時間五〇分

◇木曾へ泊まる

平成二十六年九月二十七日に御嶽山が突然噴火し、多くの登山者が犠牲となりました。その影響で現在、王滝村を訪れる方が大幅に減少し、旅館業やサービス業は大きなダメージを負っています。

平成二十七年一月十九日に、これまでの火口から半径四キロ圏内としてきた警戒の必要な範囲を三キロ圏内に変更となり、「おんたけ2240スキー場」も二月下旬の開業に向けて準備を進めています。



開業準備が進むおんたけ2240スキー場

アクセス方法

〔自家用車〕

本スキー場は例年、ゴールデンウィークまで営業をしています。このほかの木曾地方のスキー場も雪が多く快適に楽しめます。

是非、木曾地方に足を運んでいただ

き、「木曾のそば」、「木曾牛」、「すんぎ漬け」などの地元ならではの美味しさを味わって下さい。また、木曾地方にある五つの酒蔵で仕込まれた日本酒も絶品です。

さらに、お帰りには、「そば饅頭」などのお菓子類や木曾の厳しい環境で育った木曾ヒノキ、天然サワラの木製品をお土産にしてくださいましたら幸いです。



木曾の地酒とすんぎ漬



そば饅頭と木製品



夕日に映える北陸新幹線高架橋

◆北陸新幹線開業
平成二十七年三月十四日、北陸新幹線、長野・金沢間が開業しました。糸魚川市には列車名「はくたか」が一時間に一本程度で発着します。これにより糸魚川～東京間の上り列車が現行の最速所要時間を約三〇分短縮され二時間四分となり、下り列車の最速は一時間五九分となります。



◆糸魚川世界ジオパーク
糸魚川市は日本を東西に分断する大地溝帯「フォッサマグナ」の西縁に位置し、特異な地形・地質に巡り会える貴重な地域です。



高浪の池と石灰岩からなる明星山

自然環境の保全、教育への活用、ジオツーリズムの推進、地域振興への寄与等、そこで芽生える文化とともに大地の遺産として、二〇〇九年日本で初めて世界ジオパークに認定されました。現在、糸魚川ジオパークには二十四のジオサイト（見学地）が設定され、日本列島誕生の歴史を垣間見ることが出来ます。また、糸魚川駅発着のガイド付き定期観光バス「糸魚川ジオまーる号」が定期的にコースを変えて運行されており、三月十四日～二十九日までは天下の険とし

て知られる国の名勝「親不知」やフォッサマグナミュージアムなどを巡る「松尾芭蕉の史跡めぐりコース」が運行予定です。



糸静構造線の断層露頭

◆ヒスイとフォッサマグナミュージアム
ヒスイは古代から装飾品として珍重され、ここ糸魚川地域が日本最大の産地となっています。佐賀県の吉野ヶ里遺跡や青森県の三内丸山遺跡で出土したヒスイ製品も糸魚川産でした。今でもヒスイの原石を求めて姫川沿いや海岸を散策する人々がしばしば見られます。見つかる石の種類は日本一とか。



上質な巨大ヒスイ「翠の雫」

そんな鉱物の魅力を深く理解できるのが年間六万人以上が訪れる人気の博物館「フォッサマグナミュージアム」で、三月九日リニューアルオープンしました。珠玉のヒスイ「翠の雫」の展示をはじめ、鉱物標本などが映像資料を交えてわかりやすく展示されています。

また、国史長者ケ原遺跡から出土したヒスイの加工道具や土器・石器などを展示する長者ケ原考古館も隣接していますので併せて見学することができます。



光を透過し輝くヒスイ

◆アクセス方法
●糸魚川へは
長野市から北陸新幹線で三六分
松本市から大糸線で三時間半

●高浪の池

●北陸自動車道糸魚川IC下りて四〇分
●定期観光バス「ジオまーる号」
駅アルプス口バス乗場から土日祝運行

●フォッサマグナミュージアム

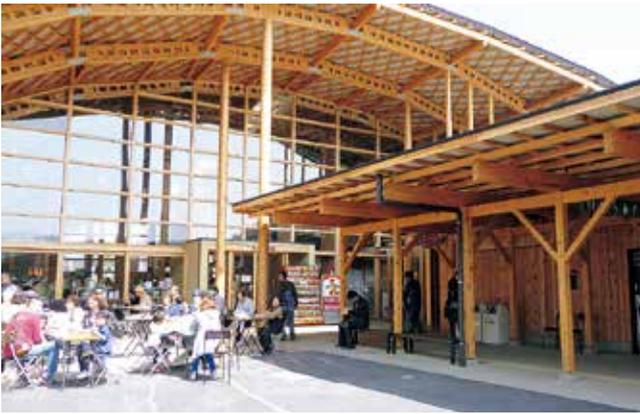
北陸自動車道糸魚川IC下りて五分



◆道の駅「もつくる新城」

江戸時代から桜で有名な桜淵がある新城市は、城下町を中心とした県内で二番目に広い自治体です。古くは豊川の水運と信州方面への伊那街道を結ぶ中継地として栄え、「山の湊」とも称された交通の要所でした。

その新城市で三月二十一日、新東名高速道路の新城IC（インターチェンジ）



「もつくる新城」の正面入口

と国道一五一号新城バイパスとの結節点に、道の駅「もつくる新城」がオープンしました。

市内各所で建設工事が行われてきた新東名高速道路は、浜松いなさJCT（ジャンクション）～豊田東JCT間の開通が一年延期され、平成二十七年末になつてしまいました。が開通すれば新城ICは奥三河地域の玄関口となることから、「奥三河観光ハブステーション」に位置付けられており、地域の魅力を発信するとともに、人が集い交流する地域の拠点として期待されています。

・名称の意味

「もつくる」とは、木材・来るの意味です。温もりを感じる木材をふんだんに使用、地域の産物を余すことなく活用し、人々集まる（来る）活気あふれる道の駅をイメージしています。

・施設概要

奥三河産のスギやヒノキを活用したアーチ形の屋根の建物で、中に入ると木の柱や格子状にデザインされた天井が印象的です。

長篠・設楽原の戦いの「馬防柵」をイメージしたとされる男性用トイレは、木組みの壁で外からの明かりを活かした造りで、女性用は奥三河地域の観光資源が紹介されているそうです。

建物の奥を抜けると野外ステージが設けられており、新城市四谷の千枚田をイメージして作られた棚田ベンチに腰掛け



千枚田をイメージした棚田ベンチとステージ

て、イベント等を楽しめるようになっていきます。

また、駐車場の近くには観光案内所や「足湯」が設けられており、名湯「湯谷温泉」のお湯を楽しむことができます。



駐車場の足湯

- ・売店等
- 入口付近は定番のスナック屋台、内部では「お惣菜バイキング」や、猪肉を使った「ししラーメン」などのジビエ料理も楽しめます。また、東三河の特産品が数多く揃えられ、間伐材を利用した「丸太コンロ」や薪まで販売されています。
- ・構造
- 木造二階建て
- 延べ面積 一、〇七三・六九平方メートル
- ・営業時間
- 九時～一八時
- ・駐車場
- 普通車七五台 大型二三台
- 身障者用二台

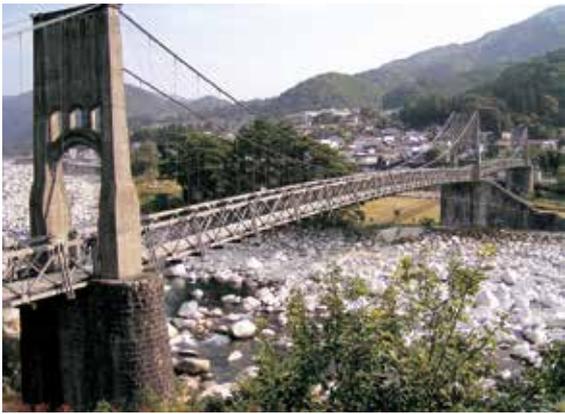
近くにお越しの際には是非ご覧になっては如何でしょうか。



店内の様子

アクセス方法

「自家用車」東名高速道路「豊川IC」から国道一五一号線を北へ約三〇分



桃介橋全景

南木曾町（なぎそまち）は、長野県の南西部、木曾谷の南端に位置します。面積の九十四％が森林で占められていて、うち七割が国有林です。古来から伊那谷、木曾谷と美濃を結ぶ交通の要衝であり、中山道木曾十一宿の一つ「妻籠宿」があることで知られています。

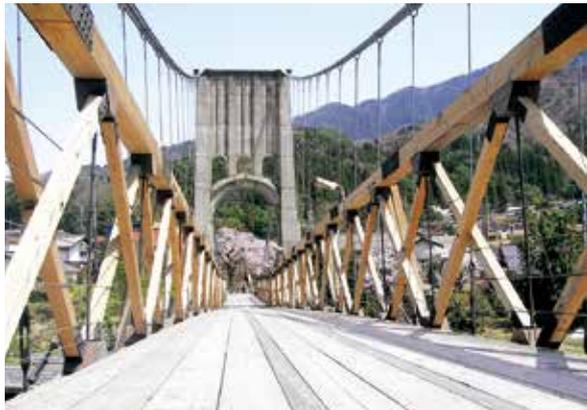
◆桃介橋（ももすけばし）
「桃介橋」は別名「桃の橋」と呼ばれ、大正十一年九月に完成しました。木曾川の水力発電開発に力を注いだ大同電

ご当地
自慢

産業遺産「桃介橋」

25

南木曾支署



復元された桃介橋

桃介橋は全長二四七呎、幅二・七呎で、この付近では最大川幅のところにあり、美しく雄大な景観を誇っています。平成六年に国重要文化財に指定されました。

力（福沢桃介社長）が読書発電所（大正十二年完成）建設の資材運搬路として架けたものです。

その後、村道（現在の町道）として、兩岸集落の交通や、高校生・中学生の通学など地域の交通に大いに役立っていましたが、昭和五十年代には老朽化も進み、本格的な修理もできなかったため廃橋寸前となってしまいました。この間、保存・活用の声が多く寄せられ、付近一帯の天白公園整備に併せて、町が近代化遺産として復元したものです。



春の福沢桃介記念館

◆福沢桃介記念館（ふくざわももすけきねんかん）
「二河川一会社主義」を掲げて木曾川の電源開発に乗り出した電力王・福沢桃介は、木曾における基地として、現在の南木曾町読書の地に別荘を建て、ここから読書や大井などの発電所建設現場に足を運びました。

その桃介を助け、よきパートナーであったのが、わが国女優第一号といわれる川上貞奴（かわかみさだやっこ）でした。

二人は、大井川発電所が完成する大正十三年まで頻繁にこの別荘に滞在し、政財界の実力者や外国人技師などを招いては、華やかな宴を催したということです。

山深いこの地にあって、この別荘だけ

は西洋の香が漂う異国だったのです。建物は、昭和六十年から桃介記念館として一般に公開されていますが、大正時代の貴重な西洋風別荘建築としても知られているこの記念館に一歩足を踏み入れると、桃介と貞奴が過ごした大正ロマネスク時代にタイムスリップしたような錯覚に陥ります。



福沢桃介記念館の様子

◆所在地

長野県木曾郡南木曾町読書天白

◆アクセス方法

- ・公共交通機関 JR中央本線南木曾駅下車 徒歩十分
- ・自家用車 中央自動車道中津川IC

（国道十九号約三十分）

◆お問い合わせ

南木曾町観光協会

電話番号〇二六四―五七―二〇〇一



駒ヶ根高原

◆**駒ヶ根高原**
 駒ヶ根高原は、駒ヶ根市でも最も人気の高い観光スポットとして親しまれている。



ます。中央自動車道・駒ヶ根ICから車で約五分とアクセスが抜群に良く、中央アルプスの名所「千畳敷カール」まで、ロープウェイで気軽に行くことができます。駒ヶ池のほitoriから眺める四季折々の風景は、写真愛好家の注目の的になっており、なかでも例年十月中旬から十一月上旬ごろ、中央アルプス頂上から山麓にかけて見られる紅葉は息をのむ美しさです。温泉郷やペンション、美術館、地ビールレストランなど観光施設も充実しており、ゆったりのにびり過ごすには最適な観光地です。

◆**中央アルプス千畳敷カール**

日本百名山にも名を連ねる木曾駒ヶ岳（二、九五六一メートル）を最高峰とする木曾山脈、通称中央アルプスは、飛騨山脈（北アルプス）、赤石山脈（南アルプス）とともに、日本アルプスと呼ばれています。

中央アルプスは南北に長いものの、東西の幅は約二〇キロメートル程度といわれています。

このため標高約六〇〇メートルの登山口から一気に二、〇〇〇メートルほど高度を上げる急峻な登山道が多く、沢や滝が点在するのが大きな特徴です。しかし稜線に出ればおだやかな地形になり、こうした変化が人気の理由となっています。

千畳敷カールは、今から約二万年前に、氷河のゆったりとした流れにより、地表面が削り取られ、すり鉢状になった



一面にシナノキンバイが群生

地形となり、その規模の大きさから「千畳敷カール」と呼ばれています。春の千畳敷カールは、スキー客と夏を待ちきれない観光客、夏は、可憐な高山植物が咲き競い、秋は、山肌一面が黄金色に輝き、冬は、紺碧の空と純白の景色が楽しめます。

◆**光前寺**

十余棟の堂塔を備え、霊犬・早太郎伝説が伝わる名刹で、貞観二（八六〇）年に本聖上人が開基した信州屈指の大寺



光前寺

で、南信州随一の祈願霊場として広く信仰を集めています。境内の庭園は国の名勝に指定され築山泉水庭で、一説には極楽浄土の庭園ともいわれ、四月中下旬に見ごろを迎えるしだれ桜も有名です。また、樹齢数百年の杉の巨木が立ち並び参道の脇には光苔が自生し、幻想的・神秘的な情景を演出します。

◆**霊犬早太郎伝説**

約七百年前、光前寺に「早太郎」というとても強い山犬がいました。その頃、現在の静岡県磐田市の見付天神社では毎年祭りに娘を人身御供として供える悲しい習慣がありました。娘をさらう怪物の老ヒビが早太郎を恐れていると知り、光前寺の住職は早太郎を向かわせ、見事その老ヒビを退治したという伝説が残っています。天神社からは書写した大般若経が奉納されたそうです。



霊犬早太郎像

◆**アクセス**

千畳敷カール

JR飯田線 駒ヶ根駅下車

バス・ロープウェイ 六〇分

光前寺

JR飯田線 駒ヶ根駅下車

バス 一五分



「やさか地域」について

「やさか」と聞いてご存知の方は少ないかと思えます。

平成十七年二月にいわゆる「平成の大合併」が中津川市で行われました。この中では、全国的にも稀な「廃置分合決定告示」(長野県木曾郡山吹村を廃しその区域を岐阜県中津川市に編入する)がされ旧山吹村も岐阜県中津川市となりました。

旧来より交流があった山吹村、坂下町、川上村の頭文字を取って「やさか地域」として三つの地区が観光などのPRを行っています。今回はやさか地域の観光についてご紹介します。

◆旧山吹村

観光の目玉としては、馬籠宿があります。云わずと知れた観光地でいさらの説明は省略させていただきますが、斜面に立ち並ぶ宿場の面影や島崎藤村の生地としてあまりにも有名です。

◆旧坂下町

坂下地区には、古くからの観光地に加

え、昭和四十四年に第一回全日本フォークジャンボリーが椈の湖で開催されたことを記念して、平成二十七年四月に「フォークジャンボリー記念館」が中津川市坂下総合事務所内に開館しました。平日のみの完全予約制での拝観となりますが興味がある方は一度足を運ばれてはいかがでしょうか。



現在の椈の湖

◆旧川上村

川上地区には「夕森公園」があります。年間約十五万人の来訪者があり、入り口にはかつて活躍した森林鉄道の機関車が訪れた人々を迎えてくれます。

公園内には、「竜神の滝」「銅穴の滝」などの滝めぐりや、一〇〇を超えるバンガローでのキャンプなど滞在して自然を楽しむことも可能となっています。



公園入口のディーゼル機関車

また、毎年、十一月上旬には「夕森もみじまつり」が開催されます。カエデを中心とした色鮮やかな紅葉が訪れた人の目を楽しませてくれます。なかでも大きな石の上に根を張りバラ



勇壮な竜神の滝

ンスを保ちながら成長しているもみじがあります。その姿から「ド根性もみじ」と名付けられ、その鮮やかな紅葉とともに「夕森公園のシンボル」となっています。

まだまだ見る、遊ぶ、食べるに事尽きない地域です。一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



紅葉した「ド根性もみじ」

◆アクセス(夕森公園)

〔公共交通機関〕

JR中央本線坂下駅下車、北恵那交通バス「夕森公園口行」約二〇分
〔自家用車〕

中央自動車道中津川ICより国道十九号線を北上、弥栄橋交差点を左折し川上方面へ、案内看板により夕森公園



◆松川村

松川村は、長野県の北西部に位置し、その北西部には、北アルプス連峰の雄大な山々がそびえ立っています。その北アルプスを源として流れ下る河川が松川村の緑豊かな大地を作っています。

村の西側には、信濃（安曇）富士と称される村のシンボル「有明山」があり、その麓には田園風景が広がっています。

この緑と水の溢れる中に「ちひろ美術館」があります。

【有明山】

有明山（標高二、二六八^{メートル}）は、日本二百名山の一つで、山頂部は、北岳・中岳・南岳の三つのピークからなっています。山岳信仰の山でもあり、山麓には有明神社が置かれ、古くから地元住民に親しまれています。

【安曇野ちひろ美術館】

絵本画家いわさちひろの作品とともに、絵本の歴史資料が展示されています。

周囲には、北アルプスを望む安曇野ち

ひろ公園（松川村営）が広がり、ゆったりとした時間を過ごすことができます。また、ちひろの絵で愛され、「窓際のトットちゃん」の電車の教室を再現する「トットちゃんの広場」が、平成二十八年夏完成予定で整備が進められています。



有明山

◆安曇野市

安曇野市は、長野県のほぼ中央に位置し、西部は雄大な北アルプス連峰がそびえ立つ中部山岳国立公園の山岳地帯であり、燕岳・常念岳など海拔三千^{メートル}級の山々があります。

北アルプスを源とする梓川・犀川の西部から高瀬川流域の最南部にかけて広がる扇状地全体を総括して安曇野と呼ばれています。

【穂高神社】

本宮のほか松本市安曇の上高地に奥宮、奥穂高岳山頂に嶺宮があることから「日本アルプスの総鎮守」の通称があります。

また、毎年九月二十七日に行われる例大祭が有名です。



穂高神社

【大王わさび農場】

東京ドーム十一個分もある日本一広いわさび田です。湧水を湛える蓼川を回る三連の水車は黒沢明監督の映画「夢」の舞台となった場所です。

わさびソフクリームとわさびコロツケが人気で、色も辛味も自然のままに味わえます。

また、安曇野は、日量七十万トンを超える一大湧水地で真夏でも水温が十五度を超えることがなく、環境省から「名水百選」のひとつに選定され、国土交通省からは「水の郷」の認定を受けています。



わさび田

見所が多く、自然豊かなこの地域を訪れてみてはいかがでしょう。

【アクセス方法】

【交通機関】

有明山・JR大糸線信濃松川駅下車（タクシーで約十五分）

安曇野ちひろ美術館・JR大糸線信濃松川駅下車（タクシーで約五分）

穂高神社・JR大糸線穂高駅下車（徒歩で約三分）

大王わさび農場・JR大糸線穂高駅下車（タクシーで約十分）



平湯トンネルを抜けると見える平湯温泉地区

◆奥飛驒温泉郷とは、岐阜県高山市の北部で文字通り飛驒山地の「奥」に位置し、日本の屋根といわれる北アルプスの槍ヶ岳、焼岳、穂高岳などの高峰に囲まれた大自然の中に点在する五つの温泉地（平湯、福地、新平湯、栃尾、新穂高）の総称です。

古くから飛驒と信州を結ぶ峠道として利用された地域で、温泉郷の湧出量は全国屈指。露天風呂の数は日本一とも言われ、温泉郷の範囲が南北十数キロに及び標



夏祭りや春の播隆祭で舞う福地の「へんべとり」

七〜八月に「昔話の里」の夏祭りとして「へんべとり」（無形文化財の獅子舞）を見ることができます。

◆福地温泉
旧家を移築した宿が建つ、静寂どころか懐かしさを感じる温泉で、平安時代には天皇がお忍びで療養されたことから『天皇泉』とも称されました。

◆平湯温泉
乗鞍岳の北麓で、標高一、三〇〇メートルにある高原の温泉。
戦国時代に武田信玄が飛驒に侵攻した際、発見された湯と伝えられています。
四季折々に美しい平湯大滝（落差六四メートル）や、スッポン四万尾の養殖場などを見学することができ、関東方面から飛驒への玄関口として、上高地や北アルプスなどへのバス中継地となっています。

高差もあることから、景観、泉質もそれぞれ異なり、自然が織り成す五種五様の景観と温泉を楽しむことができます。

◆新穂高温泉
雄大な山々が間近に迫る白樺林にホテルやペンションがあり、リゾート感のあふれる温泉。
北アルプスの槍ヶ岳・穂高岳への登山口でもあり、新穂高ロープウェイで標高二、二〇〇メートルまで空中散歩ができ、四季折々の北アルプスの景色が楽しめます。

◆栃尾温泉
庶民的で気取らない、アットホームな民宿が多い温泉。
高原川、蒲田川の合流部であり、溪流魚の宝庫でもあることから釣り客に大変人気があります。



郷土資料館に展示されている円空仏

◆新平湯温泉
素朴な民宿から近代的なホテルや和風旅館まで揃っており、温泉郷の中で最も規模の大きな温泉。
念仏僧円空がこの地に一年余り逗留したこともあり、素朴な「円空仏」が数多く残されています。

アクセス方法
・高山濃飛バスセンターより
平湯（一時間） 新穂高（一時間半）
・家用車
東海北陸自動車道清見ICより 五二キロメートル
北陸自動車道富山ICより 六六キロメートル
長野自動車道松本ICより 四八キロメートル



奥飛驒温泉郷の露天風呂「新穂高の湯」



ロープウェイ山頂駅から見る「冬の西穂高岳」



鏡池より戸隠連峰を望む

◆戸隠そば
戸隠そばは、一般に、長野県長野市戸隠（旧戸隠村）の蕎麦を指し、岩手県のわんこそば、島根県の出雲そばとともに、日本三大そばの一つとされています。



山岳信仰の栄えた戸隠は、古くから修験者が多く集まって来ており、その携

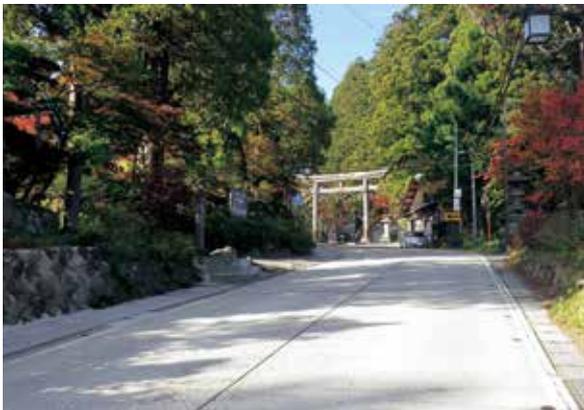


そば屋が並ぶ戸隠の街道の様子

行食料として戸隠に入ってきたと言われ、当時は、現在のような蕎麦切りではなく、蕎麦がきや蕎麦餅のような形態であったと考えられています。

戸隠そばの特徴は、挽くときに甘皮を取らない挽きぐるみの蕎麦粉を使用し、延すときは四つ出し（四角く延す）をせずに丸延しにします。そして、一つのざるに五ないしは六束、開口部のつぶれた馬蹄形状に盛る「ぼっち盛り」と呼ばれる独特の盛り付けを行います。ぼっち（束）の数は戸隠内の地域で変わるようです。

また、地元で取れる根曲り竹で編まれた円形のざるに盛り付けた「ざる蕎麦」は海苔はかけず、薬味には信州の伝統野菜に認定されている地元の「戸隠大根」と呼ばれる辛味大根が使われます。



戸隠の街道から見た戸隠神社中社鳥居

戸隠では、各家庭に蕎麦打ち職人がいると言われるくらい生活に密着しており、観光協会のホームページを見ても人口四、二〇〇人余りの集落に四十二店舗のそば屋が名を連ねているほどです。

信州では十月下旬頃から新そば（蕎



「九ぼっち」の特盛りそば

麦)の季節を迎えますが、戸隠のそばは信州の中でも最も有名で、そば祭りも三〇年以上の歴史があります。

以前は、そば祭りの前夜祭にお猪口を購入して二時間食べ歩き放題の「大盤振る舞いそば」が人気でしたが、二〇一四年から「時間制限の食べ歩きはそばをゆっくり味わってもらえない」との理由から、五枚つづり二、〇〇〇円の「半ざる食べ歩き手形」を購入して十一月下旬まで好きな店の新そばを食べ歩けるようになりました。

戸隠の風土と自然条件により育てられた薫り高い風味の霧下そばに、伝統のそば打ち技術と冷たい清水が加わって引き締まった歯ざわりのそばを、皆さんも一度は味わってみては如何でしょうか。



戸隠神社奥社参道

アクセス方法

上信越自動車道信濃町ICから約三〇分

上信越自動車道長野ICから約六〇分

JR長野駅からバス、タクシーで約五〇分



今年十月、全国育樹祭が開催された揖斐川町を紹介します。揖斐川町は岐阜県の南西部にあり、北は福井県・西は滋賀県と接しています。

多目的ダムとしては日本最大の徳山ダムがあることで知名度が高く、この地域を含め豪雪地帯として知られています。反面、夏は暑く、酷暑と豪雪の両面を持ち合わせた地域です。

平成十七年に揖斐川町・谷汲村・久瀬村・春日村・坂内村・藤橋村が合併し現在の揖斐川町が誕生しました。

全国育樹祭の会場となった谷汲地域を紹介します。

◆谷汲緑地公園

十月十一日、皇太子さまをお迎えし盛大に開催された全国育樹祭式典会場となった谷汲緑地公園は、華やかな式典が終了した現在はリニューアル中となっています。

皇太子さまが着席された「御席」や県産スギ製の「川湊灯台」、「森湊灯台」についてはそのまま活用され再び市民の憩



全国育樹祭会場となった谷汲緑地公園
(中央の「御席」は残される予定)

いの場となる予定です。

◆谷汲小学校

公共建築物等木材利用促進法が成立する以前から公共建築物の木造化に取り組んでいる同町は、平成十七年度から十八年度にかけ谷汲小学校校舎を新築しました。

延べ床面積約五、三〇〇平方メートルの校舎は約一、〇〇〇立方メートルの木材を使用、う



谷汲小学校のランチルーム



谷汲小学校のアリーナ

ち四二割は県産材を使用しています。

随所に木材の良さが伝わってきますが、特に吹き抜けのランチルームやアリーナ・音楽室はそれが十分伝わってきます。

全国育樹祭では来賓の方々の休憩所として利用されました。

◆谷汲踊り

育樹祭の式典でも披露された「谷汲踊り」は、岐阜県の重要無形文化財第一号に指定されており、毎年二月と四月及び十一月に奉納されます。

長さ四メートルの竹を半分に割り二本から三〇本を扇の骨のようにまとめ、これを色和紙で飾り鳳凰に見立てた「しない」という飾りを背負い、大太鼓を抱えて踊る姿が有名です。

前述の谷汲小学校の児童も地域の伝統を後生に残すべく十数年前からこの踊りを学んでいます。

◆谷汲山華厳寺と両界山横蔵寺
育樹祭会場の東にある「谷汲山華厳寺」は天台宗の寺院で西国三十三所三十三番札所、三十三所の札所としては唯一近畿地方以外にあり、満願結願の寺院となっています。



横蔵寺仁王門（檜皮葺）

また、会場の西には、同じく天台宗の「両界山横蔵寺」があります。国指定の重要文化財をはじめ、檜皮葺の仁王門や本堂、三重の塔は岐阜県の重要文化財にも指定されています。このように多数の文化財を有していることから「美濃の正倉院」とも呼ばれています。

いずれも、紅葉の名所でもありこの時期には特に多くの参拝者が訪れます。

◆アクセス方法

東海環状道大垣西ICから北へ、揖斐川町谷汲振興事務所まで、約四〇分



長野県第三の都市である現在の**上田市**は、平成十八年に、**旧上田市**、**旧小県郡丸子町**・**真田町**・**武石村**が合併し誕生しました。千曲川右岸の旧市街地は、戦国時代に**真田氏**が築いた**上田城**を中心とする城下町で、市街地から北に向かうと**真田氏**発祥の地とされる**真田の里**（旧**真田町**）となります。

平成二十八年は、ここ信州上田が舞台となる大河ドラマ**真田信繁**（幸村）が主人公となる「**真田丸**」の放送が始まることから地元は活気付いています。今回のご当地自慢は、**真田氏**にゆかりの地をご紹介します。

◆**上田城（城跡公園）**

千曲川の分流、**尼ヶ淵**に面していたので、当時は「**尼ヶ淵城**」とも呼ばれ、**甲斐武田氏**の旧臣であった**真田昌幸**（**信繁の父**）が一五八三年に築城したものです。

昌幸がこの**上田城**を舞台に二度も**徳川軍**を撃退した**上田合戦**は有名です。しかし、**関ヶ原の合戦**において**真田氏**が属し



上田城

た西軍が負けたため**上田城**は破却され、江戸時代には**上田藩**の藩庁が置かれました。現在は**旧二の丸**が**上田城跡公園**となっており、毎年桜の時期になると多くの市民や観光客で賑わう見所となっています。この城跡公園内には**真田丸**の放送に伴う「**大河ドラマ館**」がオープンする予定となっています。

◆**真田氏本城跡**

旧真田町にある山城の跡であり、**真田幸隆**により築城されたと伝えられ、**上田城**が築城されるまで**真田氏**の本城であったと考えられています。この城は、単体の山城ではなく**真田盆地**を取り囲む山城群の司令部的存在であったともいわれています。

◆**山家神社**

本宮が**真田町長地区**、奥宮は**四阿山**（あずまやさん、標高二、三五四尺、日本百名山）山頂にあり、古くからこの地域

の守り神として祀られ、千年以上の歴史をもつ神社です。
平安時代に編纂された**三大格式**（**律令の細則**）の一つである**延喜式**（えんぎしき）の**神名帳**に名を連ねるほど格式の高い神社です。



山家神社

真田氏も初代**幸隆**の代より氏神として崇めてきました。**真田信綱**（**幸隆長男**）**昌幸**の文書等は社宝となっています。

◆**角間温泉（角間渓谷）**

角間温泉は**上田市真田町角間川**上流、**日本森林浴の森百選**の一つである**角間渓谷**の中に位置し、周囲は**角間山国有林**で、切り立った**火山岩**の断崖絶壁がそそり立ち、特に秋は**溪谷**全体が赤く染まり、**信州有数の紅葉の名所**でもあります。

お湯は、鉄分を含んだ**炭酸泉**で地表に



角間温泉と溪谷の紅葉（下）

湧出した時点では無色ですが、空気に触れると鉄分が酸化し茶褐色となります。

ここは、**真田一族**の居城の近くであったことから、**真田家**の隠し湯ともいわれ、**溪谷**の双壁は**真田十勇士**の一人、**忍者「猿飛佐助」**の修行の場とも言われています。

◆**真田氏歴史館**

真田幸隆をはじめとする**真田一族**の歴史が豊富な資料で紹介されています。

館内の展示は、年代に沿って配置されており、**真田氏**の活躍の歴史がわかりやすく理解することができます。

○**歴史館所在地**

長野県上田市真田町本原二九八四番地

一 **アクセス**

JR上田駅・しなの鉄道上田駅よりバス利用約三十五分
自動車、上信越道上田・菅平インターチェンジより国道一四四号線で四・五キロ（約十五分）

大河ドラマの放送を機に是非一度**真田の里**を訪れてみてはいかがでしょうか。



海づくり大会

◆全国豊かな海づくり大会
 「第三十五回全国豊かな海づくり大会（富山大会）」が、十月二十五日に射水市を中心に天皇・皇后両陛下をお迎えして開催されました。
 この大会は、全国植樹祭・国民体育大会と並び「三大行幸啓」の一つに位置付けられており、大会が終わり帰京の際には、天皇陛下から「二年後に富山で行われる植樹祭楽しみですね」のお言葉をいただきました。



◆海王丸

海づくり大会のメイン会場の「海王丸パーク」には、初代「海王丸」が係留・展示されています。「海王丸」は、昭和五年二月十四日に進水し、海洋練習船として活躍すると共に、世界の人々からは「海の貴婦人」と賞賛され、愛され親しまれてきました。



海王丸

また、北アルプス立山連峰を背景に帆船海王丸と新湊大橋が並び立つ他に類を見ない雄大なロケーションと夜間のイルミネーションなどによる、ロマンティックな雰囲気プロポーズにふさわしいデートスポットと評価され、平成二十五年一月には、海王丸パークが「恋人の聖地」に選定され「永久の愛」を誓いに来場されるカップルも多いようです。

◆海の幸

新湊漁業協同組合では、旬の味覚を味わってもらおうと、ベニズワイガニを毎年射水市の小学校六年生に、給食で一匹ずつ提供しています。

白エビは、世界で富山でしか漁が行わ



美味しそうな白エビバーガー

れず「富山湾の白い宝石」と称されており、道の駅新湊では「白エビバーガー」として手軽に味わえます。



旬の味覚ベニズワイガニ

◆ダイオウイカ

平成二十六年十一月から二十七年一月にかけて、ダイオウイカ四匹が新湊漁港で水揚げされ、長さ約六、三メートル、重さ約一三〇キログラムのダイオウイカ一匹がスルメに加工され「新湊さつと」として市場に展示されました。



ダイオウイカのスルメ

これとは別に加工された三匹が平成二十七年二月に開催された試食会で来場者に無料でふるまわれました。味は、えぐみや苦みが強く、食用には向かないようです。

◆アクセス方法

○海王丸パークは、北陸自動車道小杉インターから車で二十分

○道の駅新湊は、北陸自動車道小杉インターから 車で十五分

是非、海の幸を味わってくださ



木曽川源流の里である木祖村は、長野県の西部、木曽川の最上流に位置する村で、村の東側にある鳥居峠は旧中山道の難所と言われ、太平洋に注ぐ木曽川と日本海に注ぐ信濃川との分水嶺になっています。木祖村は戦国時代には武田氏と木曾氏の領地争いが続き戦乱に巻き込まれた地でありましたが、関ヶ原の合戦後の江戸時代には京都と江戸を結ぶ中山道六十九宿のひとつ「藪原宿」として栄えました。

今回のご当地自慢は、緑と水に恵まれた自然豊かな木祖村の見所をいくつかご紹介いたします。

◆鳥居峠

木曽街道藪原宿と奈良井宿の間に位置する鳥居峠（標高一、一九七メートル）は、江戸時代の旅人にとって、わらじ履きの足を泣かせる中山道屈指の難所でした。現在は石畳の道も復元され、昔ながらの中山道を堪能することができます。

近年の自然回帰や健康志向で脚光を浴び、散策に訪れる人たちが賑わっています。



鳥居峠の石畳

◆水木沢天然林

水木沢川の源流部に位置する「水木沢天然林」は、木曾ヒノキやサワラなどの針葉樹とブナ、トチノキ、ミズナラなどの広葉樹が混交し生育している貴重な森林で、林内には「太古の森」、「原始の森」とふたつの散策コースがあり、いずれも一時間程度で一巡できます。



水木沢天然林の案内看板



多様な樹種が生育する天然林

◆味噌川ダム

木曽川上流の味噌川に造られた高さ一四〇メートルのロックフィルダムで、河川の水量調節や、下流域の生活用水と愛知県の工業用水、発電等々の機能を持っています。ダム建設によって生まれた「奥木曾湖」は、ダム湖一〇〇選に選ばれ、遊歩道や展望台などがあり、春には新緑を、秋には紅葉と四季折々の風景を楽しむことができます。



味噌川ダム（春）

◆縁結神社

木祖村と松本市を結ぶ県道二十六号線沿いの別荘地内にあり、日本で唯一「縁結」の名を持つ神社です。出雲大社の分社で、お参りして願をかけると想う人と縁結びが叶うと言われています。恋愛だけでなく人と人の繋がりにご利益があるそうです。



縁結神社境内

◆アクセス

鳥居峠（歩行開始地点の藪原駅まで）は、中央道中津川ICから車で約九〇分、長野道塩尻ICから約四〇分、水木沢天然林は、中央道中津川ICから車で約一一〇分、長野道塩尻ICから約六〇分、味噌川ダムは、中央道中津川ICから車で約一一〇分、長野道塩尻ICから約五〇分、縁結神社は、中央道中津川ICから車で約一二〇分、長野道塩尻ICから約七〇分です。

木祖村には他にもたくさん見所がありますので、またの機会に紹介させていただきます。



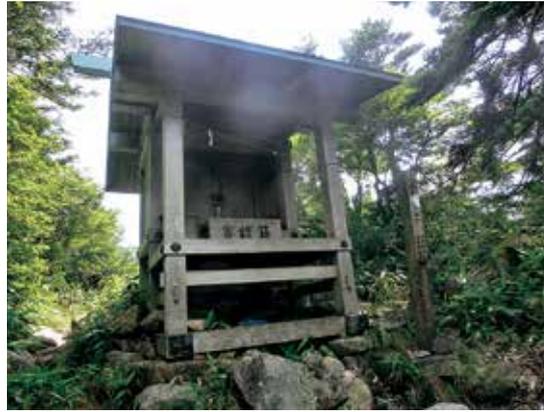
中央アルプスの最南端。岐阜県と長野県の県境に、岐阜県美濃地方の最高峰「恵那山（標高二、一九一メートル）」があります。



中津川市から見た恵那山（船伏山ともいわれる）

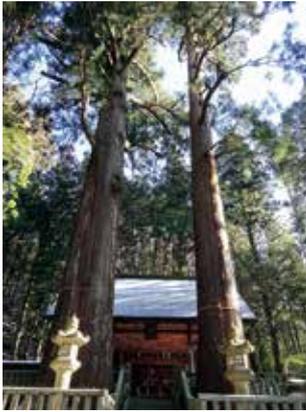
古くは胞衣山や胞山とも記載され、伊邪那伎、伊邪那美の夫婦神が、神坂峠を越え、美濃の地に入られ天照大神を産

んだ際、その胞衣（胎児を包んだ膜と胎盤）をこの山に納めたことからといわれています。よってこの地では、伊邪那伎大神、伊邪那美大神を主祭神として、山頂に奥宮本社を、麓には前宮本社を置き、恵那神社としてお祀りしています。



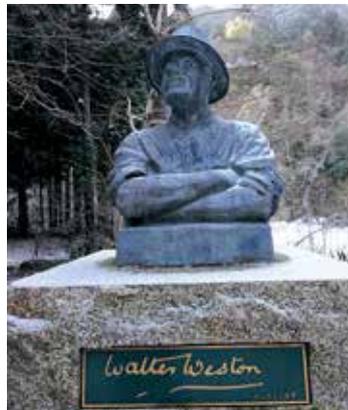
恵那神社（奥宮）

境内には樹齢一〇〇〇年とも言われる夫婦杉（県指定重要天然記念物・樹高約四十六メートル）が並び立ち神社の歴史を物語っています。



恵那神社（前宮本社）

恵那山神社の近くには「ウエストン公園」があります。明治二十六年に外国人で初めて恵那山に登頂したウォルター・ウエストンが世界に恵那山を紹介した功績を称えて銅像と公園が整備され、登頂した日である五月十一日には毎年ウエストン祭が開催されます。参加者はお祓いを受け、ウエストンが山頂で飲んだココアや五平餅が振る舞われたり、県重要無形民俗文化財の恵那文楽を鑑賞することができます。



ウエストンの胸像

また、恵那山は植物の宝庫とも言われています。垂直分布では低地丘陵帯、山地帯、亜高山帯が含まれ、苔



ココアカップ

から高木まで、多くの植物が育まれています。麓中津川市の市花サラサドウダン、ササユリ、イワウチワ、シヤクナゲなど見て楽しめるものも多く自生しています。

山頂はコメツガやトウヒなどの高木に覆われていますが、展望台や避難小屋裏



山頂の展望台

手の岩から僅かですが眺望を楽しむことができます。

近隣には妻籠・馬籠宿などの中仙道の宿場や、天照大神が産湯を浸かったといわれる湯舟沢の中津川温泉があります。麓の中津川市は和菓子「栗きんとん」の食べ比べなどもできるので、ぜひお立ち寄りください。

◆アクセス
〔公共交通機関〕

JR中央本線中津川駅下車、北恵那交通バス「恵那山ウエストン公園方面」二三分

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC⇨国道一九号線を北上、中村交差点で国道三六三号線へ右折



新城市は、愛知県東部に位置し、新城市、鳳来町、作手村の新設合併によって平成十七年十月に誕生しました。

同市の主な観光資源は、桜淵公園や霊鳥仏法僧（コノハズク）の棲む鳳来寺山などが名勝地とされています。

◆新東名

平成二十八年二月十三日、浜松いなさJCTから豊田東JCT迄が開通し、新城市では地域活性化に向けた新たな取り組みが始まりました。



◆長篠設楽原PA

長篠と言えば、天正三年（一五七五年）武田勝頼軍一万五千人と織田・徳川連合軍三万八千人の決戦場と知られ、武田軍が一万二千人、連合軍が五千人を失い、武田軍が撤退した歴史があり、これを活かしたPRが本格化しています。



長篠設楽原PAは、戦国時代に関連したグッズ類の展示販売がメインとなっています。その特徴は、合戦当時の歴史を知る模造品（火縄銃、刀類）の展示販売や馬防柵等の設置があり、売店では歩兵隊の衣装を着た店員がファーストフード類の販売も行っています。



馬防柵

新城市では、新東名の開通に伴うIC・PAの設置による一般観光客の集客とその経済効果を期待した事業が新たに加わり、戦国時代の造詣に関係なく、是非一度ご覧になることをお勧めいたします。

◆アクセス

【新東名】 新城ICから下り車線を走行し約一分。

【一般道】 新城市役所から市道を走行し約四キロメートルで外部専用駐車場に乗り入れ可能。

【鉄道】 JR新城駅からタクシーを利用し、約八分程で到着。



「野尻の宿の七曲り」

宿場町は外敵からの侵入を防ぐために、柵形といわれる鍵の手に道をつくっているところが多いのですが、野尻宿はカーブを曲がるとまたカーブの繰り返しという「七曲がり」と呼ばれています。

木曾路では奈良井について街並みの長い宿場であり、曲がった数を数えながら歩いてみてはいかがでしょう。

今の宿場の家並みは寛政三年（1791年）と文政七年（1824年）明治二十七年（1894年）に大火があり、比較的新しい家が並んでいます。高札場の跡には石垣が残っており、現在はその上には民家が建っています。石垣のそばには南無法蓮華経の碑があり、その台石はイボ石と呼ばれ、この石に触るとイボがとれると言われています。

「妙覚寺」

宿場の山側にある妙覚寺は、天台宗であったと言われていますが、現在は臨済宗妙心寺派で享保十一年（1727年）に建てられたものです。



高札場の跡

庭の小さな石室にある石仏は千手観音のようですが、左手に十字架のようなものを捧げているところから、マリア観音と呼ばれています。



マリア観音

「覚明様」

須佐男神社の参道脇に覚明堂は建てられています。覚明は、この地で修業をしました。ある日覚明が「御嶽山を開山することができれば、再び帰ってくることもないため、お礼の印としてこれを授けるから受取ってください」と言われて竹筒のお守りを渡し、「若しこのお守りを拝戴し無事出産が叶わなかったならば、このお守りを木曾川へ投棄してくれ」と言われたお守りを後にしたと伝えられたことから、「安産」の評判を伝え聞いて拝戴を行う者が多くなったと言われています。後に安産講という御嶽講が信徒たちによって組織されました。覚明堂の裏に



覚明堂

は、霊神碑が数多くみられ、パワースポットを感じさせる神秘的な場所です。また、須佐男神社の社叢は村指定の天然記念物であり、参道付近はモリアオガエルの生息地でもあります。産卵時期は大変貴重で、ソフトボールサイズの白い泡が木陰の中で見え隠れしています。

「阿寺の渓谷と森林」

阿寺の清流は、どんなに雨が降っても濁ることがないと言われています。エメラルドグリーンの清流の源は、顔を洗うだけで美肌になるといふ伝説の湧水もあり、「美顔水」と言われています。



モリアオガエルの卵

皇室の財産であった御料林時代の明治二十二年（1889年）に木曾支所阿寺伐木事業所を設け、最も早く大正十二年

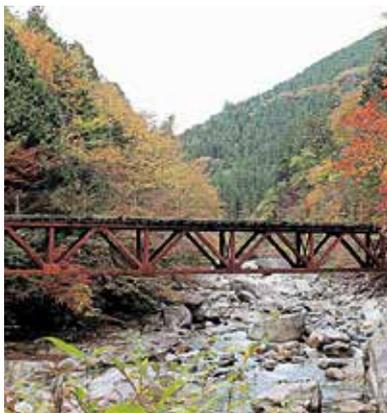


阿寺溪谷

（1923年）野尻森林鉄道が引かれましたが、森林鉄道は当時の面影を残し昭和四十一年（1966年）六十余年の歴史に幕を下ろしました。

渓谷内には広大な木曾ヒノキの原生林が残り隣接の赤沢国有林とならんで木曾谷中でも指折りの美林として凜とした姿を残しています。

秋の紅葉も美しく、特にベニマンサクの真紅の紅葉は素晴らしく、清流との景観は心を癒してくれます。まさに、「阿寺渓谷」は三大美「美林」「美顔水」「美心」と渓谷の美を満喫し、訪れた人を楽しませてくれます。



今も残る森林鉄道跡

◆アクセス

【自家用車】中央自動車道中津川IC（国道19号線経由で約1時間）

【公共交通機関】JR中央線野尻駅下車。

◆お問い合わせ

長野県木曾郡大桑村観光協会
TEL 0264-5514566



岐阜県関市は、平成十七年の合併で、長良川を挟んだ、東側から合流する津保川周辺と、西側から合流する板取川周辺を含む区域となっています。

ここでは、西側の板取川上流西北部、板取地区を紹介します。

◆川浦（かおれ）溪谷

清流板取川は魚釣りでも有名ですが、上流にある川浦（かおれ）溪谷は、高さ三十メートル、全体約七キロメートルに及ぶ溪谷で、断崖を望む壮大な景観は四季折々の彩りを見せてくれます。



近くにはキャンプ場もあり川遊びやキャンプを楽しんだり、板取川温泉では散策等で疲れた体を癒やすこともできます。

また、秋には「せきサイクル・ツーリング板取川」の開催が予定されており、多くのサイクリング愛好者が板取川沿いを自転車で駆け抜けます。

◆二十一世紀の森（株杉）

少し下流に下ると、四方を山に囲まれた自然あふれる公園「二十一世紀の森」の中に、「株杉の森」があります。



伐採が繰り返され、この状態になったもので、百株以上の株杉があり、そのうち株の直径が一メートル以上のものが三十株あります。樹齢は大きなもので四百年から五百年と推定されており、自然の神秘が感じられる森です。

また、この公園とその周辺には十万本のアジサイが植えられており、六月下旬から七月上旬に見頃を迎えます。この時期には「関市板取あじさい村」が開村、月末の土日は「あじさいフェスティバル」が開催され多くの観光客で賑わいます。

◆モネの池

もう少し下流には、最近テレビで紹介され一躍有名になった「モネの池」があります。

印象派を代表するフランスの画家「クロード・モネ」が描いた絵に似ていると評判になっています。週末にもなれば一千人もの来訪者があります。



◆治山工事
この地域の最上流部は、地形が急峻で、伊勢湾台風や平成十四年の台風による記録的な豪雨により、大規模な山崩壊が発生・拡大するとともに、土砂流出、濁水が発生し、下流に甚大な被害がありました。

平成十六年からは、県や地元からの要請を受けて、災害に強い森林の再生を目指して、山腹崩壊地の復旧や溪床の土砂を安定させるための民有林直轄治山事業を実施しています。



◆アクセス方法

東海環状道関広見ICから北へ、R418・R256を経て、関市板取事務所まで、34・3キロメートル約60分



白川郷

岐阜県最北端の険しい山間地に位置し、日本有数の豪雪地帯である白川郷は、茅葺の合掌造りの民家が点在する集

落として世界的な知名度があり、美しい日本の雰囲気醸し出しています。



合掌造

合掌造集落群には築三〇〇年以上の木造でありながら五階建ての民家等、特徴的な家々が立ち並び、重要文化財の指定を受けている建造物もあります。

また、日本三大秘境の一つとして知られ、一九七六年に重要伝統的建造物保存地域、一九九五年にユネスコの世界遺産に登録され、年間一七〇万人（外国人二六万人）の観光客が訪れ賑わいを見せています。

◆和田家

そのなかでも、和田家は白川郷では代表的な合掌造り住宅として主屋、土蔵等が一九九五年に国の重要文化財に指定さ

れています。

築三〇〇年を超え、現在保存されている合掌造りのなかでは最大規模の建築物で、庭や生け垣等周囲の環境の保存状態が良いことでも知られています。



和田家

◆どぶろく祭りの館

天下の奇祭と呼ばれる「どぶろく祭り」は、その名のとおり祭礼にこの年に仕込まれた「どぶろく」がお酒として奉納され、参拝者等訪れた人々にも振る舞われるのが特徴です。

毎年九月末から十月中旬に、五穀豊

穰・家内安全・里の平和を山の神に祈願し盛大に開催されます。

また、白川八幡神社境内にある「どぶろく祭りの館」では、毎年秋に行われる「どぶろく祭り」の概要や変遷等貴重な資料や遺物が展示されています。



どぶろく祭りの館

アクセス方法

高山市から東海北陸自動車道（高山IC）〜飛騨清見IC〜白川郷ICを降り）からR一五六を経て白川郷（村営せせらぎ公園駐車場）まで。

四五キロ、約四十分



富山県魚津市は、富山県東部の中心都市として賑わってきました。北西には富山湾が広がり「蜃気楼・埋没林・ほたるいか」が三大奇観として広く知られています。

また、来年には第六十八回全国植樹祭が開催されることとなっています。

◇蜃気楼
蜃気楼は大気中の温度差によって光が屈折を起し、遠方の風景などが伸びたり、反転した虚像が見られたりする現象で、当市からは富山湾に浮かぶ工場地帯の風景や反転した船舶などが見られます。



富山湾に浮かぶ蜃気楼

蜃気楼は、四月～五月の午前十一時～午後四時頃で気温十八度以上の時に、よく現われます。

見どころスポットの、魚津生地入善線の北鬼江交差点から、海の駅交差点の富山湾沿いの海岸道路は、「しんきろうロード」と呼ばれ多くの方が訪れます。

◇魚津埋没林博物館
しんきろうロードの魚津港の近くに博物館があります。

この博物館は富山湾の二つの不思議と言われる「埋没林」と「蜃気楼」に出会える場所として多くの方が訪れる場所です。

埋没林は、約二千年前に、片貝川の氾濫によって流れ出た土砂がスギの原生林を埋めつくし、その後海面が上昇し出



水中展示された埋没林の樹根



魚津埋没林博物館



魚津桃山運動公園

展示場では、埋没した樹齢約五百年のスギの根っこをその場で保存・展示しており、縄文時代の気象の変化を証明する貴重な資料として、国の天然記念物にも指定されています。

実際に見ると、その大きさに圧倒されます。

◇魚津桃山運動公園
博物館から、山に向かって約六キロメートル進んだところに運動公園があります。

この運動公園は魚津市の高台に位置し、僧ヶ岳や富山湾を望むことができる自然豊かな場所にあり、本格的な各種スポーツ施設から、ピクニックやアスレチックなど、親子で楽しめるコミュニティ

◇洞スギ
南又谷流域の標高五〇〇メートル～七〇〇メートル付近に生林している推定樹齢五百年生の天然スギで、幹に空洞があることから洞スギと呼ばれています。

特徴としては、人工林のスギのように地面から垂直に幹が伸びているのとは違い、多くは巨大な石の上に乗るような形で生育しており、その景観からして他では見られない独特の景観を呈しています。

◎アクセス
魚津埋没林博物館
○電車での場合
あいの風とやま鉄道魚津駅から徒歩二十分
○車での場合
北陸自動車道魚津ICから車で十分
(写真の一部は魚津埋没林博物館提供)



洞スギ



高杜山より北信五岳を望む



戸時代からザルなどの竹細工の材料として呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

○**黒姫山** 二、〇五三メートル

三山と呼ばれています。

山、焼山とともに土地の名を取って頸城

山と呼ばれています。

山、焼山とともに土地の名を取って頸城

山と呼ばれています。

○**妙高山** 二、四五四メートル

に見える山です。

化しますが、どの場所からも最も東北側

に見える山です。

化しますが、どの場所からも最も東北側

に見える山です。

に見える山です。

に見える山です。

に見える山です。

に見える山です。

○**斑尾山** 一、三八一メートル

呼ばれています。

戸時代からザルなどの竹細工の材料として呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

濃富士とも呼ばれています。

○**飯縄山** 一、九一七メートル

南山麓の飯綱高原は湿地や湖が多く、

植物や野鳥の宝庫となっています。手軽

に登れることから小学生の登山教室、親

子ハイキングとして人気があります。山

頂からの三六〇度パノラマの眺望では、

長野市方面や戸隠連峰、黒姫山など、他

の北信五岳が間近に迫り、遠くに北アル

プスを望むことができます。



蟻の塔渡り、剣の刃渡り

奥社からの登山道には、「蟻の塔渡り、

剣の刃渡り」と呼ばれるナイフリッジが

あります。

あります。

あります。

あります。

あります。

あります。

あります。

あります。



キバナアツモリソウ



オヤマリンドウ



戸隠山と鏡池

同じ年齢を問わず楽しめるエリアとなっています。皆さんも是非お越しになってはいかがでしょうか。



◆大町市

大町市は、長野県の北西部に位置し、市の北西部には北アルプスの雄大な山々がそびえ立っており、夏は登山、冬はスキーが楽しめる観光客や登山客で年間を通して賑わっています。

市の西側に観光スポットが多くあり、黒部ダムの入口である扇沢駅、天然記念物の湯俣墳湯丘、針ノ木大雪渓があります。

市の北側はスキーや釣りが楽しめる鹿島槍スキー場、ヤナバススキー場、青木湖、木崎湖があります。

【扇沢駅】

扇沢駅は、後立山連峰の大自然に囲まれた黒部ダムや、爺ヶ岳、針ノ木岳への出発点となっており、標高一、四三三メートルの高地に位置し、七〇〇台を超える自動車を収容できる駐車場を完備しています。

この駅はトロリーバスで黒部ダムへ通じており、長野県と富山県を結ぶ黒部立山アルペンルートの中継点として、年間

百万人の観光客が利用しております。

このトロリーバスは、どこにでもあるようなバスを使用していますが実は鉄道に区分される珍しい乗り物で、国内唯一であり、関電トンネルと立山トンネルで運行されています。

【針ノ木大雪渓】

日本三大雪渓の一つである針ノ木大雪渓は夏にはほとんど消えてしまいが、春は大雪渓を通りながら針ノ木岳へ約四時間の登山を楽しめます。



爺ヶ岳付近から望む針ノ木岳

【高瀬渓谷】

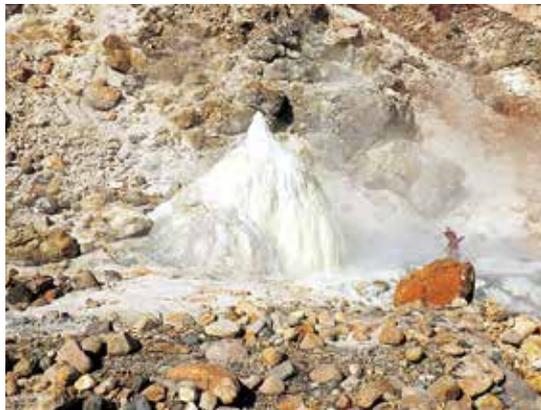
高瀬川には、東京電力の高瀬ダムがあり、その上流には墳湯丘（高瀬渓谷の墳湯丘と球状石灰石）があります。

高瀬ダムは黒部ダムに次ぎ日本第二位の一七六メートルの高さを誇る巨大なロック

フィルダムです。その上流に、大正十一年に国天然記念物に指定された墳湯丘が

あり、高瀬川と水俣川の合流点近くに位置し、高瀬ダムから徒歩約二時間程度で行くことができます。

この墳湯丘は常に温泉が中心部から噴出し、未だに成長しており墳湯丘の出来る様々なステージを観察することができます。



墳湯丘（球状石灰石）

【大町山岳博物館】

この博物館はメインテーマを「北アルプスの自然と人」とし、山岳文化と人のつながりを探求した国内有数の博物館となっています。

ここでは様々な動物を飼育しています。特に珍しいのはスバルバルライチョウとニホンライチョウの二種類を飼育しているところです。



ニホンライチョウ

スバルバルライチョウは、ニホンライチョウの保護増殖に寄与するための繁殖技術の確立を目的として飼育されており一般公開もされています。

ニホンライチョウは、環境省が「ライチョウの保護増殖事業」の一環として日本動物園水族館協会と連携してニホンライチョウ生息域外保全に取り組みしており、平成二十七年から個体数が比較的安全している乗鞍岳から卵を採取し、博物館の動物園で人工ふ化・飼育を開始しています。

アクセス方法

【交通機関】

扇沢駅…JR大糸線信濃大町駅下車（路線バスで四十分）

大町山岳博物館…JR大糸線信濃大町駅下車（徒歩二十五分）



「ふるさとの原風景」
 今回のご当地自慢は、日本のふるさと
 の原風景を感じることができ、北相木村
 をご紹介します。



相木川の流れ

北相木村は長野県の東、群馬県上野村
 との境に位置する人口八百人ほどの山村
 です。村の周囲は秩父山系や御座山に囲
 まれ、村の面積の約九割を山林が占め千
 曲川の支流である相木川が穏やかに流れ
 ています。

◆御座山おくらさん

御座山は北相木村と南相木村にまたが
 り、標高は二、一二〇メートルあり、日本二百
 名山となっています。御座山の名の由来



紅葉と薄化粧の御座山

は、神様がお
 いでになる山
 ということか
 ら、天皇がお
 座りになる
 高御座たかみくらの御座
 に由来すると
 言われています。

北相木村か
 ら山頂へ至る
 登山口は、白岩登山口と山口登山口の二
 箇所ありますが、白岩口からの登山ルー
 トの途中では、五月下旬から六月中旬頃
 シヤクナゲが見頃となり登山者を迎えて
 くれます。

◆三滝山・三滝

三滝山は村の北側に位置し、禅宗の
 「大禅僧都」により開山された信仰の山
 として広く知られています。その三滝山
 にある大禅の滝、小禅の滝、浅間の滝を



三滝（大禅の滝 氷柱）

総称して三滝と呼んでいます。三滝の
 内、大禅の滝の大氷柱は有名で毎年二月
 には三滝氷祭りが盛大に開催されていま
 す。

◆メグスリの木（下新井地区）

村の中心からぶどう峠方面へ進むと下
 新井地区となりますが、その入り口の神
 社の境内には、メグスリの木としては珍
 しい巨木があり、長野県の天然記念物に
 指定されていて地区の皆さんにより大事
 に守られています。



下新井地区の
 メグスリの木

◆栃原岩陰遺跡とちばらいわかげいせき

一九六五年に発見された縄文時代早期
 の遺跡で国の史跡となっています。岩陰



栃原岩陰遺跡

遺跡とは、張り出した岩盤を屋根代わり
 に利用したことを特徴とする先史人類の
 生活の痕跡ですが、この栃原遺跡からは
 十体以上の縄文時代早期の白骨が出土し
 たことで知られています。出土した人骨
 から復元された「相木人」の復元模型な
 どは北相木村考古博物館に展示されてい
 ます。

◆長者の森



長者の森ロッジ

長者の森は村
 の東側、相木側
 の上流に位置
 し、コテージ、
 ロッジをはじめ
 とするキャンプ
 施設やテニス
 コート、マレッ
 トゴルフ場など
 のスポーツ施設
 や野外ステージ
 等からなる野外

活動施設です。ロッジやコテージ等は地
 元のカラマツ材を使用していることか
 ら、木の温もりを感じることのできる木
 造施設となっています。

○北相木村へのアクセス

・電車

JR小海線小海駅からバスで約三十分

・自動車

上信越道佐久インターから国道一四一
 号で約一時間十分、中央自動車道須玉イ
 ンターから国道一四一号線で約一時間



昼神温泉郷 遠景

阿智村は、長野県の南西部に位置し、美人の湯と名高い「昼神温泉郷」を核に、環境省から認定された日本一美しい星空や、五千本の花桃、二百七十年続く伝統花火など豊富な地域資源に加え、東山道など万葉の歴史や満蒙開拓平和記念館がある奥深い地域でもあります。



また、昭和三十一年に会地、伍和、智里村が合併して、本年度六十年を迎えるとともに、浪合村と合併して十年、清内路村と合併して七年となります。

◆昼神温泉郷



昼神温泉の赤い橋

南信州最大の温泉郷でもある昼神温泉郷は、昭和四十八年に発見された新しい温泉郷で、泉質は、アルカリ性単純硫酸泉、水素イオン指数を示すPHは9.7。

これは、数ある温泉の中でも日本屈指の強アルカリ性であることを示しています。さらに、古い角質をとりすべすべの滑らかな肌にするアルカリ性泉質に加え、保温に欠かせないナトリウムイオンと塩素イオンも豊富に含まれています。

一度でも昼神のお湯につかったことのある人なら、このすべすべ感を体験されたことと思います。

◆日本一の星空

阿智村は、環境省が実施している全国星空継続観察で、平成十八年度「星が最も輝いて観える場所」の第一位に認定され、連日のようにメディアで紹介されました。

全長二、五〇〇メートル、高低差六〇〇メートルを



咲き誇る花桃

◆花桃の里とはなもも街道
四月中旬から五月中旬にかけて、阿智村一帯は紅白とピンクの花々で染まります。



阿智村 日本一の星空

ゴンドラで上がること約十五分。標高一、四〇〇メートルに位置する「天空の楽園へブンスそのはら」を会場に行われている「天空の楽園 日本一の星空ナイトツアー」は今年で五年目のシーズンを迎えています。絶景に会うために、多い日は一晩で三千人以上が参加するなど、全国からたくさんの方が訪れています。

◆東山道
東山道は大正元年（西暦七〇一年）に大和朝廷の命により、近江（滋賀）を起点に美濃（岐阜）信濃（長野）を経て、出羽（東北）へつながる一、〇〇〇キロメートルにおよぶ官道としてつくられました。



東山道 園原

なかでも、信濃国阿智駅（阿智村）と美濃国坂本駅（中津川市）を結ぶ行程は、山深い「神坂峠」を越える約四〇キロメートルの難所でありました。

はなもも街道や桃源郷と呼ばれる背景には、静かな山里を花でいっぱいにして、大正十一年から一本一本地道に植え続けた情熱のリリースがありました。

お問い合わせ
阿智村役場
TEL 0265-43-2220
<http://www.vill.aichinaganano.jp/>



御嶽の里三岳は、長野県西部の木曾町

にあり、平成十七年十一月に四町村が合併し木曾町となる以前は三岳村と呼ばれていました。三岳という名前の由来は、御嶽山・乗鞍岳・木曾駒ヶ岳の三つの名峰が見られることから名付けられたと言われています。今回のご当地自慢は、御嶽の麓に広がる美しき三岳の見所を紹介いたします。

◇油木美林（黒沢御岳国有林）

御嶽山の裾野に広がる油木美林は、かつて尾張藩の藩有林、そして御料林、国有林と変遷をたどってきました。樹齢



三百年を超える木曾ヒノキ、サワラなどの大木が生い茂る森には、遊歩道が整備されています。この遊歩道は、こもれびの滝、不易の滝や百間



滝などを眺めながら御嶽山の七合目まで続いています。（こもれびの滝から続く心臓破りの歩道にぜひ挑戦してみてください。）

御嶽山が育んだ水や緑に触れながら森林浴・バードウォッチングなどを満喫することができます。

◇御岳ロープウェイ

全長二、三三三メートル、三岳高原から七合目までを結ぶ六人乗りの「空の足」。標高二、一五〇メートルの山頂駅舎からは、木曾駒ヶ岳をはじめとする中央アルプスのほか、乗鞍岳、穂高岳、槍ヶ岳、八ヶ岳、浅間山などの大パノラマが楽しめます。また、春から秋へと移り変わる四季それぞれの美しい景観も魅力的で、山頂からは御嶽山や油木美林へのアクセスにも便利です。



◇百間滝

油木美林から少し上がったところにこの滝があります。周囲の樹木の高さから推測すると落差は五十メートル位ありそうです。御嶽山からの雪解け水が白い筋となり落ちる風景に心が洗われるようです。

◇不易の滝

名前の由来である不易とは、永遠にその姿を変えないという意味であり、太古の時代からその「容姿をかえぬ」と名付けられたのも納得です。不易の滝を眺めると、まさに太古の昔にタイムスリップした気分になり、自然の偉大さに感動させられます。また、この滝の近くにはこもれびの滝があり、違った魅力を持つ滝も見ることができます。



◇太陽の丘公園

太陽の丘公園は、太陽系から地球が生まれて生命誕生までの悠久の歴史をイメージして造られたテーマパークです。「原始の地球」「太陽の丘」「生き物の移り変わり」の三つのゾーンから形成されており、御嶽山産出の巨石などを用いて地球に生物が登場してから現在までの生物の進化を表現しています。



○木曾町三岳へのアクセス（御岳ロープウェイ）

・公共交通機関

JR中央線木曾福島駅からバスで六十分

・自動車

中央道中津川ICから車で百二十分、中央道伊那ICからで八十分



岩村城の石垣



東濃署管内の南東部に岩村城跡（恵那市岩村町）と小里城跡（瑞浪市）があります。二つの城跡は国有林内、または周囲を国有林に囲まれた場所であり、今回はその二つの城跡についてご紹介します。

岩村城跡は、恵那市岩村町市街地から見て南西にある「城山」に今も石垣が残っています。創築は一八五年と言われており、明治期の廃城までの約七百年間、城として使われてきました。

また、日本三天山城の一つに数えられ、標高七一七メートルに位置する城は江戸時代の日本で最も高いところにあることでも知られており、現在も石垣が残っています。本丸の「高石垣」や、雛壇状に六段も積み重なった「六段壁」などの石積みを見ることが出来ます。

今年の大河ドラマでもおんな城主が描かれているところですが、岩村城にも「おつや」という女城主が善政を敷き、領民を守ったと伝えられていることから「女城主の里」とも言われており、地元「清酒の銘柄にもなっています」。

城下町へ足を運ぶと、旧家が建ち並び風情ある町並みを見ることが出来ます。

小里城跡は、瑞浪市小里の小里国有林内、標高四〇〇メートルに今もお石積みが残っており、室町時代の創築と言われています。一六三三年の廃城までの約九十年間、小里氏の居城として使用されてきました。現在も山頂には「本丸曲輪」、山麓には「御殿場跡」などの石垣を見ることが出来ます。

本丸跡へのアクセスは県道から約五〇〇メートルの登り坂を約三十分の登山となります。また、近くに国有林ではありません。



小里城の天守台跡

が、中津川市苗木に国指定の史跡「苗木城跡」があります。

苗木城の特徴としては、木曾川から約一七〇メートルの岩山に天守が築かれており、石垣に自然の巨石がそのまま活用された珍しい城跡となっています。

城跡登り口には「苗木遠山史料館」がありここには、苗木城の城主「遠山氏」に関する史料や模型などが展示されています。

いずれの城跡も散策可能となっていますので、いにしへのロマンを求めて足を

運ばれてみてはいかがでしょうか。

【アクセス】

◎岩村城

車 中央自動車道「恵那IC」より約二十分

鉄道 明知鉄道岩村駅下車 徒歩約一時間

◎小里城（登り口まで）

車 中央自動車道「瑞浪IC」より約十五分

鉄道 JR瑞浪駅下車タクシー十分

◎苗木城（苗木遠山資料館まで）

車 中央自動車道「中津川IC」より約十分

鉄道 JR中津川駅下車タクシー十分



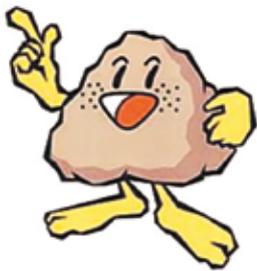
苗木城跡



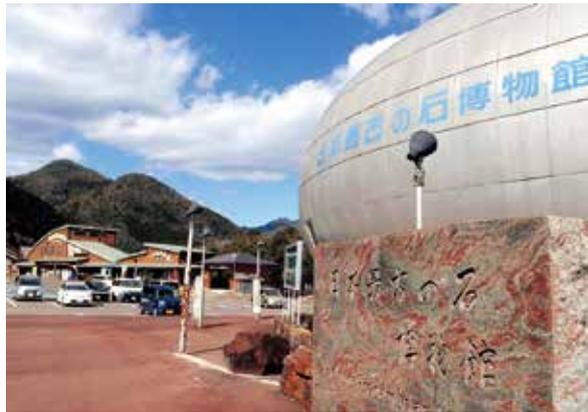
◆七宗町
七宗町は岐阜県の中南部に位置し、国道四十一号で愛知県尾張地方、名古屋市と結ばれ、休日にはドライブや登山客などが訪れる都市部に近い自然豊かな町です。

七宗町の人口は約四千人。面積は県庁所在地の岐阜市の約半分の九〇〇〇坪ですが、森林率は九一・五割と高く、あまり知られていませんが、岐阜県的美濃地方（飛騨地方を除く）の市町村で最も高い森林率を誇ります。

町の木はヒノキ。当署の七宗森林事務所があり、国有林の管理や民有林との連携を行っています。



礫岩から生まれた「レッキー君」
(七宗町のマスコットキャラクター)



日本最古の石博物館。左奥は道の駅

◆石のまち

七宗町には「日本最古の石博物館」があります。

日本最古の石とは、一九七〇年に飛騨川河床から発見された二十億年前の片麻岩で、この石は「上麻生礫岩」（かみあそうれきがん）と呼ばれ、今までに年代測定された石の中で、日本最古の石であることがわかっています。

日本最古の石博物館には二十億年前の石である上麻生礫岩をはじめ、地球の誕生から現在に至る四十六億年の歴史がわかる資料が展示されています。隣には「道の駅・ロックガーデンひちそう」と「物産館ロックタウンプラザ」があり、眼下には飛水峡の景観が広がります。さらに、飛騨川の激流が長い歳月をか

けて岩石を壺状に削り取った甌穴（おうけつ。ポットホール）は、飛騨川の峡谷である飛水峡一帯に点在し、大きなものは穴の直径が五メートル、甌穴の数は八八〇個あると言われ、他に類のない規模の甌穴群です。

石博物館は、国道四十一号線沿いにあり、北に走れば岐阜森林管理署のある下呂市、飛騨地方へ。南に走れば愛知県尾張地方、名古屋市へ抜けます。ドライブを兼ねて日本最古の石や甌穴群を見に来ませんか。



道の駅の眼下に広がる飛水峡

◆森林共同施業団地と

ケーススタディ地区

岐阜森林管理署では平成二十七年三月に、七宗町、岐阜県、森林組合などと森林整備推進協定を締結し、民有林と国有林が連携して木材生産を進めています。

また、平成二十八年度からはこの森林共同施業団地を林野庁のケーススタディ地区に設定し、各種事例研究を開始しました。例えばニホンジカ対策では、岐阜県初の職員捕獲の試行や、ニホンジカ食害防除対策検討会を開催しました。



ニホンジカ食害防除対策検討会

地区内の隣接にニジマス釣り池及び釣ったマスの料理や食事を楽しめる施設があり、当署も研修会の会場として利用しています。

これからも国有林が、地域振興の一助となるような取り組みを行い、七宗町の活性化につなげていければと思っています。

【アクセス】

東名高速道路小牧ICから国道四十一号を北上し、約一時間で「道の駅・ロックガーデンひちそう」へ。



田峯城は、愛知県北設楽郡設楽町の寒立丘陵にある山城です。本丸から見下ろした寒狭川の蛇行と城をいたたく山並みがまさに大蛇のようであることから、田峯城は別称「蛇頭城」「竜の城」とも呼ばれています。



独立丘陵に鎮座



菅沼一族の甲冑

◆歴史

足利幕府の権威が失墜し、実力だけがものをいう下克上時代に、奥三河では三氏族（菅沼氏、奥平氏、菅沼氏）が力を持っていました。

田峯城は、このうち田峯を治めていた菅沼定信によって一四七〇年に築かれました。その後、五代目城主菅沼定忠が武田軍に従って長篠合戦に出陣しましたが敗退、武田軍と共に逃れ、現在の飯田市において徳川軍に捕らえられ、田峯城は従兄弟菅沼定利が徳川軍の命により城主となりました。一五八三年、菅沼定利が飯田郡代となったのを機に田峯城は廃城となりました。

◆内乱

長篠合戦において武田軍が大敗した際、留守居の将、叔父の定直と家老今泉道善の謀反にあい、武田勝頼と共に引き上げてきた菅沼定忠は、田峯城に入城出来ず信州に敗走することを余儀なくされました。

復讐を誓った菅沼定忠は、一五七六年七月十四日、田峯城に夜襲をかけて謀反の一族老若男女九十六人を惨殺し、ついに主謀格の今泉道善を刑に処しました。

謀反を受けた菅沼定忠の怒りは絶大で、今泉道善は「生きながら」の鋸引きの刑という最期を奥三河の地で迎えることとなりました。



写真左は急峻な崖



田峯城本丸

◆現在の田峯城

田峯城は、新東名の新城ICが開設されたこともあり、年間二千四百名の方々が訪れる観光地となっています。

設楽町観光協会によると、入城者数は五月と七月がピークになります。

大河ドラマ等に紹介されていませんが、これを機に隠れた戦国時代の一幕をご覧いただくことをお勧めします。

【アクセス】

①公共交通機関 JR飯田線の本長篠駅から豊鉄バス田口行に乗り田峯下車、徒歩十五分

②自家用車 国道二五七号線を田峯で分岐し町道を約五分上がって到着



「南木曾支署」南木曾町は、長野県の南

西部・木曾谷の南端に位置します。面積の九割は森林で占められ、そのうち約七〇割は国有林です。町は古くから木材生産・加工業を基幹産業としてきました。近年は、国選定重要伝統的建造物群保存地区の妻籠宿や国の近代化遺産に指定された桃介橋をはじめとする恵まれた文化遺産と新たに開発された温泉の活用による観光産業が町の主要産業となっています。

今回は、南木曾町にある自慢の滝をご紹介します。

柿其溪谷

柿其溪谷は数ある木曾路の溪谷の中でも特に美しいと言われ、吊橋より上流八キロメートルにわたって深い谷を埋めた巨大な花崗岩が美しい滝や瀬や淵を織りなす景勝地です。春にはツツジ、シヤクナゲ、秋には紅葉が旅人の目を惹きまします。一般には十二兼駅から自然歩道を通って、牛ヶ滝まで四・五キロメートル、さらに奥へは林道を歩いて行きます。特に、恋路のつり

橋から牛ヶ滝までの三〇〇メートルの遊歩道がお勧めです。花崗岩をくりぬいて柿其川本流が落下する牛ヶ滝の眺めは壮観です。牛ヶ滝からさらに林道を徒歩四十分のところ、展望台からの眺めが爽快な霧ヶ滝があります。柿其溪谷に行く途中には、桃介橋・読書発電所とともに国の重要文化財に指定されている柿其水路橋があります。現存する戦前の水路橋の中では最大級です。

◆所在地

長野県木曾郡南木曾町読書本谷

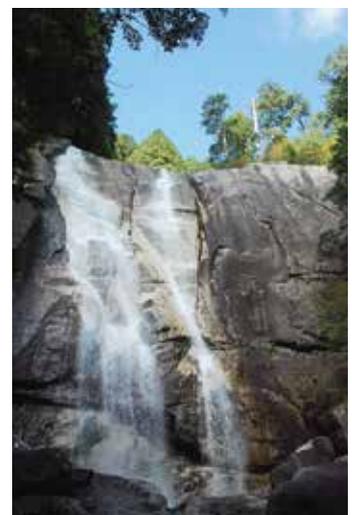
◆アクセス方法

公共交通機関

・JR中央本線十二兼駅下車
約徒歩一時間
自家用車
・中央自動車道中津川IC（
国道十九号約四十五分
お問い合わせ
南木曾町観光協会
TEL〇二六四―五七―二〇〇一

◆田立の滝

うるう滝、らせん滝、洗心滝、霧ヶ滝、天河滝、不動滝、そうめん滝等、大滝川の峡谷にかかる無数の瀑布を総称して「田立の滝」と呼んでいます。昭和四十九年に長野県の名勝に指定されてお



天河滝

り、また、日本の滝百選にも認定されています。壮大な滝の流れは周りの緑ともかね合い、神秘的で感動的です。特に主瀑である天河滝の高さ四〇メートルの花崗岩壁のてっぺんから大滝川本流が崩れるように落ちる様はまさに圧巻で、かつて里人たちがこの天河滝を神聖視し、雨乞い神事を奉るとき以外は登らなかつたというのにも頷けます。散策や森林浴を楽しめます。

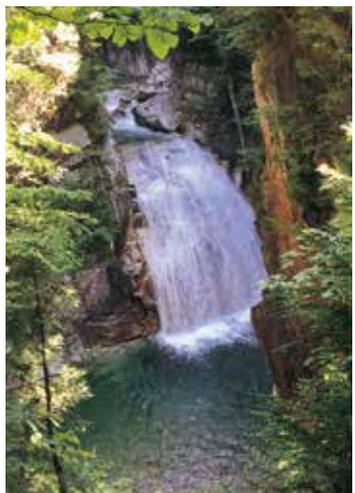
◆所在地

長野県木曾郡南木曾町田立

◆アクセス方法

公共交通機関

・JR中央本線田立駅下車
約徒歩一時間三十分
自家用車
・中央自動車道中津川IC（
国道十九号約四十分
お問い合わせ
南木曾町観光協会
TEL〇二六四―五七―二〇〇一



霧ヶ滝



牛ヶ滝



不動滝



名古屋市熱田区と言えば熱田神宮があまりにも有名ですが、今回は、熱田神宮周辺の史跡をご案内します。

■断夫山古墳

熱田神宮から見て北西の位置に「断夫山古墳」があります。



ミニチュア断夫山古墳

この古墳は、東海地方最大の前方後円墳で、全長一五一メートル、前方部の幅一六一メートル、後円部の直径八〇メートル、前方部の高さ二六・二メートル、後円部の高さ一三・三メートルの規模を誇ります。

この古墳は、六世紀初め、尾張南部に勢力をもった尾張氏の首長の墓と考えられています。

また、言い伝えによれば日本武尊に

思いをいだいて死んだ宮簀媛の墓とも言われ、夫を断つ山から断夫山古墳と名前が付いたとのこと

◆所在地

愛知県名古屋

名古屋熱田区旗屋一―一〇―四五



断夫山古墳の林相

◆アクセス方法

名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅より徒歩八分

■白鳥古墳（白鳥御陵）

「断夫山古墳」より、より熱田神宮に近い場所に「白鳥古墳（白鳥御陵）」があります。

この古墳も六世紀初めの築造の前方後円墳です。

全長は約七四メートルあり

ますが、前方部、後円部の東側が削り取られている



白鳥古墳（上 近景・下 遠景）

め原型が損なわれています。

古くから日本武尊の御陵との説があり、日本武尊が白鳥となつて熱田の宮に飛び来たり、降り立った地であることから、白鳥御陵と名付けられたと言われています。

◆所在地

愛知県名古屋熱田区白鳥一―一

◆アクセス方法

名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅より徒歩六分



赤丸が断夫山古墳、青丸が白鳥古墳、緑丸が熱田白鳥の歴史館

出典：国土地理院ウェブサイト

NHKの名古屋を歩く番組でも紹介された「熱田台地」は、名古屋の大部分が海であった頃より陸地部であり、古くからの史跡も残っています。

「熱田白鳥の歴史館」（名古屋事務所内）と併せ「ブラブラ」してみたいかがでしょうか。

■熱田白鳥の歴史館

◆所在地

愛知県名古屋熱田区熱田西町一―二〇

◆アクセス方法

名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅より徒歩十五分



奥飛騨の秘境・飛騨市河合町は、岐阜県北部に位置し、東は槍・穂高などの北アルプス、西は霊峰・白山を望む山々に囲まれた地で、日本海型の気候区に属し特に冬の降雪量が多く豪雪地帯に指定されています。白川村との境にある天生峠は一年の半分を雪に閉ざされています。



紅葉の天生高層湿原 (写真1)

天生原立自然公園(平成十年四月一日指定)の古川担当区部内は、天生国有林二五五杉、横谷国有林六一杉で天生峠以南の広大な面積のブナの原生林の他、高層湿原、カツラやサワグルミなどの大木で構成される溪畔林、更に標高が上がるにタケカンバやオオシラビソの亜高山帯の植生や風衝地など、変化に富んだ豊かな自然を見ることが出来ます。

雪解けの直後のミズバショウに始まり、ニリンソウ、サンカヨウ、ニッコウキスゲ、コバイケソウなど、花が絶えることがないのが天生の大きな魅力です。なかでも天生高層湿原や溪畔林では、春から初夏にかけて一面お花畑になります。山地帯(ブナ帯)から亜高山帯の植物や湿原の植物をはじめ様々な種類があり、四十数種の野鳥など多様な動物の生態系を観察することが出来る優れたフィールドです。

秋には、様々な種類や形、大きさの植物が立体的に混在していることから、赤・黄・レモンイエローなどの複雑多様な紅葉(写真1)を楽しむことができます。

天生峠(標高二一九〇メートル)を起点とする六・二キロメートルの遊歩道は、中部北陸自然歩道に指定され、健脚向きの登山コースとなっております。峠駐車場から約一・四キロメートル、森林浴を楽しみながら登ると植物群落保護林(天生高層湿原)。ここには匠屋敷があり古来の伝説を漂わせていま

す。ブナ等に囲まれた高層湿原(県の天然記念物に指定)で、春の雪解けの時期にはミズバショウやリュウキンカ(写真2)が咲き誇ります。湿原の内部には

イヌツゲ等の低木が侵入し始めており、湿原の陸化が進みつつあります。

高層湿原より一・九キロメートル地点には、なかなか尾根の頂上部付近に木平湿原(写真3)があります。湿原の中には小丘が点在し、小規模な美しい湿原景観を保っています。

高層湿原を眺めながら〇・五キロメートルでカラ谷分岐(標高二三六〇メートル)へ。ここから木平探勝路(木平湿原を過ぎるとタケカンバ、ブナの原生林)、カラ谷登山道(カツラの巨木群「カツラ門」(写真4)があり写真撮影の人気の場所)、ブナ探勝路(ブナの原生林は天生原立自然



ミズバショウとリュウキンカ (写真2)



新緑の木平湿原 (写真3)



カツラ門 (写真4)

公園を代表する植物景観に分かれ粉糠分岐(標高一六二〇メートル)で合流(亜高山帯の針葉樹林が多く見られるようになります)。

天生峠から約三時間で粉糠山(二七四四・三メートル)山頂へ。その名のとおり粉糠が積もったような特徴的な山頂部を持つ粉糠山からは三三六〇度のパノラマ。北アルプス等を眺望することができ、眼下には下小鳥ダムが多くの水を蓄えています。

原生林への入口、天生峠へ足を運んで、大自然を堪能してください。

◇アクセス

JR 飛騨古川より車で三一・五キロメートル(約五十分)

白川郷ICより車で二二・二キロメートル(約二十分)



平成二十七年に北陸新幹線が開通し、北陸地方が注目される中で、富山県でも立山黒部アルペンルートや黒部峡谷などの観光地が以前にも増して賑わいをみせています。

そのような中で今回は、富山県の南西部に位置する南砺市と東部の上市町から歴史を感じることができるといえる名所をご紹介します。

■名刺 **瑞泉寺**

彫刻の町、南砺市井波にある井波別院瑞泉寺は、今から約六百年前の一三九〇



瑞泉寺山門

年に本願寺五代門主紳如上人が建立したと伝えられています。これまでに三度火災により焼失しましたが、信仰心の厚い門徒により再建され今日に至ります。再建の際には、ケヤキの巨木が使われるなど、本堂脇の廊下にはその名残を見ることが出来ます。



井波彫刻

また、瑞泉寺再建により発展した「井波彫刻」は、欄間・獅子頭・天神様などの伝統工芸品を生み出し、彫刻産業全国最大規模となりました。

◎アクセス
 〇J R 西日本城端線福光駅から車で十五分
 〇北陸自動車道砺波ICから車で十五分

■本物の和紙 **悠久紙**

秘境の奥山南砺市の「五箇山」では、古くから手漉きによる和紙づくりが盛んに行われ、今日まで伝統が受け継がれてきています。

富山県内では、朝日町、富山市八尾町などでも和紙づくりが行われていますが、ここ五箇山では、楮一〇〇割で漉いた紙は千年の耐久性があると言われ、全国和紙の中でも最も優れた紙として、京都・桂離宮の大修理にも用いられてい



雪さらしの様子

ます。

昔と同じ技法で漉かれた和紙だけが文画財を保存する紙として認められ、特徴的なのは、冬の楮の「雪さらし」、楮の葉緑素を自然の力で漂白する作業が行われているところです。

昔ながらの作り方で漉いた本物の紙には、時代を越えても変わらない、美しさと力強さがあります。

◎アクセス
 〇東海北陸自動車道五箇山ICから車で二十五分

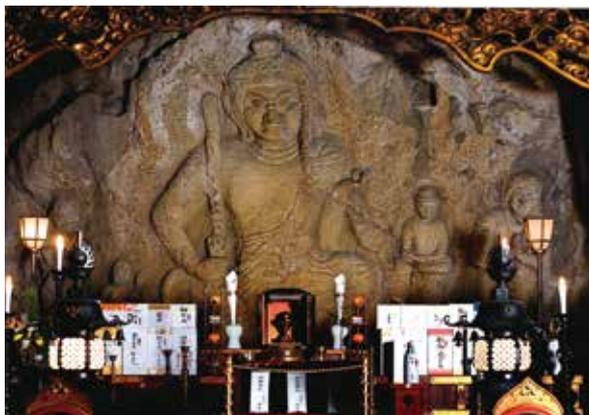
■大岩不動尊 **磨崖仏**

上市町には、千三百年の歴史を有する大岩山日石寺があり、寺の境内には七二五年に行基が彫ったと伝わる国の重要文化財の「大岩山日石寺磨崖仏」があります。

高さは三メートルを超え、顔は両目を見開き、右手に知恵を表す剣、左手に慈悲を表す絹索と摩尼宝珠を持っており、実際にこの石像を目にすると、その迫力に圧倒されてしまいます。

この他にも六本滝があり、煩惱を払うための滝行が行われており、ここを訪れる老若男女は後を絶たず、心身の鍛練が行われています。

寺の門前では、名物の山菜料理や素麺を出す店が軒を連ねており、お参りで見えた人々の憩いの場となっています。



大岩山日石寺磨崖仏

◎アクセス

〇富山地方鉄道上市駅からバスで二十五分

〇北陸自動車道立山ICから車で十五分



飯山市の西北部、長野・新潟両県に跨る「関田山脈」は、斑尾山から天山水までの標高千メートル前後の山並みだが、約八十キロに亘って連なる稜線で、沿線には、斑尾・なべくら・光ヶ原高原や、茶屋池、野々海池等の湖沼を擁し、稜線からの眺望もよく、ブナ林を主体とした風光明媚な森林地帯となっています。



自生するナベクラザゼンソウ



関田山脈遠望（水尾山から）



ブナ林に覆われる稜線

当地域は全国でも有数な豪雪地で、例年、積雪が五月にも及び、六月の雪解けとともに、カタクリ、オオ



樹齢300年以上の「森太郎」

◆森太郎

今回は、信越トレイル沿いの見所などをいくつか紹介します。

この関田山脈の稜線は、長野県側は北信森林管理署が、新潟県側は上越森林管理署が管理しており、日本で初の管理されたトレッキングコース「信越トレイル」が設定されています。信越トレイルは、一般の方々に関田山脈の自然や地域の文化・歴史に触れてもらうことを目的に、平成十六年からNPO法人「信越トレイルクラブ」を中心としたルート整備が始まり、構想から八年目の平成二十年九月に全線が開通し、現在では、年間約四万人のトレイル愛好家等に利用されています。



信越トレイルの利用者

◆富倉峠 関田峠 牧峠 野々海峠
深坂峠など 十六の峠
関田山脈には、集落毎に十六もの峠があり、県境を越えて、人や生活・文化の交流が盛んに行われ、越後から塩、魚などの海産物を受入れる一方、信濃からは

◆茶屋池、野々海池
信越トレイル周辺には、古くから多くの溜池があり、なかでも有名なのが、茶屋池、野々海池です。
新緑の芽吹きや紅葉の頃の湖面に映えるブナ林はひととき美しく、訪れる人を感動させます。

◆森太郎
「森太郎」は、森の巨人たち一〇〇選に選ばれており、その威厳ある風貌が訪れる者を魅了します。

◆茶屋池、野々海池
長野県側の鍋倉山麓には、樹齢三百年以上のブナの木があり、その中に「森太郎」が佇んでいます。



ブナ林と澄んだ水面が美しい茶屋池

◆JR及び公共交通機関
JR飯山駅からタクシーで約三十分、九十分（国道一一七号線経由各峠まで）

◆アクセス方法
マイカー 上信越自動車道 豊田飯山インターから約四十分、九十分（国道一一七号線経由各峠まで）

◆森の家、山の家
今年「信州ディスプレイネーションキャンペーン」のポスターには、「森の家」近くのブナ林が掲載されました。みなさま、ブナ林に覆われた神秘的な稜線を、自然とふれあいながら歩く「信越トレイル」を是非一度、ご堪能ください。

◆森の家、山の家
信越トレイルには、「森の家」や「山の家」等の拠点施設があり、宿泊や休憩、インストラクターによるガイド等も利用でき、より快適なトレイルを応援しています。



拠点的利用が多い「森の家」



深坂峠から上越市を望む

和紙や菜種油などが送られました。古くは親鸞聖人の布教の道、上杉謙信の信濃攻めの道として伝えられている峠もあります。

ご当地自慢第 54 号について

平成 29 年 10 月号は、ご当地自慢「第 54 号」となる予定でしたが、第 54 号を飛ばして、第 55 号の番号を付してしまいました。

したがって、第 54 号は存在しません。

番号間違いにつきまして、お詫び申し上げます。

国民の森林・国有林

幻の第 54 号！





松本市にある松本森林事務所管内の、松本城と美ヶ原高原を紹介します。

◆松本城

文禄（一五九三〜四年）時代に建てられた五重六階の天守を中心に、四百年の風雪に耐え、戦国時代の優れた築城技術



を今に伝えていきます。建造された天守は国宝に指定され、城跡は国の史跡に指定されています。

松本城と呼ばれる前は深志城かかしじょうと言っていたが、市民から別名烏城からすじょうとも呼ばれています。

天守閣では、戦国時代の主力武器であった鉄砲戦への様々な備えを見ることが出来ます。厚い壁には矢狭間・鉄砲狭間があわせて二十五カ所あり、天守閣などの一階には石落としが設けられています。石落としては石垣を登ってくる敵を防ぐ工夫で、狭間と同じように鉄砲を使っ

ての攻撃も可能な武備でした。

天守一階ではたくさんさんの柱があり、建材はツガ、檜、松などが使われています。

松本城からは日本アルプスが眺められ、絶妙な調和を生み出しています。

また、四季を通じて各種イベントが開催されています。

◎アクセス

○長野自動車道 松本ICから車で約十五分

○JR篠ノ井線「松本駅」下車徒歩約十五分



◆美ヶ原高原

本州のほぼ中央に位置し、松本市の東に広がる標高二、〇〇〇以上の雄大な高原です。北・南・中央アルプス、八ヶ岳、浅間山、富士山までもが見渡せる三六〇度の大パノラマは多くの人を魅了しています。四季折々の表情を見せ、レンゲツツジやヤナギランなど美しい花も見られます。

昨年から、美ヶ原高原直行バスが「松本駅アルプス口」から「美ヶ原自然保護センター」まで一日二往復運行を始めた。





青木三山の一つ「子檀嶺岳」

青木村は長野県の東部、上田市の西に位置し美しい山々に囲まれた農山村です。南に夫神岳（標高一、二五〇メートル）、北に子檀嶺岳（標高一、二二三メートル）、西には十観山（標高一、二八四メートル）がそびえ、これらは昔から「青木三山」と呼ばれ村のシンボルとして村民から愛されており、里山トレッキングには最適です。標高は役場の位置で五五五メートルあり、村のほぼ中央を浦野川が東に向かって流



れ、清らかな潤いをもたらしています。そしてこの川に、三方の山に源を発する田沢川、湯川、沓掛川、阿鳥川が合流し、千曲川に注いでいます。村の面積は約五、七〇〇畝で、うち山林が約八割を占めています。

◆タチアカネ（青木村特産そば）

タチアカネは、長野県野菜花き試験場で開発された後、平成二十一年度に農林水産省の認定品種に指定され、本格的な栽培が始まったばかりのそばの品種です。名前の由来は茎が丈夫で倒れにくい特徴から「タチ」と、そばの白い花が実になると茜色になる「アカネ」からきています。独特の風味と甘みが特徴で、十割そばでもつるつる



割そばでもつるつるして子供にも人気です。村内にはタチアカネを食べることのできるお店が五軒ほどあります。



青木村特産そば「タチアカネ」

◆国宝 大法寺三重塔

「見返りの塔」と名付けられたこの塔は、その美しさから思わず振り返るといふ意味からつけられたといわれています。美しさの由来は、初重が特に大きく安定感のある工法で、他には、奈良の興福寺の三重塔だけと極めて珍しい工法です。正慶二年（一、三三三年）、鎌倉から南北朝時代へと移る時期に建設され、以来六世紀の年月を経て今も見人の目を引きつけています。塔の高さは礎石上端から宝珠上端まで一八、五六メートル。高台にあり周囲の緑と調和して、素朴でありながら美しさを際立たせています。昭和二十八年国宝に指定されました。



国宝 大法寺三重塔



◆田沢温泉、沓掛温泉

十観山の山間にある飛鳥時代後半の開

湯といわれる

田沢温泉は、昔から子宝の湯として、また乳の出が良くなる温泉としても知られています。近くには子安地藏尊を安置した薬師堂があり、四季を通じて参拝客もあり、旅館三軒のほかに、日帰り温泉施設として「有乳湯」があります。



田沢温泉

沓掛温泉の開湯は平安時代で、地名の旧称から「浦野の湯」と呼ばれた時代もあり、文化七年（一、八一〇年）「旅行用心集諸国温泉二九二ヶ所」にも記載されるほど昔は湯治客で大変賑わい、近隣の温泉地をはるかにしのいだと伝えられています。二軒の旅館のほかに、日帰り温泉施設「小倉乃湯」があります。

○青木村へのアクセス

・車

上信越自動車道・上田菅平インターから国道一四三号で約三〇分。中央自動車道・長野自動車道・麻績インターから県道一二号で約三〇分

・電車

北陸新幹線・しなの鉄道 上田駅から青木行きバスで約三〇分



国指定遺跡 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡（以下星ヶ塔遺跡）は、南信森林管理署管内の東侯国有林内に位置しています。



星ヶ塔遺跡の黒曜石発掘抗

付近は本州のほぼ中央にあり、ガラス質火山岩「黒曜石」の原産地が数多く存在する地域として知られ、本州最大の黒曜石原産地と呼ばれています。

黒曜石は、打ち割ることによって容易に鋭い刃を持つ欠片を手に入れることができ、細かな打ち割りによる加工を加えることで様々な形に変形することが可能なことから石器時代の石器の原料として広く用いられました。

黒曜石は、遠隔地まで流通されたことが知られており、黒曜石を持ち運んだ当

時の人々の動態や交流、徒歩に頼った時代の遠方との結びつきなど黒曜石が流通していた頃の社会のあり方を解明する試みが行われています。

星ヶ塔遺跡は、霧ヶ峰山塊の北西部にある星ヶ塔山の東斜面の標高一、五〇〇の林内に広がる縄文時代の黒曜石採掘遺跡です。現在までの調査では、約三五、〇〇〇平方メートルの範囲に縄文時代の黒曜石採掘跡が一九三か所分布していることが明らかになっています。発掘調査により縄文時代前期（約五七〇〇年前）と晩期（約三〇〇〇年前）の黒曜石採掘抗が発見され、長期間にわたる黒曜石採掘遺跡であることがわかっています。

星ヶ塔遺跡の黒曜石は、理化学的産地分析により東北から東海地方までの極めて広い範囲に供給されていることが明らかにされています。

このように星ヶ塔遺跡は、縄文時代の資源開発と流通を考えるうえで極めて重要な遺跡として、平成二十七年三月に国史跡に指定されました。

星ヶ塔遺跡について、史跡を管理する地



縄文人が掘り出した黒曜石



下諏訪町埋蔵文化財センターのジオラマ

方公共団体として下諏訪町が指定され、管理、運営及び活用等を図るため、遺跡を中心に周辺約三分の国有林を下諏訪町からの申請を受けて貸付けしています。

自家用車等での入山ができないことから、希望者向けに下諏訪町教育委員会が開催する見学会等が行われています。

また、平成二十九年四月二十九日に開館した下諏訪町埋蔵文化財センターでは、諏訪地方で発掘された黒曜石や土器の展示のほか、星ヶ塔遺跡で発見された黒曜石発掘抗を忠実に再現したジオラマがあり、訪れる人々の目を引いています。

◆星ヶ塔の由来

星ヶ塔遺跡を訪れるとカラマツ三十九年生の林内に点在する黒曜石採掘跡地から古代の人々が打ち割ったと思われる黒曜石の細かな欠片が無数に確認できます。晴れの日は、日の光を反射し、雨の日は黒光りが増し、夜は月光りや懐中電灯の光を

受けて幻想的な輝きを放ちます。

星ヶ塔遺跡を発見した鳥居龍蔵によれば、星ヶ塔はもともと「ホシノトウゲ」と呼ばれていたようです。星ヶ塔遺跡の東側は、鷲ヶ峰の山裾と星ヶ塔山の間のへこんだ部分であり、山道の峠になっています。この峠に「ホシ」があることからホシノトウゲと呼ばれていたのですが、昔の人々は黒曜石のことを夜空に輝く星のかげらと考え「ホシクソ」と呼んでおり、そのホシクソが峠道にたくさんあることから「ホシノトウゲ」という地名がつけられました。のちにそれがホシノトウ、そして「ホシガトウ」と呼ばれるようになり、その後漢字が当てられ、現在の「星ヶ塔」となったとのことです。



星ヶ塔周辺の遠望

問合せ先 下諏訪町埋蔵文化財センター
電話【0266(27)1800】



「ひのきの里」上松町は、長野県南西部に位置し、町の東部には木曽山脈の木曾駒ヶ岳、木曾川を挟んで西部には阿寺山地が広がります。良質な木材として知られる木曾ヒノキは古くから神社仏閣建築に重用され、木曾ヒノキなどの木材を扱う商人達の町として栄えてきました。今回のご当地自慢は大相撲で活躍中の御嶽海関の出身地でもある「ひのきの里上松町」の見所を紹介します。



赤沢自然休養林を走る森林鉄道

◆**姫淵**
平安時代、平氏打倒を決意した以仁王（後白河天皇の第三皇子）は、京都での戦いに敗れ東国の山奥へ逃れた。それを聞いた娘の姫宮は父（似仁王）の後を追った。道中の上松で平氏に落人と見破られ、襲撃を逃れた姫宮は麻畑に身を隠

したが、土地の民は姫宮をかくまったことによつて自分たちにも被害が及ぶことを恐れ、やむなく姫宮を追い返してしまつた。姫宮は平氏から逃れるため山奥まで逃れてくると、水量が多くとても渡れそうにない川にたどり着いたが、持っていた麝香袋の匂いで追つ手に見つかつてしまう。もう逃げ切れないと悟つた姫宮は、逃げてくる途中で見た田園風景を思い出しつつ、里の娘達が唄っていた田植え歌を見よう見まねで唄い、その美しい声のこだまが消えないうちに、自ら深い淵に身を投げた。以来、その淵は姫淵と呼ばれるようになった」との悲しい伝説が残っています。

◆**寝覚の床**
木曾川の流れが花崗岩を削つてできた自然地形で、巨大な白い岩肌とエメラルドグリーン川のコントラストが見事です。また、浦島太郎がこの場所を気に入って住み着いたとの伝説も残っています。絶好の写真スポットですので、



寝覚の床（晩秋）



姫淵（上松町官観光協会提供）

ぜひ足を運んでみてください。

◆**木曽路美術館**

木曾唯一の美術館で、歌川広重と溪斎英泉の合作による「木曾街道六拾九次」等、木曾に関係する浮世絵、地元の作家の彫刻や絵画や陶磁器など、日本的な作品を展示しています。美術館入り口の右側には、二〇一六年九月に観光拠点「ねざめ亭」が開設されました。レストランや寝覚の床を一望できるベランダ、木曾の特産品販売コーナー（木曾ヒノキの風呂桶も）がありますので、ぜひお立ち寄りください。



木曽路美術館入り口



「寝覚の床」撮影スポット（ねざめ亭）



木曾ヒノキの風呂桶

◆**木曾の棧**

中山道一の難所といわれた場所、木曾川の絶壁に差し込んだ丸太の上に板を組み、藤づる等で結わえた棧道であつたそうです。木でできていたため、一六四七年、通行人の松明で燃え落ちてしまったことから、尾張藩が石垣と三つの木橋を完成させ、その後、江戸時代中期（二七四一年）と明治十三年（一八八〇年）の改修で木橋下の空間はすべて石垣となりました。一九一一年に旧国鉄中央線工事のため木橋も取り除かれ石垣のみとなり、一九六六年の国道改修工事に伴い、県の史跡として石垣の一部が保存されました。現在も旧国道十九号線の下に昔の姿を残しています。



現存する旧国道下に残る石垣（木曾の棧）

○**寝覚の床へのアクセス**

- ・公共交通機関
- ・JR中央線上松駅からバスで五分（下車徒歩十分程度）
- ・自動車
- ・中央道中津川ICから車で六十分、中央道塩尻ICからで七十分



岐阜県恵那市上矢作町には、恵那山に位置するアライダシ自然観察教育林（上村恵那国国有林一〇八六林班）があります。

ここは、東濃森林管理署上矢作森林事務所管内で、かつての恵那山周辺は、ブ



共生木（サクラとミズナラ）

ナ、モミ、ヒノキなどの原生林に覆われていたものですが、戦後の復旧用資材として伐採されたことにより林相は変化し、次第に消えゆく恐れがありました。温暖化や自然環境問題が問われる中で、希少で貴重な原生林のもつ今日的な価値に目を向け、平成六年、町の関係者と東濃森林管理署（旧中津川管林署）が次代に残すべく、共通の認識と協力により約一〇畝の区域を自然観察教育林として残すこととなりました。以降、地元有志で作る国有林「アライダシ自然観察教育林」を守る会のメンバーが林内の歩道の整備・修繕など基盤整備を進めており、親子行事、教員の研修、団体の視察など

の見学場所として活用されているので紹介します。自然観察教育林は、恵那山地の北東端、恵那山の南に続く山頂緩斜面付近、約一、一〇〇畝の山地に位置しています。地質は伊奈川花崗岩という風化したマサ土に覆われ酸性の土壌形成の基となっています。年間降水量は二、〇〇〇ミリを超え、ここから流れ出す水は上矢作町を経て愛知県に入り三河湾まで流れ込んでいます。この森でひとときわ目立つのは端正な形をしたモミです。季節風や降雪の影響から先端が曲がったものが見られ、サワラ、ヒノキ、コメツガと共に点在しています。広葉樹では、山地帯の代表的なブナが北側にまとまって生育しており、ミズナラ、ミズメ、ミズキ、イヌシデ、ダケカンバなどの落葉広葉樹が広く見られます。林内の見どころとして、異なる樹木が根元などで一体になった共生木や、倒木の幹やその株の上の実生しそのまま根を張り成長した木などが見られ、隣接した池には、モリアオガエルなどが生息しています。五感を生かし目で見ると、触れてみる、においを嗅ぐ、音を聞くなど、落ち葉を踏みしめながらゆっくり観察すると今ま



林内の歩道を散策する方々

で見えなかった何かが発見できるでしょう。この自然観察教育林が生きた自然科の学習の場として、また、より多くの人が森林や自然環境などについて考える場として、更に、訪れた人たちの活力や健康増進に繋がる場となっていますので、足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

【アクセス】

車 中央自動車道「恵那IC」より約

四〇分

鉄道 明知鉄道岩村駅下車 車で約二〇

分



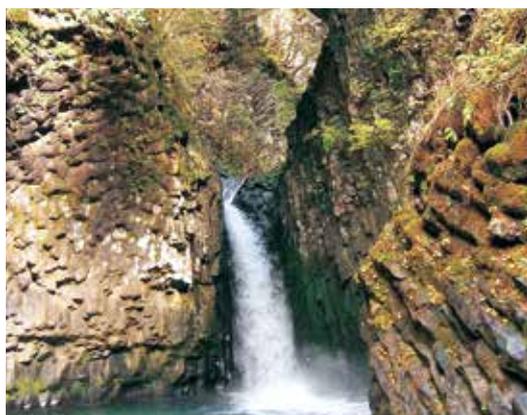
滝巡りの拠点「巖立」高さ72m

飛驒の滝といえば乗鞍岳から落下する「平湯大滝」が有名ですが、日本三霊山のひとつ御嶽山の麓に位置する下呂市小坂町は、その豊かな水と急峻な地形により日本一滝の多い町として知られています。その数は落差50m以上のものだけでも

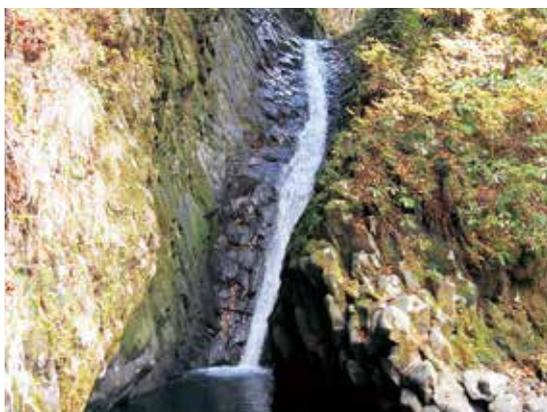


◆**巖立峡**
溶岩で形成された、日本一の溶岩流の断面です。同じような岸壁が上流一七〇mに渡って続いています。荒々しい肌を見せる断崖は御嶽山の火山活動新期の噴出である「摩利支天溶岩」が兵衛谷に沿って流下し固まったもので、溶岩の弱い部分が浸食によって数万年かかって流出し、溶岩流の断面が露出したものです。岩質は、両輝石安山岩で溶岩が冷えて固まるときに柱状の節理となります。岩壁の高さは約七二m、幅

二二六箇所、これらの滝は、御嶽山の過去二度の噴火による溶岩流によって作られ、今もなお、川の浸食などにより常に姿を変えています。滝の多くは、当署管内の落合国有林内に所在し、これらの滝の様子を肌で感じられる滝巡りのコースがいくつか設定されており、詳しい専門のガイド付きで巡ることもできます。



轟音が響き渡る「唐谷滝」落差15m



雨桶のような「あかがねとよ」落差14m

約一二〇mもあり壮観ものです。噴火の年は、小坂川水力発電所の導水路掘削中に溶岩中から発見された「木片」を、平成四年に名古屋大学でカーボン測定し、約五万四千年前という年代が判明しました。岸壁の対岸には「がんだて公園」があります。ここは滝巡りの拠点、常駐するガイド（NPO法人飛驒小坂二〇〇滝）が訪れた人々に滝巡りを説明してくれるほか、それぞれのコースガイドも行ってくれます。滝巡りのコースは、がんだて公園から歩いて十五分程で味わうことができる散



「根尾の滝」落差63m

策コースから、獣道を下ったり、狭い深い谷の秘境で川を横断する冒険コースまで、お年寄りから子供まで幅広いレベルに応じた滝巡りのコースが設定されています。

この「小坂の滝」は、地域の活性化と豊かな自然を活かした取り組みとして高く評価され、平成二十年八月に開催された「飛驒・美濃じまんミーティング」岐阜の宝もの認定式において「岐阜の宝もの」第一号に認定されました。

◆**アクセス**

車 東海環状自動車道

「富加関IC」より約九〇分
中央自動車道

「中津川IC」より約九〇分
鉄道 JR高山本線飛驒小坂駅下車

車で約二〇分

◆**問い合わせ**

NPO法人 飛驒小坂二〇〇滝

<http://www.osaka-taki.com/>

下呂市小坂町小坂七六九

TEL〇五七(六二)二二一五



新城市は、愛知県東部に位置し、豊かな自然に恵まれ、戦国時代の面影を残す史跡等ロマンあふれる魅力的なエリアです。また、ラリーやトレイルラン、自転車レースも開催されるなど多彩な魅力を放っており、新東名新城ICの開通により、ますます注目を集めています。

◆もっくる新城

平成二十七年三月二十一日には、新城ICと新城バイパスの結節点に「奥三河観光ハブステーション」として、地域の魅力を発信するとともに人の集う施設を目指し、道の駅「もっくる新城」がオープンしました。

◆名称の由来

「もっくる」とは、木材・来るの意味で、温もりを感じる木材を



木製受水槽

ふんだんに使い、地元住民が集い交流する活気あふれる地域の拠点を目指しています。

◆見所（グルメ・足湯など）

「もっくる新城」のグルメとしては、標高一〇〇〇以上の高原野菜など旬の野菜を活用したバイキングメニューや、愛知県民のソウルフード五平餅、地域の獣害対策に一役買ったジビエを活用したラーメンやフランクフルト等が楽しめます。

なお、敷地内では開湯一三〇〇年の歴史を持つ湯谷温泉のお湯を使用した足湯も楽しめ、ゆっくりと寛げます。また、館内中央には薪ストーブが備えられ、冬でも暖かく快適に過ごせます。

◆新城ICから一時退出で立寄り可能

「もっくる新城」では、平成



足湯を楽しむ利用者



店内の様子

二十九年六月二十四日から、高速道路ネットワークを賢く使う取組の一環として、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の試行を行っています。

この取組は、ETC2.0搭載車を対象に、道の駅「もっくる新城」に立ち寄り、新城ICから退出一時間以内に、新城ICから再合流すれば、高速道路を降りずに

利用した場合と同じ料金に調整される実驗で、広域的な利用者増加が期待されています。
このように、道の駅「もっくる新城」は、地域の情報や魅力を発信し、さまざまな催しも開催されていますので、是非一度お立ち寄りになることをお勧めいたします。



道の駅「もっくる新城」



新東名高速道路 新城ICからすぐ



◆のぞきど（除キ戸）森林公園 キャンプ場

のぞきど森林公園は、もともと牧草地として活用されてきましたが、昭和四十年代以降、農業の機械化や馬から牛へ変わる中、農業から林業の場へと移っていきま

した。このような中、「のぞきど」の自然条件の良さなどから第三次産業への活用が検討され、大桑村の第二次林業構造改善事業の森林総合利用事業により昭和五十年から「のぞきど」の整備に着手し、昭和五十四年に、保健休養の



のぞきど森林公園遠景

場として「のぞきど森林公園 キャンプ場」がオープンしました。

のぞきど森林公園 キャン



つくし型のバンガロー

プ場は、開園当初はフィールドアスレチックやフィールドアーチェリー、マッシュルーム型やつくし型のバンガローなどの珍しさからピーク時には年間三万六千人の利用者がいました。その後、年々利用者は減少しているものの、オートキャンプ場の整備などの改善を行いながら、現在は年間一千八百人程度に利用されています。

そんな「のぞきど森林公園 キャンプ場」は、標高約一、〇〇〇に広大な敷地を有し、五月には山一面にツツジが咲き誇り、夏にはホテルが飛び、展望台から中央アルプスを一望できる景色と満天の星空を見渡せる自然豊かな場所として、今後の利用促進が期待される場所です。

◆阿寺渓谷

レクリエーションの森に登録さ

れている大桑村の「阿寺渓谷」は、阿寺ブルーとも称されるエメラルドグリーンエメラルドグリーンの清流がとてきれいな渓谷です。

古くは、木曾山の官林がすべての権力者の直轄する天領として支配されてきた中で、阿寺山だけは異なり、尾張藩主の隠居料の山として唯一私有財産となったことのある山で、他の木曾山と異なった経緯を辿った「歴史の山」です。昔より良材が茂り、阿寺渓谷での小谷狩り（木材を谷川の水を利用して木曾川の本流まで運ぶ方法）による木材の運搬が行われてきました。

明治三十四年には、阿寺山に日本ですべて初めて軽便軌道四・五キヨロが敷設され、山作業の物資の運搬が行われ、その後、森林軌道による豆トロ運搬が他に先駆けて始ま



阿寺渓谷 犬帰りの淵

り、大正になり日本ですべて初めて森林鉄道用ガソリン機関車が導入されました。

当時の森林鉄道の痕跡は、一部、橋梁等により面影



阿寺渓谷 森林鉄道跡

を見ることがができます。

（参照）「阿寺山の小史」

著者：河口次利 発行：大桑村 大桑村教育委員会

（阿寺渓谷では、夏期に車両進入規制を行います）

◆お問い合わせ

長野県木曾郡大桑村観光協会
TEL 0264-5514566



中央自動車道中津川ICより国道19号線経由で約1時間。

ご当地自慢

熱田の杜のご案内

63

名古屋事務所

名古屋市のほぼ中央に熱田神宮があります。境内には、本宮、別宮など四三社が祀られ、その面積は約一九畝あり都会の中のオアシスとなっています。

今回は、お宮とは別に境内の見どころについてご紹介します。

■信長塀

織田信長が桶狭間出陣の際に、神宮に必勝祈願をして、戦勝のお礼として奉納されたものです。写真などではあまり長く見えませんが、



二十五丁橋



信長塀

が、途中途切れてはいるものの約一二〇畝残っています。

■二十五丁橋

名古屋では最古の石橋といわれている橋です。板石が二十五枚並んでいることから命名されたとのこと。

■お清水

湧き水の中にある苔むした石は享祿の古図

(一五二九年頃)にも描かれている楊貴妃の石塔の一部との説もあります。この水で肌を洗えば綺麗になるとも



お清水

いわれています。

さて、ここからは森林管理局らしく境内の樹木の情報をご紹介します。

■大楠

手水舎近くにあり、弘法大師のお手植えと伝えられています。幹周り七・七



大楠

樹高二〇以上、樹齢は千年以上といわれています。

■クスノキ

名古屋市の保存樹に指定されているクスノキです。「こ

ころの小径」沿いにあり、

幹周り七・八二以上、樹高が二二以上の巨木です。



クスノキ

■オガタモノキ

こちらも市の保存樹です。日本神話では、天照大神が岩戸隠れをした際に天鈿女命がオガタモノキを手に乗ったと記されています。



オガタモノキ

■ならずの梅

毎年、二月には花を咲かせるのですが、一度も実をつけたことが

ないことから「不実梅(ならずのうめ)」と名付けられています。

■神鶏

神宮の境内にはニワトリが放し飼いにされています。ニワトリは神の使いとされていて、

運が良ければ出会うことができます。



神鶏



ならずの梅

これからの暑い時期、参拝に合わせて都会のオアシスを散策されてはいかがでしょうか。



名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅、JR熱田駅、名鉄神宮前駅 近く。



この森は、北アルプス乗鞍岳の北西山麓、中部山岳国立公園南端の標高約一、三〇〇〜一、六〇〇の民有地と国有地をあわせた約二、〇〇〇畝の森林地帯に広がっており、これまで、ほとんど人の手が入っていない山地冷温帯及び亜高山帯の自然景観が広がる貴重な場所です。

平成十三年度から調査を行い、できるだけ環境にダメージを与えないよう歩道や施設を整備して、平成二十年にオープンしました。平成二十二年には「岐阜の宝もの」に認定されています。

日本で初めてとなる認定ガイドが同行して入山する完全予約制による案内を行っています。

ブナ、ミズナラ、サワグルミなどの広葉樹や、シラビソ、オオシ



布引滝



カモシカコースの下から見た青垂滝

ラビソ、コマツガなどの針葉樹を主体に、可憐な花を咲かせる希少な植物も多数確認されています。また、数多くの野生動物も棲んでおり、足跡や鳴き声などを通じて訪問者を楽しませてくれます。

豊かな森を縫うように流れる溪流には豊富な水があふれ、切り立った溶岩台地を滑り落ちる滝が

あります。深い森の奥には静寂の中に青空を映し出す池が輝き、日々刻々と表情を変える木々の葉は秘境と呼ぶにふさわしいこの森をさらに魅力あるものへと演出してくれます。

この秘境には遊歩道を散策する二つのコースがあります。滝と溪流を巡るカモシカコースと苔むした溪流と点在する池を巡るシラビソコース、動と静の対照的なそれぞれのコースは、この森の自然や地形を熟知した認定ガイドが同行し、自然の生いたちや成り立ち、葉っぱの一枚から虫の一派まで詳しく、そして楽しく案内してもらえます。



シラビソコースから見た乗鞍岳



シラビソコースの雄池

今年三月には、保護林制度の見直しに伴い、自然環境の保護や遊歩道等の管理・整備活動、自然散策ツアーの開催等、森林保全活動を引き続き円滑に行うため、高山市と飛騨森林管理署で新たに「多様な活動の森における保護、管理、利用に関する協定」を締結し、高山市のシンボルでもある貴重な自然の保全と利用の両立を図ることとしています。

今年も、この協定に基づき、新たな三つ目のコースが今年完成する予定です。まるでジブリ映画にできそうな景色が目前に広がるこの森を散策してみたいかがでしょうか。

◆お問い合わせは、五色ヶ原の森案内センターへ
☎ 05777-7912280



東海北陸自動車道 高山ICから国道一五八号線を松本方面へ四十分



朝日町は

富山県の東端に位置し、東は新潟県、長野県と接しています。東南には町名の由来ともなった、朝日岳(二、四一八メートル)に始まり、白馬岳(二、九三三メートル)を主峰とする北アルプス連峰がそびえ、これらの山々に源を発する河川(小川、笹川、境川)が日本海に注いでいます。

森林面積は一九、九一六ヘクタール(平成二十五年度)で町の総面積の八七・五%を占め、このうち一二、五五九ヘクタールは、中部山岳地帯の国有林となっています。



【朝日岳をのぞむ(桜並木と北陸新幹線)】

海岸線は九・四五キロメートルで、そのうち宮崎・境海岸の砂利浜は、ヒスイの原石が打ち上げられる「ヒスイ海岸」として全国にその名を知られています。

このように、朝日町は海拔〇メートルから三、〇〇〇メートル級の山々に至るダイナミックなパノラマが広がる自然に恵まれた町です。

○ヒスイ海岸

朝日町の最東に位置する、幅一〇〇メートル、東西約四キロメートルにわたって広がる砂利浜の海岸です。美しいエメラルドグリーン^{エメラルドグリーン}の自然海岸で、「日本の渚百選」、「快水浴場百選」に選定されています。



【ヒスイ海岸】

この海岸では、海からヒスイが打ち上げられます。日本のヒスイ産地は険しい山の中が殆どですが、楽しく安全にヒスイを拾うことができる世界的にも珍しい環境です。

冬の荒れた波に乗って、ヒスイが海岸に打ち上がり、荒れた日の三日後くらいが狙い目です。

○白馬連山高山植物帯

三、〇〇〇メートル級の高山が連なる地域は、地形の変化に富み、高山植物の豊富なところで、特別天然記念物に指定されています。



【朝日岳から富山平野の眺め】

白馬岳を頂点として、北には白馬岳・雪倉岳・朝日岳・長梅山、そして犬ヶ岳へと連なる稜線は富山・長野・新潟の県境となっています。

これらの山々は白馬岳以南とや山体を異にしている、冬季の衝撃的な季節風の影響もあり、特別な気象条件となっています。このため、山頂・山稜では、高山風衝性低木群落、高山風衝草原、高山・高原・草原などが自然の美観を見せています。

また飛騨

山脈が南北に位置しており、山稜

の西斜面は冬季季節風の風衝地で積雪地となり、東斜面は吹き溜まりや雪庇等の多雪地となり、そこにできる雪

田植物群落は、長野・新潟の両側に多いものの、氷河時代にできた二重山稜は朝日町側に多く、特に朝日岳に多く見られます。

朝日岳を中心として、雪田植物群落亜高山性湿性植物群落、好湿性の口茎広葉草原がよく発達し、登山者を喜ばせています。

◆お問い合わせは、朝日町役場まで
☎〇七六五―八三―一一〇〇



【高山植物(チングルマ)】





北信署管内の北部、長野県と新潟県境に位置する日本百名山の一つ「苗場山」を紹介しします。

苗場山は標高二、一四五メートル、成層火山のどっしりと構えた山容を呈し、山頂付近は溶岩台地で、オシラビソの天然林に囲まれた広大な高層湿原が形成されています。

このよな山は、日本では珍しく、上信越高原国立公園に指定されるとともに、長野県では生物群集保護林に指定し、



佐武流山から苗場山を望む

原則として人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行っています。

山頂南西側から標高一、八〇〇メートルに広がる四平方キロメートルにも及ぶ高層湿原には、およそ三千箇所もの池塘が点在しており、これらは、近年の堆積物調査で約七千年前から形成が始まったと考えられています。

無数の池塘には、ミヤマホタルイヤヤチスゲが自生し、まるで苗代のように見えることから「神の苗代田」とも呼ばれ、山頂には伊米神社が祀られています。

苗場山の登山は、毎年六月一日に栄村小赤沢の苗場山神社で行われる「秋山郷・苗場山・鳥甲山・佐武流山山開き」でシーズンが始まります。ここで、長野県側のメインルートである小赤沢からのルートを紹介しします。

三合目駐車場から山頂までは三時間半程度かかります。

一合目毎に道標があり、標高と所要時間を確認しながら登ります。三合目と四合目には水場があり、周辺のイワカガミやサンカヨ

ウ、マイヅルソウなどが楽しめます。

五合目と六合目の間には風穴があり、シヤクナゲやゴゼンタチバナ、ヨツバシオガマなどの花々を見ながら進みます。

六合目から八合目の間には岩場があり、鎖が整備されています。

八合目を少し登ると視界が広がり湿原となり、木道が整備されています。

池塘やワタスゲ、チンゲルマ、ニッコウキスゲなどの花々、遠くには鳥甲山などを眺めながら進むと九合目、オオシラビソの樹林帯を抜ける

と、広大な高層湿原が現れ、山頂方向には「苗場山頂ヒュッテ」



自生するニッコウキスゲ

(宿泊可)の屋根が見えてきます。高層湿原の先には佐武流山や岩菅山などが望めます。いよいよ山頂です。



山頂からの眺望はすばらしく、鳥甲山、妙高山、岩菅山、佐武流山、北アルプス、南アルプスなどの山々が続きます。これから秋にかけては、高層湿原の草紅葉と池塘が織りなす苗場山でしか見ることのできない絶景が楽しめます。



湿原から鳥甲山遠望



長野県松本市奈川地区は、市域の南西に位置します。周囲を二千メートル級の連山に囲まれ、西には乗鞍岳を望み、野麦峠方面から南北に流れる奈川の湖畔に沿って集落が点在しており、夏は涼しく大変過ごしやすい地域です。



◇当地の自慢は、全国のそば通をうならせる奈川の風土と人々が伝える「奈川在来」と「とうじそば」です。初秋の朝霧に立ち込めるその下で育つそばは、とても風味が良く、昨年からは、人気番組「月曜から夜更かし」で出演のマツコ・



とうじそば



デラックスさんらからも、絶賛されています。

奈川在来そばまつり、十一月十日から十八日。寒中とうじそばまつり、二月二日から十一日。ほかにもイベントがあります。

◇毎年九月から十月にかけて、日本の山や里で繁殖したタカが東南アジアへ越冬のため立ち寄り場所となっており、県外からも多数の方がカメラを携え観察に来ています。

タカの渡りを観察に来ませんか。

時期によっては、数千羽のタカたちの壮大な光景が見れるかも！
◇上高地乗鞍スパ―林道そば、秘



タカ見の広場より

境の雰囲気漂う奈川での宿泊はいかがですか。

奈川は古くは中世から整備された「鎌倉街道」、「野麦街道」があり、現在もほかでは見られないほど石仏群が多く点在しています。

泊まる場所には、奈川温泉・新奈川温泉・渋沢温泉などがあります。地元のそば・山菜・川魚を堪能できますよ。

◇自然を満喫されたい方は奈川のキャンプ場は、いかがですか。

奈川には、高ソメキャンプ場と野麦峠オートキャンプ場の二箇所



野麦峠オートキャンプ場

があります。どちらも設備が完備しています。

奈川の渓流で釣れたヤマメやイワナ時にはサクラマスなどを焼いて食べるのはいかがでしょう。夜の星空を見るのも良いですよ。





雄大な八ヶ岳連峰（南佐久郡南牧村より撮影）

長野県と山梨県にまたがる八ヶ岳は主峰の赤岳（二、八九九メートル）をはじめ、横岳、硫黄岳、根石岳、さらには天狗岳と二、〇〇〇メートル級の峰々が南北に三〇キロメートルにわたり連なっています。八ヶ岳の誕生は一三〇万年前に始まり、噴火



苔の森（白駒の池）

や崩壊を繰り返して、現在の姿になつたといわれています。日本百名山にも数えられており、四季を通じて県内外から多くの登山者が訪れる人気の名峰です。硫黄岳と根石岳の間に位置する夏沢峠を境に北側を北八ヶ岳、南側を南八ヶ岳と呼び、それぞれに対照的な特徴があります。北八ヶ岳エリアは、シラビソや、トウヒ、コメツガ等の木々が鬱蒼と生い茂り、苔の森が一面に広がり、天然池が点在する神秘的な区域です。

八ヶ岳を訪れるのにマイカーもいいですが、電車で訪れるのはいかがでしょうか。近くを通るJR小海線には、日本で一番高い場所にある野辺



白い可憐なツクモグサ

稜線の途中にはコマクサ、ミヤマキンバイなどの花畑が広がり登山者を楽しませてくれます。また、本州では白馬岳と八ヶ岳で見ることのできないツクモグサにも出会えるかもしれません。八ヶ岳を訪れるのにマイカーもいいですが、電車で訪れるのはいかがでしょうか。近くを通るJR小海線には、日本で一番高い場所にある野辺

対照的に南八ヶ岳エリアは険しい山岳地帯で赤岳、横岳といった荒々しい岩稜が続き、登山好きにとっては絶好のコースとなっています。



主峰 赤岳



※アクセスは、中央道、中部縦貫道各インターから。

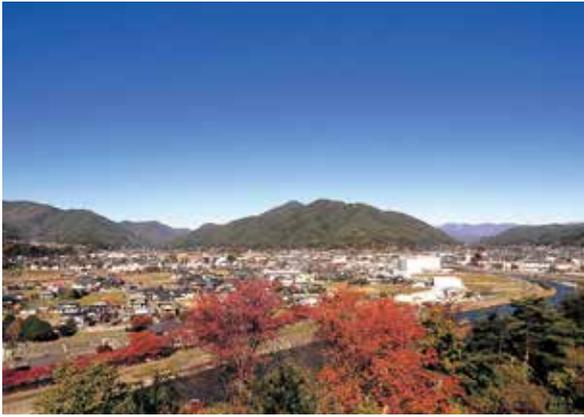


J R鉄道最高地点

山駅（二、三四五メートル）があり、カメラを片手に多くの鉄道ファンも訪れます。全国のJR鉄道の中で最も標高の高い場所（二、三七五メートル）でもあります。



かわいい駅舎のJR野辺山駅



天竜川沿いの辰野町市街と大城山（中央）



長野県上伊那郡辰野町の大城山おしじょうやま（一、〇二七号）は、伊那谷の北部に位置し、JR中央本線の岡谷駅、塩尻駅、JR中央本線支線の辰野駅に囲まれた辰野町市街地よりに位置しています。

駅と塩尻駅へと往来してしま

た。一九八三年七月に塩嶺トンネルが開通し、岡谷駅から塩尻駅へ通行することとなったため、辰野駅は、中央本線のメインルートから外れましたが、秘境駅で有名な飯田線の起点駅であることから鉄道ファンには人気の駅です。

大城山は、日本の地理的中心ゼロポイントがあることで知られる山でもあり、辰野町や伊那谷の眺望の良さでも人気があります。

大城山のビューポイントは辰野町の市街地より林道を上ること約十分、舗装道路から脇に入るダートな道を五〇〇メートル程登った先に、整備された駐車場と展望スペース



現地詳細位置図



日本中心のゼロポイント看板と石柱

が現れます。眼下に広がる辰野町の市街地と天竜川が伊那谷に沿って遠く伊那市以南まで流れていく眺望は、開放感にあふれ時間が経つのも忘れてしまいます。

また、天竜川を中央に、右は中央アルプス、左は南アルプスの山々に挟まれたV字形の雄大な地形をいつもと違ったアングルで見ることが出来ます。

駐車場にある日本中心ゼロポイントの道標に導かれ、山道の歩道を歩くこと二十分、大城山の山頂の北約一キロメートルの所に日本中心のゼロポイント。北緯三六度〇〇分〇〇秒と東経一三八度〇〇分〇〇秒が交差する地点であることを説明する看板が現れます。その隣には日本地図に経緯度線を刻んだ円

筒形のモニュメントがあり、石柱に日本中心のゼロポイントの文字が刻まれています。

駐車場から車で十五分ほど離れた地点に「日本中心の標」が立てられていて、併設された展望台からは、北アルプス、美ヶ原、八ヶ岳、南アルプスが望める三六〇度のパノラマを楽しむこともでき、山岳ドライブと散策が気軽に楽しめます。



展望台



※アクセスは、中央道、伊北インターより約十五分。



田の原高原からの御嶽山

田の原高原は、長野県と岐阜県にまたがる御嶽山（標高二、〇六七メートル）への長野県王滝村からの登山口に広がり、御嶽山七合目に位置し、木曽御岳自然休養林に指定されています。

田の原高原には、御嶽山の大パノラマと可憐な高山植物を楽しむことができる遊歩道（中部森林管理局



希少なクロユリの花

「国有林おさんぽマップ」にも掲載）が整備されており、ハイマツの緑やイワカガミ、コバイケソウ、クロユリなど希少な花々との出会いも楽しみみのひとつです。高山植物の見頃は六月下旬から七月、紅葉の見頃は九月中旬から十月上旬となっています。（なお、十一月上旬から五月上旬は冬季閉鎖されます）

遊歩道を少し歩くと展望台もあ



補修された遊歩道



遊歩道の休憩施設

り、そこからは中央アルプス、北アルプス、乗鞍岳、開田高原の大パノラマを遙かに望むことができます。遊歩道には休憩施設も整備されており、ゆっくりと散歩気分を歩くことも可能です。

また、登り口から六百メートル程の距離にある御嶽神社の遥拝所では、御嶽山の祭神をお参りすることができます。ここから真正面に見える御嶽山は迫力があり必見です。

国有林の優れた自然景観を紹介する一環として、田の原高原もゲールストリートビューで公開しています。ぜひご覧いただくとともに素晴らしい景観を楽しむにお出かけください。



※アクセス 中央道中津川ICから車で約一五〇分、中央道伊那ICから車で約一一五分

（注：御嶽山の立ち入り規制については、王滝村公式HPで確認をお願いします）

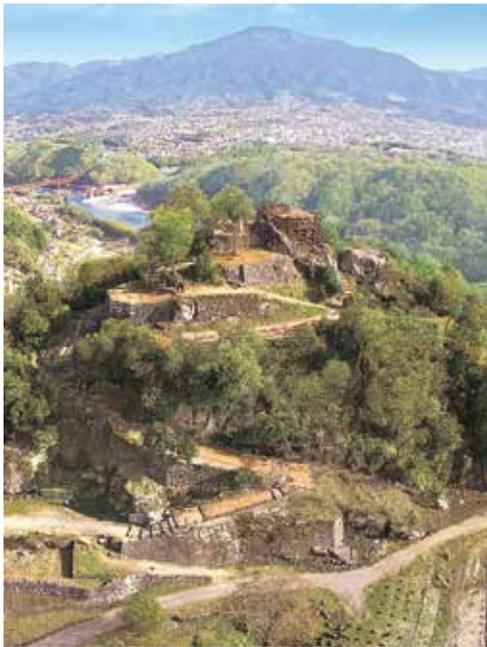


御嶽神社遥拝所 (王滝村提供)



岐阜県中津川市苗木にあり、木曾川右岸四百三十二坪の高所に築かれた苗木城跡（国指定史跡）を紹介します。

この城跡は、平成二十九年に「日本の城ベストランキング200」の専門誌において第二十九位、「絶景！山城ベスト10」では堂々の第一位にランクインし、昨年の十二月に



苗木城跡の全景

造り（崖や池などの上に建物を長い柱と貫で固定し、床下を支える建築方法）が使われているもので、自然の地形を最大限に利用した山城となっています。

山頂の巨石の上には天守展望台が

は、月間として過去最多の一万三千六百二十人の来場者数を記録しました。

苗木城は江戸時代の苗木藩の藩庁が置かれていた城です。築城は南北朝時代初めとも、戦国時代ともいわれています。往時は、壁の色から赤壁城とも呼ばれ、約一万石の小藩の城ながら山頂には三層の天守があったといえます。

城跡に現在、建物は残っていませんが、天守台、石垣、堀、曲輪などの遺構が残っています。特に自然の巨石を利用し取り込んだ石垣が見事で最大の特徴となっています。これは、敷地の確保が困難な状況にあったため、建物の建築方法に懸



展望台からの絶景

ありますが、実際にあった穴を利用し、当時の構造を再現したものです。展望台の眼下には木曾川が流れ、中津川市内と恵那山の眺めはまさに絶景です。

城跡から十分ほど歩くと「苗木さくら公園」があります。四月上旬に開催されるさくら祭りでは、ライトアップが行われ幻想的な雰囲気醸成した夜桜を散策できます。寒暖差のある秋から冬にかけては、早朝に雲海が広がる雄大な景色が望めることもあります。また、苗木城の入り口には中世から明治初期に至る歴史的な文化遺産を保存・

公開している苗木遠山史料館がありますので、こちらもお立ち寄りください。



苗木さくら公園の幻想的な夜桜

※写真は中津川市提供



◆アクセス
中央道中津川ICから車で二十分



「新しい時代へ」ありがとう「平成」

岐阜県関市平成地区（旧武儀町）は関市東部にある山あいの小さな集落です。一九八九年、新たに発表された元号「平成」と日本で唯一、同じ漢字の地名であったため、平成時代の幕開けとともに空前の「平成フィーバー」が勃発しました。わずかに九世帯、人口三十五人の集落は二躍脚光を浴び、全国から多くの人々が訪れるとともに、日本平成村の立村や「平成」の名を冠したイベント開催や商品開発など、「平成」によるまちづくりを積極的に展開してきました。

道の駅「平成」

平成八年には道の駅「平成」がオープンし、年間六十万人の観光客が訪れる観光地に変貌しました。



道の駅「平成」

地区の特産品は原木シイタケ、元々特産品であったものが世に出て更に売れるようになり、椎茸茶、シイタケスナックから椎茸カツ丼などの多くの新商品が開発され恵みをもたらしました。

平成ごぶし街道

道の駅「平成」は、美濃と南飛騨を結ぶ県道五八号線沿いにあり



平成ごぶし街道のこぶしの花

ます。この県道は「関金山線」又は「平成ごぶし街道」の愛称で親しまれており、沿道には多くの「こぶしの木」が植えられており、春先には真っ白なこぶしの花が見頃を迎え、この道を通る多くの人を楽しませてくれます。

平成山（三三八一）

山頂へは往復二時間程度で登ることができ、手軽な登山ができます。途中の平洞からは素晴らしい景色が見られます。四月二十日（平成最後の日）までに平成山に登ってみませんか！

今、新元号への改元を間近に控え、日本の中心「平成」の地から「平成時代」への愛と感謝を伝える「ありがとう！平成時代」と銘打つ

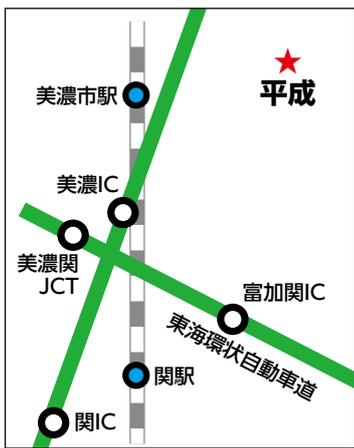


平洞からの眺望（左奥は御嶽山）



道の駅「平成」入口です

た数々のイベントが行われています。来月には、平成最後の日の入りを催しも計画されているなど、平成最後を盛り上げようと県内外から大勢の人が訪れています。終わりにゆく平成時代を惜しむかのように「平成ラストフィーバー」を迎えます。



◆アクセス

○東海環状自動車道「富加関IC」より約十分、県道五八号線「関市街地」より約二十分



■日本美しの森々お薦め国有林

くらがり溪谷は、岡崎市街から東へ約二十六キロメートル、本宮山県立自然公園の南西部に位置する景勝地で、広葉樹と針葉樹からなる天然林があり、その間をぬって流れる清流は、大小様々な瀬と淵と滝をつくり、その変化に富む岩と美しい森林が見事に調和した自然美を創りだしており、森林浴や自然観察に適した場所として、「レクリエーションの森・風致探勝林」に指定されています。また、溪谷沿いには、「くらがり八景」として、不動の滝・さるとび岩・岩根の杉林・おきな淵など随所に見所があるなど、魅力的な観光資源としての活用が期待されることから、「日本美しの森々お薦め国有林」に選定されています。

■溪谷美

三河の奥座敷と呼ばれる「くらがり溪谷」は、春は鮮やかな新緑の中から野鳥のさえずりが聞こえ、夏は涼しい清流にカジカが鳴き、秋はカエデやクヌギなどが清流を赤黄に染め、冬は

溪谷沿いのハイキングコースを登れば、本宮山の山頂からは南アルプス連峰や三河湾を一望できます。また、テ



さるとび岩



溪谷美

イカズラ、ギンランなどの山草が四季を通じて咲き、その魅力の多彩さ、四季折々の溪谷美には定評があります。

◆マス釣り、マスつかみ

溪谷沿いには、キャンプ場やコ

テージなども整備されており、野外生活が体験できるほか、くらがり溪谷の風物詩的存在となつているマス釣りやマスつかみは、水遊びも同時に楽しめることから、特に夏休み期間中多くの家族連れで賑わい、一度に数十人の方が体験できるため、会社の集まりなど団体にも利用されています。



マス釣りを楽しむ子供たち

◆手軽にBBQ

ハイキングなどで溪谷を満喫した後は、デイキャンプ場で気軽にバーベキューも楽しめます。地元ブランド肉「三州牛」「みかわもち豚」を中心に盛り合わせた手ぶらで楽しめるセットメニューが用意されています（要予約）。

このように「くらがり溪谷」は、マイナスイオンたっぷりで、訪れる人々の心を癒やしてくれる場所ですので、是非一度お立ち寄り

になることをお勧め致します。



BBQを楽しむ利用者様



◆アクセス

【東名】岡崎ICから約四十分

分
【新東名】岡崎東ICから約二十

分
【鉄道】名鉄「本宿駅」から名鉄バス「くらがり溪谷」行き終点下車すぐ 三十五分



今回は、南木曾町を代表する観光地でもあり、国の重要伝統的建造物群保存地区にも指定されている「妻籠宿」のご紹介です。

妻籠宿は、慶長六年（一六〇一年）徳川家康によって「宿駅」が定められ、江戸から四十二番目の宿場として整備されました。明治以降宿場としての機能を失い衰退の一途をたどりましたが、昭和四十三年から始まった町並み保存事業により江戸時代の面影がよみがえりました。

かつて中山道木曾十一宿の一つとして栄え、出梁（だしばり）造りや卯建（うだつ）を用いた伝統的建造物が軒を連ねる町並みは、実際に人が住み生活することで、地域特有の民俗が醸し出され、テーマパークにはない情緒が生ま

れています。

宿場の見どころをいくつか紹介しますと、まず南木曾町博物館の三館のうちの一つであり国の重要文化財にも指定されている「脇本陣奥谷」があります。代々脇本陣・問屋を務めた家で、現在の建物は明治十年にそれまで禁制であつた桧をふんだんに使い建て替えたものです。また、島崎藤村の初恋の相手



脇本陣奥谷

「ゆふ」さんの嫁ぎ先でもあります。脇本陣奥谷では荘厳な囲炉裏端での昔の生活ぶりなど、生きた歴史を語り部から聞くことができます。

また、同じく三館のうちのひとつである「妻籠宿本陣」は、代々島崎氏が勤めていましたが、明治二十年代に最後の当主広助（島崎藤村の実兄）が東京に出て、建物も取り壊されました。本陣跡地はその後、御料局や営林署に使用さ

れています。

たが、町に払い下げられたのを機に、平成七年、江戸時代後期の間取図をもとに忠実に復元されました。往時のままの豪壮な姿をお楽しみいただけるほか、島崎家縁の人物の展示もご覧いただけます。



妻籠宿本陣

そして日本で最初に宿場保存事



妻籠宿夕暮れ（寺下の町並み）

業が行われ妻籠宿保存の原点とも言うべき「寺下の町並み」です。家並みは素朴で繊細であり、昔の旅籠そのままに出梁造りや堅繫格子（たてしげごうし）の情緒たっぷりの家々が並びます。

◆所在地

長野県木曾郡南木曾町吾妻 二一五九―二

◆アクセス方法

【中央道】中津川ICから塩尻方面へ約三十分南木曾大橋を渡った直後の信号を右折し、五百円で妻籠入口

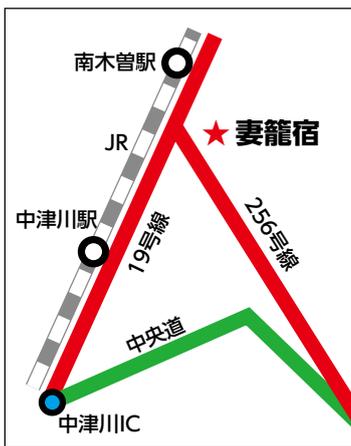
【鉄道】JR中央本線南木曾駅下車

タクシー十分 バス十分

徒歩四十分

◆お問い合わせ

南木曾町観光協会
TEL 〇二六四―五七―二〇〇一





東谷山と大塚3号墳

大阪の「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産への登録を勧告されるなど、近頃古墳が注目を集めています。

名古屋市内にも約二百基の古墳が確認されており、最も集中しているのが名古屋市北東部の「志段味古墳群」です。

志段味古墳群は、名古屋市の最高峰「東谷山」とつながりをもつ



六世紀末から七世紀前半に築造された円墳で、志段味古墳群で石室が唯一ほぼ完全な状



東谷山白鳥古墳 石室

■東谷山白鳥古墳

後円部頂部や斜面に石英がまかれ白く輝いていた外観から白鳥塚の名称の由来となったといわれています。



白鳥塚古墳 後円部頂部

■白鳥塚古墳

四世紀前半に築造された前方後円墳で愛知県下第三位の規模を誇ります。

今回は、いくつかの古墳などについて紹介させていただきます。

五世紀後半に築かれた帆立貝式古墳で、円筒埴輪が見つかっています。

五世紀末に築造された帆立貝式古墳で、円筒埴輪が見つかっています。

この古墳は、当時の姿を復元しており、約五百体の埴輪の複製品が並べられています。

■体感！

しだみ古墳群ミュージアム

志段味古墳群の出土品の鑑賞



志段味古墳

■志段味大塚古墳

五世紀末に築造された帆立貝式古墳で、円筒埴輪が見つかっています。



東大久手古墳

■東大久手古墳

五世紀末に築造された帆立貝式古墳で、円筒埴輪が見つかっています。



愛知県名古屋守山区大字志段味前山一三六七

◆ミュージアムアクセス

【公共交通】JR高蔵寺駅から市バス志段味巡回 勝手塚下車 徒歩一分

【自動車】東名高速道路 守山スマートインターチェンジから約十分

や、古墳ガイドツアー、古代体験ができる施設です。

名古屋市の中心部からほど近いところで古代を感じられたいかがでしょうか。

◆ミュージアム所在地

愛知県名古屋守山区大字志段味前山一三六七



しだみ古墳群ミュージアム



岐阜県高山市荘川町国道一五六号線沿いに二本の桜があります。ごく淡いピンク色の花弁とごつごつした幹が特徴で、樹高二〇メートル、目通り幹囲約六メートル、市の誇りでもある樹齢五百年の『荘川桜』を紹介いたします。

この荘川桜は、元々現在の場所にあったわけではありません。現在、御母衣^{みぼろえ}ダムがある場所には、以前荘川村中野という地区があり、戦後の復興の真最中であつた一九五二年に、電力需要の増大を見越してダム建設が発表されました。当初村民は反対の意志を示していましたが、電源開発初代総裁高碓達之助氏が、住民と水没予定地の村を何度も訪れ、ダムの必要性を熱心に説明し、理解を求めるとともに誠意ある対応を行い、

八年近くに及ぶ反対運動は終結しました。村民と高碓氏が村内を見て回った時、光輪寺と照蓮寺にあった桜をこの水没から救いたいと考え、移植が行われました。移植作業は、桜が巨木かつ老齢であることから、桜は外傷に弱い樹種であることから困難を極め、四十日間もかかったそうです。



旧荘川村光輪寺から移植

しかし、移植した次の春には、花が咲き、桜のあつたふるさと荘川村に因んで「荘川桜」と名付けられました。

この奇跡の荘川桜は、県の天然

記念物に指定されており、例年四月下旬から五月上旬にかけて咲き誇り、期間中はライトアップされます。年間、五万人の観光客が訪れます。



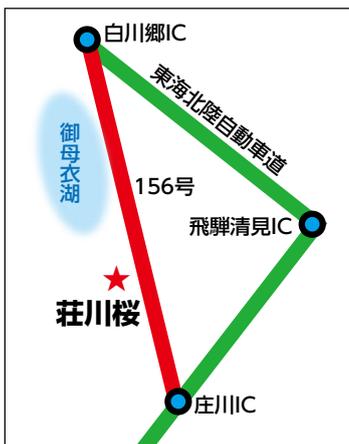
ライトアップされた荘川桜

また、訪れるタイミングもありますが、雪解けの始まる前や夏の渇水の時など御母衣ダムの水位が下がった時には、荘川村が姿を現し、荘川桜を引っ張りあげたレーンや照蓮寺の跡が見えるかもしれません。

荘川桜は、「自然の大切さ」、「物への愛情」、「命の尊さ」を改めて教えてくれる市の大切な宝物です。



観光客で賑わう荘川桜



◆荘川桜へのアクセス
 【タクシー】
 JR高山本線「高山駅」からタクシーで一時間十五分
 【自動車】
 東海北陸自動車道荘川ICから国道一五八号を経由し、国道一五六号を白川郷方面へ車で十五分



立山連峰とみくりが池

富山県の東部、立山連峰の麓に位置し、日本の滝百選に選定されている「称名滝」を紹介します。



称名滝のあ
る立山町は、
年間約百万人
の観光客が訪
れる国際山岳
観光地である
「立山黒部ア
ルペンルー
ト」を擁して
おり、近年で
は、国内初の
水河の発見、
弥陀ヶ原・大日平（だいにちだい
ら）のラムサール条約湿地の登
録、立山信仰の伝統儀式「布橋灌
頂会（ぬのばしかんじょうえ）」
の日本ユネスコ協会連盟によるプ
ロジェクト未来遺産登録などを契
機として、さらなる盛り上がり
みせています。

立山町の名所の一つでもある称
名滝は、多くの人を魅了する立山
連峰を源流とし、称名峡谷から四
段に折れながら三五〇メートル落
ち、落差日本一を誇る大瀑布で、
国の名勝、天然記念物に指定され
ています。

称名滝は、その爆音が「南無阿



日本の滝100選「称名滝」

弥陀仏」と称名念仏のように聞こ
えたことから名づけられたと言わ
れており、十年間に一回のスピー
ドで浸食され、現在の位置まで後
退しています。

また、雪解け水が多く流れ込む
春や大雨が降った後などには、称
名滝の右側に幻の滝と呼ばれる
「ハンノキ滝」が現れ、二つの滝
のコラボレーションは、まさに大
自然が作り出す芸術です。

今シーズンから、称名滝の大迫
力をより多くの人に楽しんでもら
うため、遊歩道を走る電動カー
（シニアカー）のレンタルもでき
るようになりました。



- ◆所在地
富山県中新川郡立山町芦峯寺
- ◆アクセス
【公共交通】 富山地方鉄道立山
駅から称名滝探勝バス称名滝行
き約十五分、徒歩約三十分
※称名滝探勝バス通行期間
四月下旬～十一月中旬
- 【自動車】 北陸自動車道立山IC
から約五十分後徒歩約三十分
- ◆お問い合わせ 立山町観光協会
Tel 〇七六-四六二-一〇〇一



称名滝とハンノキ滝のコラボ



北信署管内の北部、長野県と新潟県境に位置する「北信五岳」及び、「日本二百名山」の一つでもある「黒姫山」を紹介します。



北信五岳の一つ、黒姫山

黒姫山は、長野県上水内郡信濃町にあり、戸隠連峰の東、妙高山の南に位置し、標高二、〇五二メートル、成層火山の安定した山容から「信濃富士」とも呼ばれ、古くから地

域の人々に愛されています。

当該エリアは、「レクリエーションの森」及び「妙高戸隠連山国立公園」にも指定され、麓から山頂へは、各方面からの登山ルートが設定されており、登山道沿いでは、多様な植生の変化や火打山、戸隠山、飯縄山、苗場山、岩菅山、北アルプスなどを望むことができます。

今回は、大橋登山口からのルートをご紹介します。

大橋登山道への入口は、戸隠森林植物園へ至る県道三六号線「信濃信州新線」沿いの戸隠牧場北側の水門脇にあります。

林道ゲートよりカラマツ林に囲まれた「大橋林道」を進み、林道分岐を右に進むと、左側に登山道入口があります。

暫くの間森林浴を楽しみながら緩やかな登山道を進むと「新道分岐」に到着です。

ここは、四方向（山頂、林道、古池、峰の大池）への分岐点です



新道分岐

が、山頂へはまっすぐ進みます。

ここから山頂に向かつては、傾斜も急になり、周囲はブナ林等、広葉樹林となります。

登山道周辺は、次第に竹細工の材料にもなる「根曲竹」の林を抜け、カンバ類が目立つようになり、急坂を登りきると、ようやく外輪山の尾根「しらたま平」です。

ここからは、戸隠連峰や飯縄山、北アルプスなどの眺望を楽しむことができます。



しらたま平からの眺望

そして山頂と続く緩やかな稜線を進むと、大池分岐の看板があり、巨岩を急登すれば、黒姫山山頂です。

山頂には、黒姫山弁財天の祠があり、そこからの絶景は、登山の疲れを忘れさせてくれます。

帰路は、大池分岐看板より右折し、セツ池や峰の大池、大ダルミ湿原等を楽しみ登山口へ戻ります。



黒姫山山頂の弁財天の祠

登山口より概ね七時間で山頂まで往復でき、日帰りできる山として人気を集めています。皆さん、一度、黒姫山へ登ってみませんか。

◆所在地（戸隠牧場・大橋登山口付近）

長野市戸隠三六九四

◆アクセス

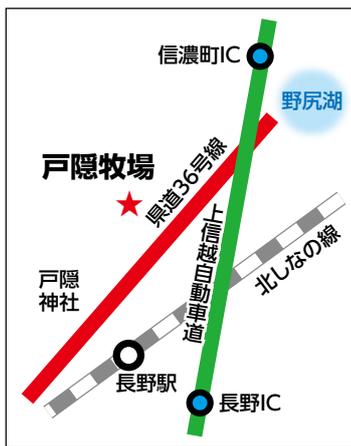
【公共交通】

JR長野駅から戸隠キャンプ場行きバス七十分下車、徒歩五分

【自動車】

長野ICから車で六十分

信濃町ICから車で三十分





乗鞍岳 (3,026m)

中信森林管理署大野川森林事務所管内は、乗鞍高原を含み標高一、二〇〇〇〜三、〇二六メートル(乗鞍岳)と高所に位置し、冷涼な気候で乗鞍岳を望み、乗鞍スキー場や乗鞍・白骨温泉、いがやレクリエーションランドなど観光やアクティビティが豊富な地域となっております。



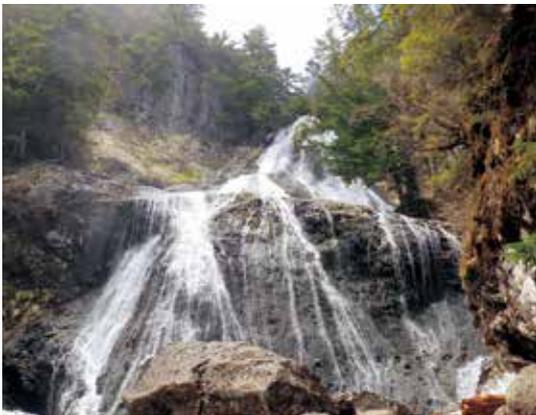
今回は、日本一簡単に三、〇〇〇メートル峰に登山できるといわれる乗鞍岳をご紹介します。

日本一の高度を走る乗鞍スカイラインを利用して、登山口である標高二、七〇二メートル畳平へアクセスすると、剣ヶ峰山頂までは徒歩一時間三十分ほどです。山頂からは乗鞍高原を見下ろすことができ、山頂直下の火口湖、権現池を望めば、過去の噴火と周辺地形の成り立ちを観察できます。



中央奥の湖の左が畳平

乗鞍高原は乗鞍岳の溶岩台地で、溶岩の厚さ六十メートル、落差四十七メートルの乗鞍三滝の一つ、番所大滝を生み出しています。



三本滝

この他、善五郎の滝は、今から約四万三千年前、乗鞍火山の高天ヶ原火山体(二、八二九メートル)から流れ出た、番所溶岩の中にできた滝で、幾度にもわたって流れた溶岩の一端が崖となった個所に、小大野川が流れて滝になったと考



番所大滝

また、日本の滝百選に選出された三本滝は、水源が異なる三つの滝の様子が一度に見られる名所で、落差五十メートル、山岳信仰の修験者の厳しい修行の場であったといわれています。

えられています。

近隣では、特異な地質として、温泉が噴出した場所に沈殿物が多く付着して幾重にもなった「噴湯丘」や、世界的にも珍しい球状の石灰岩で国の特別天然記念物に指定された「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」を見ることができま

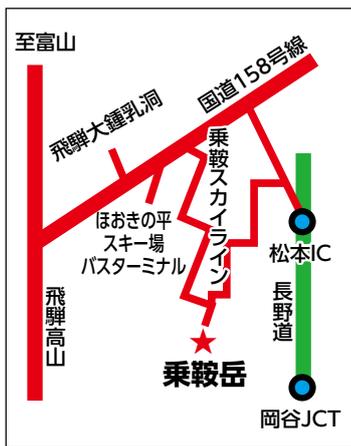
◆所在地(乗鞍岳畳平バスターミナル)
岐阜県高山市丹生川町岩井谷 一・二・三

営業期間…五月十五日〜十月三十一日(冬季閉鎖)まで

◆アクセス【自動車】

○ほおのき平バスターミナルまで
中部縦貫道・高山ICより約三十五分

長野道・松本ICより約六十分





海野宿 写真提供：(一社) 信州とうみ観光協会

長野県東御市(とうみし)にある北国街道の宿場「海野宿」を紹介します。海野の地は、遠く千二百年前の奈良時代には附近一帯を海野郷と称し、早くから文化が開け、この地から献上された品が正倉院御物として残っています。



海野の高台に居をかまえた海野氏は、東信濃の軍事、交通の要衝をおさえ、その勢力は中信から北上州にまで広がっていました。江戸時代の北国街道は中山道と北陸道とを結ぶ重要な街道で、佐渡で採れた金の輸送や、北陸の諸大名が参勤交代で通った道であり、江戸との交通も頻繁で善光寺への参詣客も多く大変な賑わいを呈していました。明治時代に入り宿場の機能は失われてきましたが、海野宿の人々は宿場時代の広い部屋を利用して養蚕・蚕種業をはじめました。特に蚕種は広く関東地方から外国にまで売り出され「宿場の町から養蚕の町へ」と移り変わりました。この養蚕最盛期の明治・大正の時代に建てられた堅牢な蚕室造りの建物は、江戸時代の旅籠屋造りの建物とよく調和して現在まで残され、「日本の道百選」重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受けています。

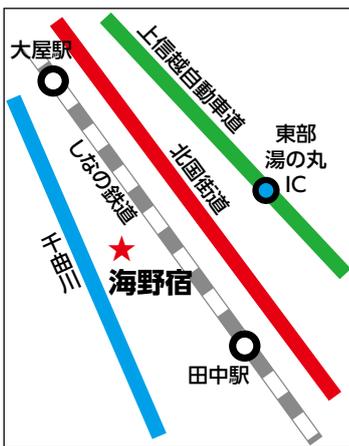
その街並みの中に見られる卯建(うだつ)には幾種類もあり、妻壁(つまかべ)を一段高く上げて小屋根をつけたものが江戸時代の



本うだつ(上)、袖うだつ(下)

もの【本卯建】であって、防火の役割りを果たし「火返し」とも呼んでいます。これが明治時代に入ると一階の屋根の上に張り出して意匠をこらし装飾を兼ねた袖壁(そでかべ)【袖卯建】が設けられるようになってきました。このような卯建は富裕の家の象徴であったといわれ「うだつが上がるぬ」という言葉も生まれています。

◆所在地・長野県東御市本海野
◆アクセス
◆【公共交通】しなの鉄道しなの鉄道線「田中駅」及び「大屋駅」からタクシーで五分
◆【自動車】東部湯の丸ICから車で十分



海野格子

海野宿には、現在も歴史の香り高い街並みが美しく残されています。是非、海野宿の魅力を探しに来てみて下さい。



長野県南部、中川村の北端に位置し、天竜小渋水系県立自然公園に指定されている陣馬形山は、気軽に眺望が楽しめ、自然と触れ合える里山として地元の方はもとより、訪れる大勢の人に愛されてきました。

標高は、一、四四五メートルと、長野県の中では、決して高い山ではありませんが、山頂からの眺望に優れ、中央アルプス、南アルプスの山並みが目の前に広がり、眼下には南北に走る天竜川が帯のように流れ、その兩岸の辰野町から飯田市に及ぶ伊那谷が一望され、伊那谷随一の景観と称されています。また、その昔、戦国時代には武田信玄の狼煙台として軍事的な情報伝達手段などに使用されたと言われています。



山頂より中央アルプスと伊那盆地を望む



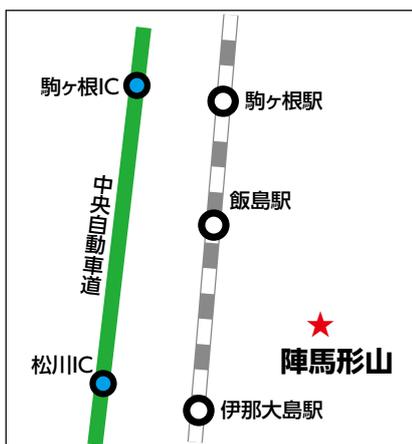
冬季でも利用者が
あるキャンプ場

近年のキャンプブーム、SNSの急激な発達や人気アニメの舞台となったことにより、来訪者が急増し、冬季を除く休日には県内外から大勢のキャンパーで賑わうことから、中川村では、トイレの水洗化を始めとした施設の整備を進めるとともに、来訪者の誰もが安全且つ快適に利用できるよう、ルールづくりとマナーの普及にも力を入れています。



山頂付近の様子

山頂付近には、戦前から活用されている広さ八千平方メートルのキャンプスペースがあり、眺望の良さから「天空のキャンプ場」として知られています。



- ◆所在地：長野県上伊那郡中川村 大草
- ◆アクセス
- 【公共交通】
 - JR飯田線伊那大島駅・JR飯田線飯島駅からタクシーで四十五分
 - 【自動車】中央自動車道
 - ・松川ICから二十一キロメートルで五十分
 - ・駒ヶ根ICから二十九キロメートルで六十分

山頂のキャンプ場まで車道が整備されており、二十台程度の車が止められる駐車場もありますので、天気の良い日には是非お立ち寄りいただき、絶景のパノラマを堪能されてみてはいかがでしょうか。



信州木曾・上松町^{あげまつまち}が誇る赤沢自然休養林と健康に関連した話題をご紹介します。

「森林浴」^{しんりんよく}は、一九八二年に林野庁が提唱し、その年の秋に赤沢自然休養林で我が国で初めての森林浴大会が開催されたことから、赤沢は森林浴発祥の地として親しまれてきました。

二十一世紀に入って間もなく、森林浴から医学的エビデンスを得た「森林セラピー」が提唱されました。赤沢自然休養林も第一期森林セラピー基地に認定され、現在でも生理実験調査が続けられています。

この森林浴・森林セラピーでは、ストレスの軽減やリラクゼーション効果、免疫機能の向上などが認められています。夏、世界各地の「Shinrin-yoku」^{しんりんよく}という解説本が出版されるに至り、一気に話題となりました。特に皆保険制度が整備されておらず医療費が高額なアメリカなどをはじめ、予防医療に熱心な国々で森



森林セラピー体験の様子

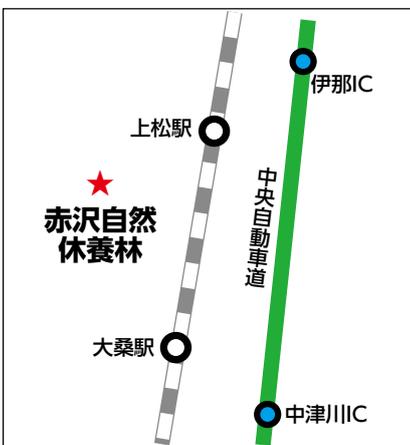
林浴を学び実践したいとのニーズが高まっています。

長野県上松町には赤沢自然休養林の森林浴について、世界各地からお問い合わせや取材依頼が寄せられるようになりました。健康は世界共通のマーケットであり、爽やかな天然ヒノキの香りを楽しめる赤沢が「森林浴発祥の地」として、これからも多様なニーズに応えるべく取り組んでいきます。

◆所在地：長野県木曽郡上松町小川入国有林
◆アクセス

【公共交通機関】
JR中央線上松駅から路線バスまたはタクシー利用約三十分

【自動車】
中央自動車道中津川ICから国道十九号経由約九十分
中央自動車道伊那ICから国道十九号経由約八十分



○上松産「えごま」

「えごま」は、木曽地域で昔から各家で栽培され、収穫の秋には新米と「えごま」で五平餅を作つて食べるのが楽しみでした。また、農業の機械化に伴い、栽培する農家も減少したことから、上松町では十七年ほど前から町の特産にしようと、「上松町特産品開発センター」が中心となり、栽培を進めており、最近の健康志向から、生搾りの「えごま油」は、人気商品となつています。

「えごま」はシソ科の一年草の植物で、縄文時代の遺跡から種子が発見されている日本古来の植物だそうです。シソ科というだけあって葉も花も実も、見た目はシソにそっくりで、鳥獣被害もなく山間地で育ちやすい植物です。作付けが増えたことで遊休農地の解消にも貢献しています。

収穫して実をきれいにする作業は大変ですが、地域では、これからも上松産「えごま」を作り続けたいとのこと。森林浴発祥の地と黄金色の「えごま油」を求めて、是非一度訪れてみてはいかがでしょうか。



えごま油を使用した人気商品



今年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」は、美濃国(岐阜県)が生誕の地といわれる明智光秀が主人公です。

明智光秀は軍事や政治、外交に長けた逸材として知られています。一番はやはり「本能寺の変」。主君の織田信長を討ったことで有名ですが、生誕には複数の言い伝えがあります。

特に青年期については、史実に掲載されていないところもあり、少々、ミステリアスな人物です。

今回、光秀生誕の地の一つといわれる、岐阜県東濃エリアの「山城址」を紹介します。

東濃地域には、岩村城址(恵那市)、苗木城址(中津川市)を始め、約八十近くの山城があったといわれています。



岩村城址【岐阜県恵那市】

山城は、一五三〇〜一五八〇年代、山の中腹に土塁や堀を整備し、敵が攻めにくいように地形を生かして築かれ、戦国時代末期(一五九〇年代以降)になると、山城から壮大な天守閣に建築様式が変わり、江戸時代に入ると徐々に縮小され、明治以降になるとほとんどが廃城となり、「城址」として現在に至っています。

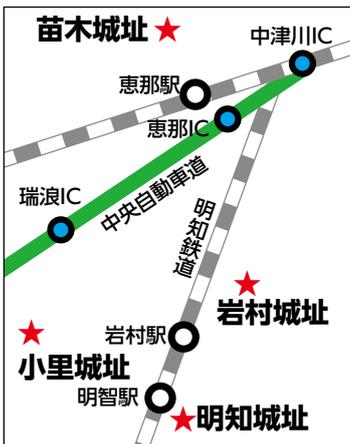
一月十一日に岐阜県の恵那市明智町、岐阜市、可児市に大河ドラマ館が開館しました。恵那市明智町のドラマ館は、明知城址散策コース沿いにあり、東濃地域の山城についての展示なども行われています。



苗木城址から木曾川・中津川市街地【岐阜県中津川市】

中部森林管理局の国有林お散歩マップには、岩村城址及び小里城址(瑞浪市)を掲載しています。ので、お散歩マップも活用して、歴史に触れる散策を満喫いただければと思います。

お散歩マップは、QRコードを読み込んでください。



◆アクセス

- 明知城址：岐阜県恵那市明智町城山 中央道「恵那IC」より約三十五分
- 岩村城址：岐阜県恵那市岩村町城山 中央道「恵那IC」より約二十分
- 小里城址：岐阜県瑞浪市稲津町小里 中央道「瑞浪IC」より約十五分
- 苗木城址：岐阜県中津川市苗木 中央道「中津川IC」より約十分



小里城址から瑞浪市街地【岐阜県瑞浪市】



岐阜のマチュピチュと呼ばれる上ヶ流地区の茶畑

マチュピチュはペルーにある古代インカ帝国の遺跡で、「天空の城ラピユタ」のモデル地としても有名です。そんな雲海に浮かんだ幻想的な絶景が望める「日本のマチュピチュ」と呼ばれる名所は、岡山県の竹田城跡や福井県の越前大野城などが有名ですが、今、ひそかに注目を集めているマチュピチュは岐阜県にもあります。



■ 揖斐川町上ヶ流地区

岐阜県揖斐川町上ヶ流地区は、岐阜森林管理署が管理する足打谷国国有林と檜原谷国国有林の間に挟まれた山あいの小さな集落です。

海拔三〇〇メートルの高地に位置し、寒暖の差が激しく霧が多い地域のため「上ヶ流茶」の生産地として知られています。四方を山に囲まれ「天空の遊歩道」が整備されており、標高四四〇メートルの絶景スポットから眼下に広がる鮮やかな一面の茶畑はまさに一枚の絵画のようです。



手作り看板で来訪者を案内

絶景スポットまでの遊歩道は地元の方々のボランティアで整備されました。周辺にはコンビニはもちろん自販機もありませんが、住民手作りの案内板や散策マップ、簡易トイレが設置されており、多くの人に足を運んでもらいたい！

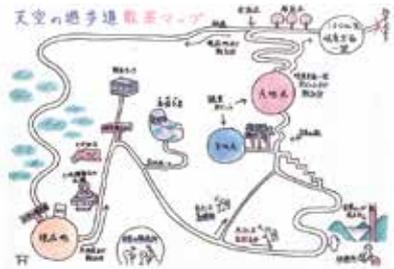
との、地元の方々の熱い思いが至るところに込められています。

■ 池田山

池田山（九二四メートル）は池田温泉（揖斐郡池田町）から通じる道路で頂上付近の「池田の森公園」まで登ることが出来ます。山頂一帯は民有林ですが、山復を支える山裾は足打谷国国有林で流域では林地の崩壊を防ぐ治山工事を行っています。

ここからの眺めは、視界を遮るものが全くなく濃尾平野の大パノラマビューが広がります。

また、ここは知る人ぞ知るスカイスポーツのメッカで、頂上付近にはパラグライダー&ハンググライダーの発進基地があり、天気と風向きの良い休日には、色とりどりの鳥人がふわりと空中散歩をしている様子が見られます。美しい日本の原風景に感動し、

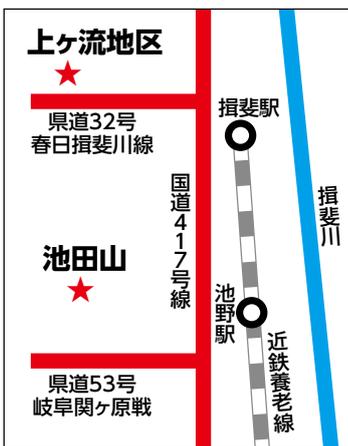


手作り散策マップ

同時に後世にも残したい。そんな思いがわき起こるこの場所へ、皆さんもどうぞ足を運んでみて下さい。



池田山から望む濃尾平野



◆ アクセス【自動車】
○上ヶ流地区
(岐阜県揖斐郡揖斐川町春日六合) 養老鉄道揖斐駅から車で約二十分
○池田山 (岐阜県揖斐郡池田町) 道の駅「池田温泉」から車で約二十五分



鳳来寺山山頂よりの眺め

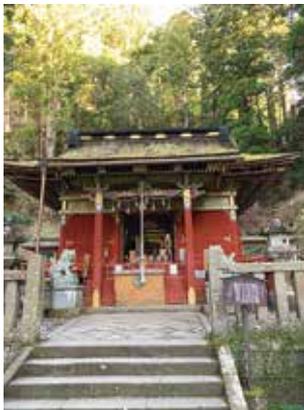
鳳来寺山は、愛知県の東部、奥三河の玄関口とも言われる新城市にあり、当所の豊橋森林事務所管内に所在する棚山国有林と連なる旧火山群の最南端にあって、東三河平野を隔て三河湾を望むことができません。



1,425段続く石段

この山は、標高六九五メートルで約二千万年〜千五百万年前に数回の火山動によって噴出したマグマの松脂岩や石英安山岩等で構成されており、その後の地殻変動と風化浸食作用によって原形を失い、現在の険しい岩山となっています。その特異な山容は古くから信仰の対象とされ、パワースポットとしても知られています。

鳳来寺の象徴ともいえる鏡岩と呼ばれる大岩壁は、高さ七十メートル、幅二百〜二百五十メートルほどあり、その下に建つ鳳来寺は、利修仙人によって開かれた真言宗の由緒ある寺院で、特に子授けの薬師如来として評判が高く、松平広忠夫妻が祈願して授かったのが、後に天下人となる徳川家康であったと伝えられています。



鳳来山東照宮

表参道の駐車場から中腹の鳳来山本堂まで約九十分、そこから山頂を経由して東照宮まで一周して約百二十分、下山に三十分で約四時間のハイキングが楽しめます。



仁王門

表参道から進みますと、一四二五段の石段があり、石段を登りながら「仁王門」、「傘杉」（推定樹齢は八百年、樹高は六十メートル程。幹の上方の枝が四方に広がり、傘を差したように見えることから傘杉と呼ばれるそうです）、「松高院」、「医王院」、があり石段を登り切ると「鳳来寺本堂」や家康公を祀り日本三東照宮の一つでもある「鳳来山東照宮」があります。



所在地：愛知県新城市門谷字鳳来寺一アクセス

【公共交通】 JR本長篠駅からバスで八分（鳳来寺バス停下車） 鳳来寺から徒歩で六十分

【自動車】 新東名自動車道新城ICから車で三十分。山頂駐車場から徒歩で十分



鳳来寺山山頂

ぜひ、都会の喧噪を離れてのんびりと一日巡ってみてはいかがでしょうか。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、登山の自粛が要請されています。この要請が解除された後にお楽しみください。

大桑村を含む十三市町村にまたがる中央アルプスは、令和二年三月二十七日に中央アルプス国定公園として指定されました。令和初、全国で五十七番目、県内では四番目となる国定公園の誕生です。

木曾谷と伊那谷に裾野を広げ个性的なピークを連ねる中央アルプスは、花崗岩質の白砂とハイマツや高山植物に彩られ、風化作用による独特の岩峰など訪れる人を魅了します。

大桑村からは、越百山、南駒ヶ岳、空木岳へ向かう三つの登山道の玄関口となる伊奈川ダム上



岩出観音堂の紅葉

登山口があります。登山口のある伊奈川溪谷には、中央アルプスの山々を源流とする伊奈川が断崖を縫うように流れ、村の中央を流れる木曾川に注がれます。近年では紅葉スポットとして密かに人気を集めています。また、伊奈川下流域にある橋場地区には、江戸中期に建立され、京都清水寺に似た懸崖造りの岩出観音が出迎えます。この観音堂は「溪斎英泉の木曾六十九次「伊奈川橋遠景」」に描かれており、春には桜が咲き誇り、秋には大木のカエデの紅葉が目を見えます。



越百山頂上から稜線沿い

「越百山」は、標高二、六一四メートルの日本二百名山にも選定され、木曾駒ヶ岳を結ぶ縦走ルートとして設定されることも多く、道中は大桑村の花、しゃくなげや時折見える御嶽山を横目に眺めながら登頂することができます。国定公園化による知名度の向上で利活用が増える一方、自然保護への対応が必要であったことか



しゃくなげの尾根

ら、村では昨年度、越百避難小屋近くに環境に配慮したバイオトイレを設置しました。



◆越百山へのアクセス
◆所在地：(伊奈川ダム上駐車場を利用) 長野県木曾郡大桑村大字須原字八丁
【公共交通】JR中央本線須原駅からタクシーで三十分(一五キロメートル)
【自動車】中央道伊那ICから車で一二〇分(六五キロメートル)、中津川ICから車で九十分(四七キロメートル)
※伊奈川ダム上駐車場までの通行については、大桑村観光協会へお問い合わせください。
電話：〇二六四五五―四五六六



名古屋市内熱田区内の歴史の古いものでは、「①源頼朝の出生地」と伝えられる場所が熱田神宮の近くにあり、熱田神宮大宮司の藤原家の娘が源義朝に嫁ぎ、後の源頼朝を産んだ場所と伝えられているのが、現在の「宣願寺」です。国道一九号線からお寺の門と共に石標を見ることが出来ます。



寺門・石碑と立て看板

映画にもなった小説「火天の城」で安土城築城の棟梁「②

岡部又右衛門の家の跡」が国道一九号線、二二号線の起点すぐ近くにありまます。現在は、コンビニになって、立て看板があるのみで当時の痕跡を偲ぶことはできません。



立て看板

「③宮宿・七里の渡跡」は、東海道五三次の宿場・七里の渡しを復元した公園として整備されています。宮宿は東海道最大級の宿場で、熱田神宮参拝者、東海道利用者、お伊勢参りなどの人で賑わいました。また、桑名宿への船渡し場でもありました。



現在の公園



七里の渡しの石標

※時代は変わって遠くに東海道新幹線が見えます

地下鉄伝馬町駅近くには、「④都々逸発祥の地」があります。宮宿で発祥し、はじめは「熱田神戸節」と言われていましたが、後に江戸で流行し、都々逸として親しまれています。



発祥地石碑

「⑤空襲跡」は、昭和二十年六月九日に熱田周辺が空襲を受けました。当時、この付近にも軍需工場があり、堀川の護岸に残った弾痕が今も残してあります。近くにあった「白鳥貯木場」にも爆弾が投下され、水柱が高く上がったことです。

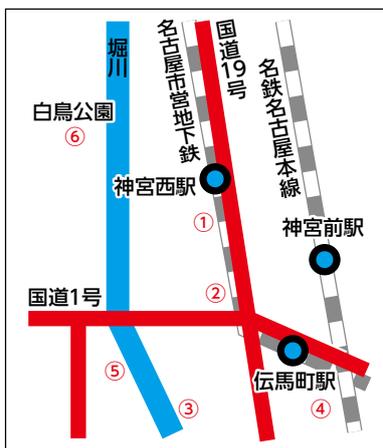


堀川沿いの護岸跡

また、かつて尾張藩の「⑥御材木場(後の国有林の白鳥貯木場)、御船蔵跡」が現在の白鳥公園周辺にあったことを示す石碑が太夫堀の畔にあり、日本最大級の水中貯木場がここにあったことを太夫堀とともに記しています。詳しくは、隣接する「熱田白鳥の歴史館」でもご紹介しています。新型コロナウイルスの影響で、疲れた心身を屋外の史跡巡りなどで気分を転換させてはいかがでしょうか。

◆アクセス

【公共交通】名鉄 神宮前駅、名古屋市営地下鉄 神宮西駅 伝馬町駅
 ・地下鉄伝馬町駅を起点に④③⑤②①⑥の順で歩くと約4km(一時間)のコースになります。



※「熱田白鳥の歴史館」では、安全にご利用いただくため、感染症予防対策を実施しています。



飛驒市は、面積の九三%が森林で、その七割を広葉樹が占めており、春の新緑、秋の紅葉など、四季を通じて楽しむことができます。

しかしながら現在、市内で伐採される広葉樹のほとんどが、チップ



土場に積まれた市有林の広葉樹

プ化され、製紙用あるいは燃料用として市外に、しかも家具等に使用される木材と比較して非常に安価で流出しています。

市内には、ミズナラやブナを中心とした豊富な資源はありますが、平均胸高直径は二十六センチ程度と細く、家具などには使いつらい状況となっています。

このような背景を踏まえて、飛驒市は平成二十七年に市内で伐採される広葉樹をチップなどより価値の高い木製品の商品開発や加工販売や広葉樹に関するその地域の交流拠点として、市と民間企業二

社の出資により「(株)飛驒の森でクマは踊る」を設立しました。

また、平成二十九年度には飛驒地域の木工作家による「ひだ木(ギ)フットプロジェクト」が発足しました。



ひだ木(ギ)フトによる製品

この二つの取組は、飛驒市産の小径木広葉樹を活用した製品の開発から販売までを一貫して取り組むことにより、これまで飛驒市の広葉樹が安価に市外へ流出していた状況に歯止めをかけ、経済の循環を生み始めています。

また、飛驒市役所の市長室隣にある応接室は、市内産広葉樹の木材をふんだんに使い、飛驒の自然の豊かさを感じられるよう改装がされました。直径十八〜三十センチの広葉樹を活用し椅子や机、壁面も多種類の広葉樹材を使用するなど木材利用をPRするシヨールームとなっています。

このほか、市民とともに学ぶ「広葉樹のまちづくりセミナー」を開催し、広葉樹の利用価値を広く知っていただく活動も進めています。

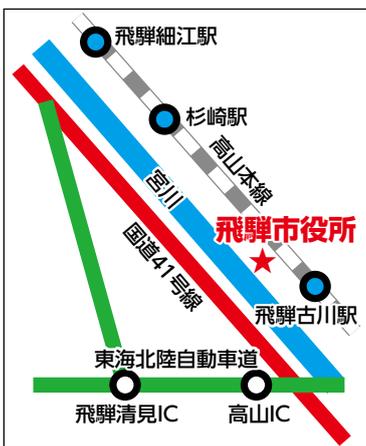


飛驒市役所応接室



広葉樹まちづくりセミナーの様子

広葉樹を活用した新たな飛驒市の魅力が発信されています。



◆飛驒市役所へのアクセス
 【公共交通機関】JR高山本線古川駅下車 徒歩5分
 【自動車】東海北陸道高山ICから国道41号線飛驒方面へ二十分



相倉集落（春の風景）

富山県の南西端に位置する南砺市の山間地域「五箇山」は、白山国立公園に含まれる一、五〇〇メートルの山々に囲まれ、冬には積雪が三メートルになる豪雪地帯です。平野部とは地理・自然条件が大きく異なるため、独特の文化を形成してきており、一級河川「庄川」の谷間



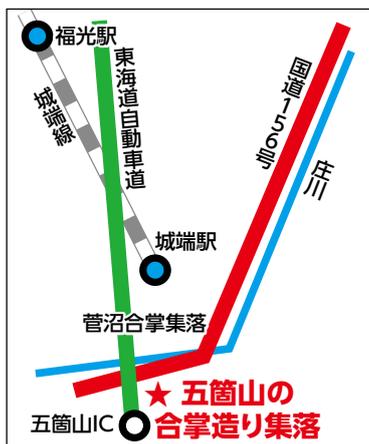
合掌造り家屋は、全国でも五箇山と白川郷及び両地域に隣接する一部のみ見られる独特の建築様式で、その数は最大一、八五〇棟余りでしたが、戦後の経済発展と



菅沼集落（秋の風景）

に沿って四十の集落が点在しています。そのうちの相倉集落と菅沼集落が一九九五年、岐阜県の白川郷荻町集落と共に、日本で六番目となるユネスコ世界遺産に登録されました。特徴的な合掌造り家屋群を中心とする農村景観と今尚そこに残る人々の暮らしが、世界的に価値のある貴重な文化遺産であると評価されました。

生活の近代化の中で急激に減少し、現在では白川郷と五箇山で二百棟以下となり、一棟一棟が大変貴重な存在となっています。現存する合掌造り家屋は約百年から二百年前のものが多く、古いものは四百年前にもなります。合掌造り家屋の建築様式が完成したのは江戸時代中期で、その頃五箇山では、養蚕の他、火薬の原料となる塩硝や和紙の製造が加賀藩から奨励され、こうした仕事に適した高層の建築として発展したと考えられています。一階は居住と塩硝の生産や紙漉きが行われ、二階以上は養蚕のための広い作業空間でした。一階の囲炉裏から昇る熱気は、蚕室を暖め、煙が木材や茅葺屋根を燻すことで長持ちさせました。合掌造り家屋は、最も発達した合理的な民家形式の一つであり、日本の木造文化を代表するものです。「合掌」は、仏を拝む時の姿に由来し、まるで天に向かって手を合わせるような合掌屋根が、五箇山の暮らしを守ってきました。外の世界から閉ざされた雪深い五箇山の冬。合掌造り集落



◆所在地
相倉合掌造り集落・富山県南砺市相倉
菅沼合掌造り集落・富山県南砺市菅沼
◆アクセス
◆【公共交通】JR城端駅発世界遺産バス
白川郷行き 相倉・約二十五分、菅沼・約四十分
◆【自動車】東海北陸自動車道五箇山IC
から 相倉・約十五分、菅沼・約二分

の暮らしは、厳しい自然の中で生き抜く知恵の結晶です。



菅沼集落（冬のライトアップ）



北信森林管理署管内の北部、長野県下高井郡木島平村木島山国有林内にある「カヤの平・高標山」をご紹介します。



ブナ林と遊歩道

カヤの平は、上信越高原国立公園の一部、志賀高原、野沢温泉及

び秋山郷のほぼ中央に位置し、自然休養林に指定されています。

周囲を高い山に囲まれた標高一、五〇〇メートル前後に広がる高原には、日本一美しいとも評されている樹齢二五〇年前後のブナの原生林やシラカバの群生林などが広がっています。

周辺には、総合案内所、牧場、キャンプ場などの施設が整備されています。

総合案内所から三十分ほど歩いた場所に位置する「北ドブ湿原」は、初夏の湿原を覆いつくすニッコウキスゲの群落が有名ですが、トキソウ、タテヤマリンドウ、ワタスゲ、ジャコウソウなどの貴重な湿原植物や様々な高山植物も見ることが出来ます。また、高地に位置するため、独特の植物等が見られ、四季を通して楽しめるのも特徴です。

湿原までの遊歩道は、ブナの原生林の中を東コースと西コースがあり、行きと帰りで別々のコースを通り、ゆっくりと散策を楽しむことができます。

また、「南ドブ湿原」、「信州大



北ドブ湿原のニッコウキスゲの群落



ジャコウソウ(上) コオニユリ(下)

学ブナ原生林教育園」を回るコースもあります。

「高標山」は、標高一、七四七メートルでカヤの平の南側にあり、総合案内所から二時間ほどで登ることができます。山頂からは、高社山、岩菅山などの雄大な眺望を楽しむことができます。



高標山山頂から高社山を望む



◆所在地(総合案内所)
長野県下高井郡 木島平村大字上木島山 国有林内(営業期間：六月上旬～十一月 上旬) 電話：〇九〇一八〇二五四二八八 アクセス

◆公共交通
JR飯山駅からタクシーで五十分。また、期間中は「カヤの平高原・秋山郷秘境シャトル便」ツアーがあります。お問合せ：信越自然郷飯山駅観光案内所 電話：〇二六九一△一七〇〇〇

◆自動車
上信越自動車道・豊田飯山ICから車で六十分



長野県と富山県の県境に位置する白馬三山は、白馬岳・杓子岳・鐘ヶ岳（槍ヶ岳と区別するため、白馬鐘ヶ岳とも呼ばれています）の三つの山の総称で北アルプスの一角に位置し、いずれも三千以上の名峰ぞろいです。



鐘ヶ岳山頂より白馬岳を望む



高山植物の女王、白馬岳のコマクサ

特に、白馬岳は、大雪渓と高山植物が豊富な花の名山として、例年、国内外から多くの登山者が訪れています。



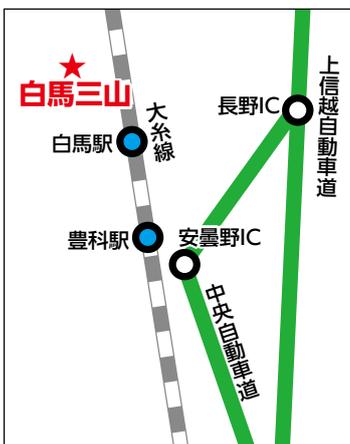
大雪渓へ向かう登山者（令和元年5月 開山祭）



お花畑とライチョウ

白馬の由来は、春になると雪が解けた山肌に黒い「代掻き馬」の雪形が浮かび上がることから、代掻き馬が代馬（しろうま）となり、「白馬」という名前に転じたといわれ、ふもとの農家では、この代掻き馬が現れると田んぼの代掻きを始める農事暦になっていた。

また、白馬山麓には、長野冬季オリンピックの白馬ジャンプ競技場をはじめ、世界的に有名なスキート場が数多くあり、宿泊施設や温泉施設の充実と首都圏からのアクセスの良さも加わり、一年を通じて海外からの家族連れやスキー



上信越自動車道長野ICより車で約七十分（約五十キロメートル）

【自動車】

中央自動車道安曇野ICより車で約八十分（約六十キロメートル）

上信越自動車道長野ICより車で約七十分（約五十キロメートル）

◆アクセス「猿倉」（白馬大雪渓・白馬岳・鐘ヶ岳登山口）

【公共交通】

JR大糸線白馬駅よりバスで、白馬八方バスターミナル経由で猿倉バス停まで、約六十分

ヤーも多く訪れ、国際色豊かな賑わいとなっています。残念ながら、今年も、新型コロナウイルスや雪不足の影響により、国内外の登山者等が減少していますが、一日も早く新型コロナウイルスの蔓延が終息し、元の活気のある賑わいとなることを切に願っています。

※九月三十日現在、白馬大雪渓ルート、白馬鐘ヶ岳ルートは通行止めとなっております。登山情報は、白馬村観光局へお問合せください。TEL 〇二六-一七二-一七二〇〇



緑の絨毯！苔の森

長野県東部に広がる八ヶ岳連峰の懐、佐久穂町と小海町に跨る「白駒の池」は、面積一・四ヘクタール、周囲一・三五〇メートル、標高一・一五メートルで、二、〇〇〇メートル以上に位置する日本最大の天然湖です。周辺にはコマツガ、トウヒ、シラビソなどの大木が生い茂り、林床は、初夏から夏にかけて、まるで緑の絨



高見石から白駒の池を望む

毯を敷き詰めたような苔が一面を覆っています。秋には湖畔のナナカマドやドウダンツツジなどの紅葉が鏡のような湖畔に映えるため、首都圏を含め、全国から多くの観光客が訪れます。冬は佐久と諏訪地域を結ぶメルヘン街道（国道二九九号線）が閉鎖されるため一般の観光客は少なくなりますが、湖畔の山小屋は営業しており、年間を通して訪問者が絶えることはありません。また、登山道を四十分ほど登った高見石の上からは、原生林に抱かれ青く輝く池の水面、そして天気が良ければ浅間山や西上州、

北アルプス、中央アルプスの山々まで一望できます。国道沿いの駐車場から白駒の池周辺は、木道が整備され、子どもから年配の方まで気軽に散策を楽しむことができます。木道から少し足を延ばせば、本格的なトレッキングコースとなっており、レベルに合わせ様々な自然を満喫できる稀有なスポットとなつています。

「白駒の池」の名は、当地に伝わる民話に由来すると言われ、一説によると、恋に落ちた男女を良く思わない女の父親が男を山奥へと追いやり、女は後を追って道に迷った末、一頭の白馬（白駒）に導かれて池へと消え二度と帰ることはなかったという悲しい物語があり、他の説でも、その名は白馬に由来するとされています。

これらの伝説や地域の歴史に思



紅葉と白駒の池

いを馳せながら原生林や一面の苔に抱かれる神秘の世界を体感してみませんか。

◆所在地

長野県南佐久郡小海町千代里字白駒池

◆アクセス

【公共交通】JR佐久平駅～千曲バス 白駒池入口バス停まで約一〇〇分（季節運行）

【自動車】

中央自動車道諏訪IC～白駒の池駐車場約七十分

中部横断自動車道佐久ICから白駒の池駐車場、約七十分





旧大平峠（元嶽国有林）から御嶽山を望む

大平宿は長野県飯田市（三州街道）と木曾谷（中山道）を結ぶ大平街道のほぼ中間地点、標高一、二五〇メートルの山中にあります。



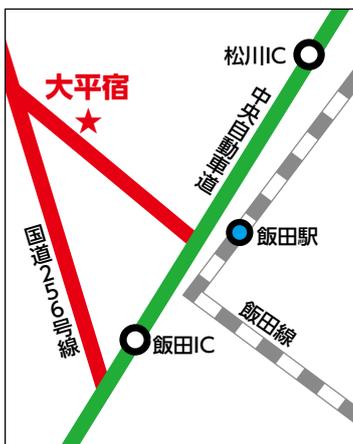
大平宿の集落入口

大平宿の始まりは江戸時代中期、飯田は飯田藩の城下町として栄えていましたが、当時、主要街道は中山道が通る木曾谷でした。そこから出るために木曾山脈（中央アルプス）を大きく迂回する必要がありますが、飯田藩は宝暦四年（二七五四年）、中山道の宿場町である妻籠宿と城下を直線で結ぶ「大平街道」を新たに切り拓き、明治時代まで飯田と木曾谷を結ぶ主要道路として栄えてきました。しかし、大正時代になると伊那谷に鉄道が開通し、また昭和三十年代には峠越えの道路として清内路峠を越える国道二五六号線が整備されたことで徐々に衰退するとともに、昭和四十五年（一九七〇年）に集団移住され廃村となっています。



切妻屋根の江戸時代からの家屋

その後、飯田市の上水道取入口付近の別荘地分譲がきっかけとなり、集落保存活動が始まり、全国の利用者によって集落全体が保存され、現在、大平宿は、飯田市自然環境保全地区、長野県郷土環境保全地区に指定されています。大平街道の道筋に沿って並ぶ家は、緩い勾配の切妻屋根が特徴となっていますが、トタン屋根に変えている家や、昔ながらの板葺屋根を石で留めた「石置屋根」の家も数多くあり山村集落らしい風情を醸し出しています。また、これらの家屋は、雪や雨



◆所在地
長野県飯田市上飯田

◆宿泊に関する問合せ
長野県飯田市育良町1-2
株式会社南信州観光公社
電話 〇二六五-二八-一七四七

◆アクセス
【自動車】
中央自動車道飯田ICから二五キロメートル（約六十分）

をしのぐため二階部分を手前にせり出して軒を深くしている「せがい造り」と呼ばれる建築技法で建てられています。この「大平宿」は、単に廃村では無く、電気・水道は使用できるものの、携帯電話は通じない不便な場所です。俗世間から離れ日常生活を体験できる江戸時代の建物群として、現在、一般に広く開放されています。（宿泊は四月末～十一月中旬まで）



長野県木曾地方には、江戸時代から伝わる漬物「すんき」があります。木曾郡内を主として御嶽山麓の村々で受け継がれ、現在は長野県の無形民俗文化財として選定されており、木曾の伝統食品の一つとなっています。



冬の御嶽山麓

「すんき」とは、塩分を一切使わず植物性の乳酸菌だけをタネ



当署職員お手製の「すんき」

として発酵させた漬物で、乳酸菌の酸味が癖になる味わいです。

木曾地方は古くから、「米を貸しても塩を貸すな」と言われるほど塩の入手が困難な地域だったからこそ、「すんき」が生まれたのではないかと考えられています。

すんきは、各家庭で冬の風物詩として作られており、原料は木曾の赤カブで、それぞれの地域ごとに品種が違い、作り方も地域や家庭ごとに違いがあります。

また、すんきのタネは、前年のすんきを干したものを冷凍したもので、山の木の実（ズミや山葡萄など）を使う家庭もあります。

基本的な作り方は、赤カブの葉と茎を湯通しし、すんきのタネと交互に一緒に桶に漬けます。一週

間くらい経つと、美味しいすんきが出来上がります。



すんき漬の作業体験の様子

毎年冬には、木曾地域振興局主催の「すんきコンクール」が開催されており、すんきの品質向上とその味を後世へ伝承しています。

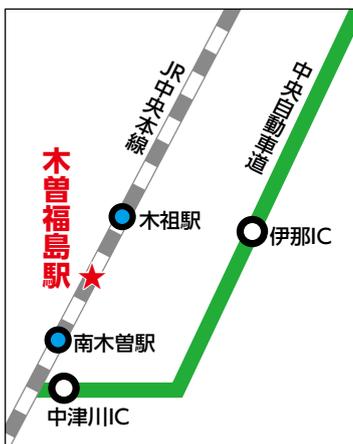
すんきは塩分を使用していないので、血圧の上昇や、血液の酸性化を防ぎ、赤カブの葉は繊維質が豊富で便秘解消や美肌効果、免疫力の増強が期待されます。免疫力を高めることで、花粉症などのアレルギーを制御する働きもあることから、体に良い自然派食品なのです。

すんきの食べ方として、鰹節と醤油をかけてそのまま食すのも良いですが、そばやみそ汁、油炒め

など色々アレンジした美味しい食べ方ができるのも魅力の一つです。ぜひ、木曾を訪れた際には、ご当地自慢の味をご賞味ください。



当署職員がこしらえた「すんきそば」



◆木曾町へのアクセス
 【公共交通】
 JR中央線木曾福島駅
 【自動車】
 中央自動車道中津川ICから国道19号約六十分
 中央自動車道伊那ICから国道19号約四十分



岐阜県東濃地域は、「東濃檜」や「木曾檜（天然）」に代表されるヒノキの主要な生産地です。

林野庁では、次世代に残すべき代表的な巨樹・巨木を「森の巨人たち百選」として選定しています。当署管内からは二本の大ヒノキが選定されており、また、「木曾ヒノキ備林」として貴重な大檜も保存しています。今回は、管内の代表的な巨人たちを紹介します。

①【神坂大檜】



なかつがわし みさか ゆふねざわ
中津川市神坂の湯舟沢国有林に

あり、幹周七・二二メートル、樹高が二十五メートル。通称「みさかおおひ」と呼ばれ、「大佛次郎賞」受賞作家の高田宏氏が名付けました。周辺は木曾五木（ヒノキ、サワラ、ネズコ、アスナロ、コウヤマキ）を中心とした天然林が広がり、神々しい雰囲気にも包まれ、長年風雪に耐えてきた天然木ならではの風格があります。

②【笠木】



恵那市の上村恵那国有林にあり、幹周七・五四メートル、樹高が二十六メートル。根元に大きな瘤があり、太い枝が張り出し、笠のような樹形が特徴です。戦国時代の裏街道で笠置地方を監視する場所であったため、このように呼ばれるようになったとも伝えられています。

③【二代目大ヒノキ】



中津川市の加子母裏木曾国有林にあり、幹周四・八四メートル、樹高二十六メートル。昭和五十六年、当時の出ノ小路担当区主任（現…西股首席森林官）が三年余りをかけて見つけた推定樹齢千年前後の大檜です。

初代の大ヒノキ（後述）のような山神の宿のような理想的なヒノキではないといわれていますが、過去に裏木曾から伐採された巨木で、これを上回るものは、昭和二十九年の初代大ヒノキ、昭和十六年の伊勢神宮御扉用材、天保九年の江戸城西の丸御殿復旧用材の三本のみとされています。一帯は自然観察教育の場として専門のガイド付きで巡ることができます。

④（番外）【初代大ヒノキ】切り株

江戸城西の丸焼失再建の際、幕府から派遣された惣奉行「川路三左衛門」によってご神木とされた

木曾山随一の大檜がありました。

昭和九年の室戸台風で折・枯損し、後に学術参考のため伐採されました。切り株の平均直径は二・二メートル、断面は畳三畳ほどあります。



「二代目大ヒノキ」と等高線上の谷を挟んで真北の南斜面に現存しています。

※見学にあたっては

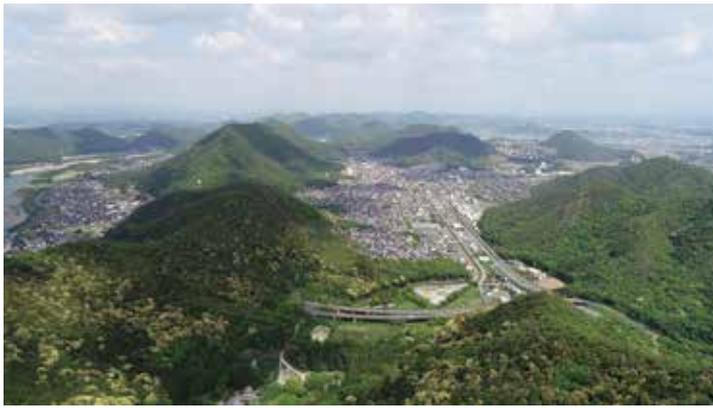
現地へは、登山と同様、自己責任が原則です。また、入林届等の諸手続が必要となる場合や車道、林道等を通行することが必要となりますので、事前に東濃森林管理署までご確認ください。

◆各巨木へのアクセス【自動車】

①② 当局ホームページ「森の巨人たち百選」に掲載。詳細は、以下のQRコードを読み込んでください。

③④ 中央道一中津川ICから国道二五七号経由約百分（約三十九キロメートル）





金華山山頂方面より達目洞を望む

平成の名水百選「達目洞」は、岐阜市の中央部に位置する金華山（国有林）の東側に隣接する県道七七号線高架下にあります。



近年では、次世代への環境教育も兼ねて、地元の小学校や幼稚園とも連携し、休耕田の整備やセイタカアワダチソウなどの外来種の除去作業を行うなど、更に活動の

り組んでいます。市民の皆さんと共に保全活動に取り組んでいます。

達目洞は金華山からの湧水を源とする逆川上流部にあり、絶滅危惧種であるヒメコウホネをはじめ、様々な希少動植物の宝庫となっています。

平成の名水百選とは、昭和六十年に環境省が選定した名水百選から二十年以上が経過する間に、水を巡る社会情勢の変化を踏まえ、水の環境保全について更なる強化を図ることを目指し、地域生活に溶け込んでいる環境で、特に地元住民の方々が主体的に保護・保全活動に取り組んでいる箇所を認定したもので、同地域は平成二十年六月五日に選定されました。



達目洞とそれをとりまく金華山国有林

輪を広げつつあります。地域の皆さんにより木道整備も整っています。植物観察には環境も方は、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。 ※観察路は整備されていますが、土道もあるため、長靴を持参されることをおすすめします。



◆所在地…岐阜市達目洞
◆お問合せ先…岐阜市環境保全課
Tel…〇五八―二二四―二二五―
◆アクセス…岐阜バス「日野鈴虫」又は「日野本郷」バス停下車（徒歩十五分）
マイカー…無料駐車場有り

☆ヒメコウホネ（スイレン科）
レッドデータブックカテゴリー
環境省―絶滅危惧Ⅱ類
(VU)、岐阜県―絶滅危惧Ⅰ類、岐阜市―絶滅危惧Ⅰ類
類
沈水葉と浮葉を持つ多年草で、五月〜十月頃に黄色い花が水面から突き出て咲きます。
湧水を水源に持つ丘陵山間部の湖沼や農業用水路などに生育します。本種の生育環境である丘陵地の池沼や水路などは、人間の生産活動の活発な場所でもあり、改変や改修などにより生育地が減少しています。
(岐阜市ホームページより)

水面に咲いている様子
(撮影時期9月)

ご当地自慢は、中部森林管理局ホームページに掲載しております。

ホーム > 森林管理局へようこそ > 森林への招待状 > ご当地自慢

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/koho/gotouti/130521-10.html>

QRコードを読み込むと「ご当地自慢」のサイトへ行くことができます。



広報「中部の森林」連載 ご当地自慢

発行日：令和3年3月

編集発行：林野庁中部森林管理局 総務課広報

担当：広報主任官 栗田喜則

編集等：武原友美

〒380-8575

長野県長野市大沢栗田 715-5

電話：026-236-2531

ホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/index.html>